

高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事

図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
AT-01	改修特記仕様書(1)	A-06	現況・改修後立面図(2)	B-01	現況・改修基礎伏図
AT-02	改修特記仕様書(2)	A-07	現況・改修後屋根伏図	B-02	現況・改修基礎リスト
AT-03	改修特記仕様書(3)	A-08	現況矩計図	B-03	現況・改修柱伏図
AT-04	改修特記仕様書(4)	A-09	改修後矩計図	B-04	現況・改修小屋伏図
AT-05	改修特記仕様書(5)	A-10	窓・出入口・パン架台 詳細図	B-05	現況・改修軸組図 1
AT-06	改修特記仕様書(6)	A-11	改修展開図(1)	B-06	現況・改修軸組図 2
AT-07	改修特記仕様書(7)	A-12	改修展開図(2)	B-07	現況・改修軸組図 3
AT-08	改修特記仕様書(8)	A-13	改修展開図(3)	B-08	現況・改修軸組図 4
A-01	仕上表	A-14	配膳棚詳細図	B-09	Y4・Y-1通り 現況・改修軸組詳細図
A-02	付近見取図・配置図兼仮設計画図	A-15	各部詳細図	B-10	X2・X3通り 鉄骨詳細図
A-03	現況平面図	A-16	現況・改修後天井伏図		
A-04	改修平面図	A-17	建具配置図・建具表		
A-05	現況・改修後立面図(1)				

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	タイトル・目次	縮尺	平成27年7月				
	株式会社 M Y M 設計	事務所登録	高知県第154	図面	番号		
	高知市塩田町13-14	TEL 824-6247	FAX 824-6481	一級建築士登録	第83951号	宮地 弥亀	

高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事 特記仕様書

I 工事概要
1. 工事場所 高知市鴨田1,155番地
2. 工事種目 【給食調理場】 鉄骨造 平家建て 延べ面積228.83㎡
3. 関連工事等
4. 概成工期
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項)

II 建築工事仕様
1. 特記仕様
2. 適用基準等
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について
項目 特記事項

項目 特記事項
配置人員の資格
19 工事安全計画書
20 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
21 発生材の処理
22 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出
23 工事の保険
24 契約保証
25 前払金支出割合区分補正
26 証明書の提出(グリーン購入法)
27 石綿含有建材の調査
28 事前調査の報告
29 調査結果報告書
30 分析調査
31 調査結果

項目 特記事項
19 施工数量調査
20 技能士及び技能資格者
21 化学物質の室内濃度の測定
22 直接仮設の養生
23 建築材料等
24 特別な材料の工法
25 風圧力
26 仕上面の出隅処理

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																					
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	<p>備品等の設置 [2.4.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>備品の種類</th> <th>機・椅子</th> <th>書棚</th> <th>黒板</th> <th>PC</th> <th>掛時計</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>組</td> <td>台</td> <td>枚</td> <td>台</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>温度計</th> <th>ゴム長靴</th> <th>雨がっぱ</th> <th>保護帽</th> <th>懐中電灯</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td>足</td> <td>着</td> <td>個</td> <td>個</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>衣類ロッカー</th> <th>冷暖房機器</th> <th>消火器</th> <th>湯沸器</th> <th>加入電話付風器</th> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>人用</td> <td>台</td> <td>個</td> <td>台</td> <td>台</td> </tr> <tr> <th>備品の種類</th> <th>掃除具</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構内既存の施設(用水) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない</p> <p>構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用排水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。</p> <p>四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。</p>	備品の種類	機・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付風器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量	個					4 改質アスファルトシート防水	<p>絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2]</p> <p>屋内防水 [3.3.3][表3.3.10]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・P1E</td> <td>・E-2</td> <td></td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>※E-2</td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> <p>E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部分 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 平場の保護コンクリート ※80mm以上 [3.3.5] こて仕上げの場合 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平坦さ ※a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5]</p> <p>防水層の種類 [3.4.2][表3.4.1～表3.4.3]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・M4AS</td> <td>・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2</td> <td></td> <td></td> <td>・高日射反射率塗料の適用</td> <td>※製造所の指定による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3AS ・POAS</td> <td>・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3</td> <td></td> <td></td> <td>・高日射反射率塗料の適用</td> <td>※製造所の指定による</td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td> <td>・ASI-T1 ・ASI-T1</td> <td></td> <td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示</td> <td>・高日射反射率塗料の適用</td> <td>※製造所の指定による</td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> <p>露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.1から表3.4.3による [3.4.2] 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※表3.4.1から表3.4.3による [3.4.2] 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]</p> <p>5 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3.5.2][表3.5.1～表3.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">厚さ(mm)</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率塗料の適用</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td>・POS ・S4S</td> <td>・S-F1 ・S-F2</td> <td></td> <td>※1.2 ※2.0 ・1.5</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td>※1.5 ※1.5</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>・S-M1 ・S-M2</td> <td></td> <td>※1.5 ※1.5</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2</td> <td></td> <td>※1.2 ※2.0 ・1.5 ※1.5</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P1S</td> <td>・S-C1</td> <td></td> <td>※1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm</td> </tr> </table> <p>断熱工法に用いる断熱材 (SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>材料</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td>機械的固定工法</td> <td>JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>接着工法</td> <td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による 固定金具の材質及び形状 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの [3.5.2] 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びS-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート [3.5.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合で、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p>	工法	種別	施工箇所	保護層	・P1E	・E-2		・設ける	・P2E	※E-2		・設けない	工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による		・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-T1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料		高日射反射率塗料の適用	備考	種類	使用量	・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2		※1.2 ※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン ・設ける ・設けない	・S3S	・S-M1 ・S-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による				・M4S	・S-M1 ・S-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2		※1.2 ※2.0 ・1.5 ※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン ・設ける ・設けない	・P1S	・S-C1		※1.0				立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm	工法	材料	厚さ	機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示	接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示
備品の種類	機・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																																																																																																																					
数量	組	台	枚	台	個																																																																																																																																																					
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																																																																																					
数量	個	足	着	個	個																																																																																																																																																					
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付風器																																																																																																																																																					
数量	人用	台	個	台	台																																																																																																																																																					
備品の種類	掃除具																																																																																																																																																									
数量	個																																																																																																																																																									
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																							
・P1E	・E-2		・設ける																																																																																																																																																							
・P2E	※E-2		・設けない																																																																																																																																																							
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備考																																																																																																																																																				
				種類	使用量																																																																																																																																																					
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																																																																																																																					
・M3AS ・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																				
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-T1		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示	・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																				
工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料		高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																																																																			
				種類	使用量																																																																																																																																																					
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2		※1.2 ※2.0 ・1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																			
・S3S	・S-M1 ・S-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による																																																																																																																																																						
・M4S	・S-M1 ・S-M2		※1.5 ※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																			
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2		※1.2 ※2.0 ・1.5 ※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																			
・P1S	・S-C1		※1.0				立上り保護 モルタルの塗厚 ・図示 ・7mm																																																																																																																																																			
工法	材料	厚さ																																																																																																																																																								
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示																																																																																																																																																								
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	・図示																																																																																																																																																								
28 完成時の提出図書	<p>○完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図) ○仕上表 [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) ○保全に関する資料(提出部数 ※2部 ・部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ○施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。</p>	6 工事用水・電力	<p>○利用できる (※有償・無償) ※利用できない ○利用できる (※有償・無償) ※利用できない</p> <p>構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)～c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)～c)に下記d)～e)を加える。 d) 工事用排水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設配電盤を設置し、使用するものとする。</p> <p>四国電力送配電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。</p>	7 仮囲い	※図示																																																																																																																																																					
29 完成写真	<p>下表のものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>位置</th> <th>分類・規格</th> <th>撮影枚数</th> <th>部数</th> <th>原簿の大きさ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・各室</td> <td>手札版(L版)</td> <td>※2枚</td> <td>※1部</td> <td>・100×125以上</td> </tr> <tr> <td>・外部</td> <td>キャビネ版</td> <td>※4枚</td> <td>※1部</td> <td>・24×36以上</td> </tr> <tr> <td>・外部</td> <td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td> <td>※1枚</td> <td>※1部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>スライド</td> <td>※1部</td> <td>部</td> <td></td> </tr> </table> <p>カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度</p>	位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原簿の大きさ(mm)	・各室	手札版(L版)	※2枚	※1部	・100×125以上	・外部	キャビネ版	※4枚	※1部	・24×36以上	・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚	※1部		・	スライド	※1部	部		7 仮囲い	※図示	8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]																																																																																																																												
位置	分類・規格	撮影枚数	部数	原簿の大きさ(mm)																																																																																																																																																						
・各室	手札版(L版)	※2枚	※1部	・100×125以上																																																																																																																																																						
・外部	キャビネ版	※4枚	※1部	・24×36以上																																																																																																																																																						
・外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚	※1部																																																																																																																																																							
・	スライド	※1部	部																																																																																																																																																							
30 別途設備工事との取合い	<p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 <table border="1"> <tr> <th>補強種別</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">貫通孔、開口部の補強</td> <td>梁</td> </tr> <tr> <td>壁</td> </tr> <tr> <td>スラブ</td> </tr> <tr> <td>壁切込み及び補強</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井切込み及び補強</td> <td></td> </tr> </table>	補強種別	内容	貫通孔、開口部の補強	梁	壁	スラブ	壁切込み及び補強		天井切込み及び補強		8 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	防水改修工事	<p>1 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による [3.1.3]</p> <p>2 既存下地の処理 [3.2.6] 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・製造所の仕様による</p> <p>3 アスファルト防水</p> <p>屋根保護防水 防水層の種類 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3～表3.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材の厚さ</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td></td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットクロス (70g/㎡程度)</td> <td>・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート 押え</td> </tr> <tr> <td>・P1B</td> <td>・B-1 ※B-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・AI-1 ※AI-2 ・AI-3</td> <td></td> <td>厚さ: mm ・図示</td> <td>※フラットクロス (70g/㎡程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P1BI</td> <td>・BI-1 ※BI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 押え金物の材質及び形状 [3.3.2] 乾式保護材 ・窯業系パネル(・I種 ※II種) ・金属複合板 [3.3.5] 製造所 評価名簿による 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5] ・適用する ・適用しない 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平坦さ [3.3.5][表8.1.5] ※a種 ・b種 ・c種 屋上排水溝 [3.3.5] ・図示</p> <p>屋根露出防水 防水層の種類 [3.3.2][表3.3.7～表3.3.9]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・M4C</td> <td>・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td></td> <td></td> <td>・高日射反射率塗料の適用</td> <td>※製造所の指定による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D ・POD</td> <td>・D-1 ※D-2</td> <td></td> <td></td> <td>・高日射反射率塗料の適用</td> <td>製造所の指定による</td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・D1-1 ※D1-2</td> <td></td> <td>JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示</td> <td>・高日射反射率塗料の適用</td> <td>製造所の指定による</td> <td>改修用ドレン ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> <p>立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない [表3.1.1] 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合で、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットクロス (70g/㎡程度)	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート 押え	・P1B	・B-1 ※B-2					・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		厚さ: mm ・図示	※フラットクロス (70g/㎡程度)		・P1BI	・BI-1 ※BI-2					工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備考	・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による		・M3D ・POD	・D-1 ※D-2			・高日射反射率塗料の適用	製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示	・高日射反射率塗料の適用	製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																	
補強種別	内容																																																																																																																																																									
貫通孔、開口部の補強	梁																																																																																																																																																									
	壁																																																																																																																																																									
	スラブ																																																																																																																																																									
壁切込み及び補強																																																																																																																																																										
天井切込み及び補強																																																																																																																																																										
工法	種別	施工箇所	断熱材の厚さ	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																																																																					
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・フラットクロス (70g/㎡程度)	・乾式保護材 ・れんが押え ・コンクリート 押え																																																																																																																																																					
・P1B	・B-1 ※B-2																																																																																																																																																									
・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		厚さ: mm ・図示	※フラットクロス (70g/㎡程度)																																																																																																																																																						
・P1BI	・BI-1 ※BI-2																																																																																																																																																									
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		備考																																																																																																																																																				
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・高日射反射率塗料の適用	※製造所の指定による																																																																																																																																																					
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2			・高日射反射率塗料の適用	製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																				
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ※D1-2		JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示	・高日射反射率塗料の適用	製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない																																																																																																																																																				
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。																																																																																																																																																									
32 不当要求等への対応	<p>暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。</p>																																																																																																																																																									
33 消防計画	<p>工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。</p>																																																																																																																																																									
34 工事特性等	<p>受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。</p>																																																																																																																																																									
仮設工事(改修)																																																																																																																																																										
1 足場その他	<p>内部足場 ※きやつ、足場板等 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ・メッシュシート ○防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示)</p> <p>・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。</p>																																																																																																																																																									
2 養生	<p>○既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 [2.3.1] ○既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。</p>																																																																																																																																																									
3 仮設間仕切り(屋内)	<p>設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種, B種の場合 仕上げの材種 ※せつこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示</p>																																																																																																																																																									
4 監督職員事務所	・設ける(㎡程度) ※設けない																																																																																																																																																									

高知市 都市建設部 公共建築課

高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事

係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				特-02
作図				年 月 日

図面名 改修特記仕様書(2) 2024.04 縮尺 1/

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																								
6 塗膜防水	<p>防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・POX ・L4X</td> <td>・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H</td> <td></td> <td>※2成分形アクリル樹脂系 ・アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系</td> <td>※製造所の仕様による</td> <td>改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・PIY ・PIY</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・ 設ける ・ 設けない</td> </tr> </table> <p>絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの</p>	工法	種別	施工箇所	種類	使用量	備考	・POX ・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H		※2成分形アクリル樹脂系 ・アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない	・PIY ・PIY	※Y-2				保護層 ・ 設ける ・ 設けない	<p>エポキシ樹脂モルタル [4.2.4]</p> <p>JIS A 6024による。</p> <table border="1"> <tr> <th>だれ</th> <th>接着強さ(MPa)</th> <th>圧縮強さ(MPa)</th> <th>曲げ強さ(MPa)</th> </tr> <tr> <td>形状に異常がなく、 だれが生じないこと</td> <td>1.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>10.0以上 (3日後の値)</td> </tr> </table> <p>1)こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目の規定に適合していること。</p> <p>ポリマーセメントモルタル [4.2.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>だれ</th> <th>曲げ強さ(N/mm2)</th> <th>圧縮強さ(N/mm2)</th> <th>接着強さ(N/mm2)</th> <th>特殊条件</th> </tr> <tr> <td>下がり量 5mm以内</td> <td>ひびわれの発生がないこと</td> <td>6.0以上</td> <td>20.0以上</td> <td>標準条件 ・ 湿潤時 ・ 低温時</td> </tr> </table> <p>1)透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3)ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。</p> <p>ポリマーセメントスラリー [4.3.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>拡がり速さ(cm/s)</th> <th>長さ変化率(%)</th> <th>引張接着性(材齢28日)(N/mm2)</th> <th>曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)</th> <th>吸水率(72時間)(%)</th> <th>劣化曲げ強さ(N/mm2)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.49以上</td> <td>4.9以上</td> <td>15以下</td> <td>4.9以上</td> </tr> </table> <p>1)保水係数 0.35~0.55 2)粘調係数 0.50~1.00 3)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4)ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。</p> <p>既調合モルタル [4.3.10]</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率(%)</th> <th>単位容積質量(kg/L)</th> <th>接着強さ(標準養生)</th> <th>接着強さ(温冷繰返し後)</th> <th>長さ変化率(%)</th> <th>曲げ強さ(N/mm2)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.8以上</td> <td>0.6N/mm2以上</td> <td>0.4N/mm2以上</td> <td>0.2以下</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	形状に異常がなく、 だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上 (3日後の値)	だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)	特殊条件	下がり量 5mm以内	ひびわれの発生がないこと	6.0以上	20.0以上	標準条件 ・ 湿潤時 ・ 低温時	拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)	3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上	保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ(標準養生)	接着強さ(温冷繰返し後)	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)	70.0以上	1.8以上	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上	<p>3 浮き部改修工法 [4.3.11~16]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">改修工法の種類</th> <th colspan="3">アウターの本数</th> <th colspan="3">注入口の箇所数</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>一般部分本/m2</th> <th>指定部分本/m2</th> <th>狭幅部本/m2</th> <th>一般部分箇所/m2</th> <th>指定部分箇所/m2</th> <th>狭幅部箇所/m2</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※25mL</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※5</td> <td>注入量 ※50mL</td> </tr> </table> <p>アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの。 [4.3.5] 注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm [4.3.5] 充填工法 ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル [4.2.6][4.3.7] モルタル塗替え工法 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示 [4.3.10]</p>	改修工法の種類	アウターの本数			注入口の箇所数			備考	一般部分本/m2	指定部分本/m2	狭幅部本/m2	一般部分箇所/m2	指定部分箇所/m2	狭幅部箇所/m2	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	—	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL	・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL
工法	種別	施工箇所	種類	使用量	備考																																																																																																																								
・POX ・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H		※2成分形アクリル樹脂系 ・アクリル樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリルシリコン樹脂系	※製造所の仕様による	改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																								
・PIY ・PIY	※Y-2				保護層 ・ 設ける ・ 設けない																																																																																																																								
だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)																																																																																																																										
形状に異常がなく、 だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上 (3日後の値)																																																																																																																										
だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)	特殊条件																																																																																																																									
下がり量 5mm以内	ひびわれの発生がないこと	6.0以上	20.0以上	標準条件 ・ 湿潤時 ・ 低温時																																																																																																																									
拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)																																																																																																																								
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上																																																																																																																								
保水率(%)	単位容積質量(kg/L)	接着強さ(標準養生)	接着強さ(温冷繰返し後)	長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)																																																																																																																								
70.0以上	1.8以上	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.2以下	4.0以上																																																																																																																								
改修工法の種類	アウターの本数			注入口の箇所数			備考																																																																																																																						
	一般部分本/m2	指定部分本/m2	狭幅部本/m2	一般部分箇所/m2	指定部分箇所/m2	狭幅部箇所/m2																																																																																																																							
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	※5	—	—	—	注入量 ※25mL																																																																																																																						
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※25mL																																																																																																																						
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※5	※12	※20	※5	注入量 ※50mL																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	—	—	—	注入量 ※25mL																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※25mL																																																																																																																						
・注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※5	※9	※16	※5	注入量 ※50mL																																																																																																																						
7 FRP防水	<p>ガラスマット ・ 1層タイプ ・ 2層タイプ 表面の仕上げ ・ 平滑 ・ 粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム 押え金物の寸法 ※図示</p>	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>・ヒコットシール材充填工法 [4.2.6] ・ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
⑧ シーリング	<p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2]</p> <p>① シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレッカー張り ・ 適用する エッジング材張り ・ 適用する [3.7.7]</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(記号)</th> <th>主成分による区分</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・SR-1 ・SR-2</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②MS-2 ・PS-2</td> <td>変成シリコーン系 ポリサルファイド系</td> <td>すべて</td> </tr> <tr> <td>・PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1]</p> <p>シーリング材の目地寸法 [3.7.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>箇所</th> <th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th> <th>ガラス回りの目地</th> <th>左記以外の目地</th> </tr> <tr> <td>幅(mm)</td> <td>※20以上</td> <td>※幅及び深さ5以上[5.13]</td> <td>※10以上</td> </tr> <tr> <td>深さ(mm)</td> <td>※10以上</td> <td>※3)による場合を除く)</td> <td>※10以上</td> </tr> </table> <p>接着性試験 [3.7.8] ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験</p> <p>材料 [3.8.2][表3.8.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>材</th> <th>種</th> <th>寸</th> <th>法</th> <th>施</th> <th>工</th> <th>箇</th> <th>所</th> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※たてどい</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※たてどい</td> </tr> <tr> <td>・硬質塩化ビニル雨どい</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※軒どい ・ たてどい</td> </tr> </table> <p>といた受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材質: ※ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 ※図示 [3.8.3] 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・ 図示 鋼管製といの防露巻き ・ 表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・ 図示 ルーフドレンの取付け ・ 水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。</p>	種類(記号)	主成分による区分	施工箇所	・SR-1 ・SR-2	シリコーン系		②MS-2 ・PS-2	変成シリコーン系 ポリサルファイド系	すべて	・PU-2	ポリウレタン系		箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上	深さ(mm)	※10以上	※3)による場合を除く)	※10以上	材	種	寸	法	施	工	箇	所	・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)							※たてどい	・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)							※たてどい	・硬質塩化ビニル雨どい							※軒どい ・ たてどい	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																															
種類(記号)	主成分による区分	施工箇所																																																																																																																											
・SR-1 ・SR-2	シリコーン系																																																																																																																												
②MS-2 ・PS-2	変成シリコーン系 ポリサルファイド系	すべて																																																																																																																											
・PU-2	ポリウレタン系																																																																																																																												
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																																																										
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上																																																																																																																										
深さ(mm)	※10以上	※3)による場合を除く)	※10以上																																																																																																																										
材	種	寸	法	施	工	箇	所																																																																																																																						
・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)							※たてどい																																																																																																																						
・硬質ポリ塩化ビニル管カラー(ｶﾗｰVP)							※たてどい																																																																																																																						
・硬質塩化ビニル雨どい							※軒どい ・ たてどい																																																																																																																						
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
9 とい	<p>といた受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 [3.8.2] 材質: ※ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき その他: ※表3.8.2による 防露材のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆ [3.8.2] 既存のといその他の撤去 ※図示 [3.8.3] 降雨等に対する養生方法 ※監督職員と協議による ・ 図示 鋼管製といの防露巻き ・ 表3.8.4による たてどい受金物の取付け ・ 図示 ルーフドレンの取付け ・ 水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する。</p>	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
10 アルミニウム製笠木	<p>種類 ・ オープン形式(・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形) [3.9.2][表3.9.1] ・ 板材折曲げ形(・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅()mm 板厚(※2.0)mm</p> <p>表面処理 種別 表5.2.2による()種 色合い等 ※標準色</p> <p>既存の笠木等の撤去 ・ 行う(範囲 ※図示 ・) ・ 行わない ・ 一時取外し再取付け[3.9.3] 新規アルミニウム製笠木の下の補修工法 ※図示 板材折曲げ形笠木の取付方法 ※図示 笠木の固定金具の固定工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法</p>	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
11 保証書(シーリング除く)	<p>受注者、施工者、材料製造所連名による 10年保証(完成届提出日より15日後から)</p>	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
12 高日射反射率塗料塗り	<p>JIS K 5675(屋根用高日射反射率塗料)に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。</p>	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 [4.3.10] 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横@200打込、ステンレス製ラス等張り ・ 図示</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																		
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										
外壁改修工事(共通事項)	<p>可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。</p> <table border="1"> <tr> <th>比重</th> <th>押出し性(秒)</th> <th>スランプ(Mm)</th> <th>質量変化率(%)</th> <th>引張り強さ(MPa)</th> <th>破断時伸び(%)</th> <th>引張り接着性</th> </tr> <tr> <td>表示値 ±0.10</td> <td>60以下</td> <td>3.0以下</td> <td>5.0以下</td> <td>低温 1.0以上 加熟劣化1.0以上</td> <td>標準 30.0以上 加熟劣化30.0以上</td> <td>最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上</td> </tr> </table> <p>1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。</p> <p>パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。</p> <table border="1"> <tr> <th>初期硬化性(MPa)</th> <th>接着強さ(MPa)</th> <th>圧縮強さ(MPa)</th> <th>曲げ強さ(MPa)</th> <th>硬化収縮率(%)</th> </tr> <tr> <td>標準2.0以上</td> <td>標準6.0以上</td> <td>50.0以上</td> <td>30.0以上</td> <td>3.0以下</td> </tr> </table> <p>1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3)常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4)試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。</p>	比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	低温 1.0以上 加熟劣化1.0以上	標準 30.0以上 加熟劣化30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上	初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)	標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下	<p>外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ</p> <p>① ひび割れ部改修工法</p> <p>※樹脂注入工法 [4.2.5(1)~(5)][4.3.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0以下</td> <td>※200~300</td> <td>※製造所の仕様 ・130</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>※40</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上1.0以下</td> <td>・150~250</td> <td>※130</td> </tr> </table> <p>コープ抜き検査 ※行わない ・ 行う(長さ500mごと及びその端数につき1個。補修方法は図示による)</p> <p>② ヒコットシール材充填工法 [4.2.6][4.3.7] ③ シーリング材 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法 [4.2.7][4.3.8] ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法 [4.2.8(3)(4)][4.3.9] ※エポキシ</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70		0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																															
比重	押出し性(秒)	スランプ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																																							
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	低温 1.0以上 加熟劣化1.0以上	標準 30.0以上 加熟劣化30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上 破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																							
初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)																																																																																																																									
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下																																																																																																																									
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																																																																																										
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上1.0以下	※200~300	※製造所の仕様 ・130																																																																																																																										
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	・50~100	※40																																																																																																																										
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	・100~200	※70																																																																																																																										
	0.5以上1.0以下	・150~250	※130																																																																																																																										

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																													
5	目地改修工法 ・セメントモルタルによるタイル張り タイル張りの工法 外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り ・改良積上げ張り ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り ・有機系接着剤によるタイル張り ・下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※目荒し工法 ・目地ひび割れ部改修工法 [4.4.16] ・伸縮調整目地改修工法 [4.4.16] 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示	6	樹脂製建具 ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.2.3][5.6.3(1)] 網戸等 [5.2.3] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製(SUS316)</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>※ステンレス(SUS304)線材</td> <td>※1.5mm</td> <td>※網目寸法15mm</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 外部に面する建具 表面処理の種別 ※BB-1種 ・BB-2種 [5.2.4][表5.2.2] 色合い等 ※標準色() ・特注色() 屋内に使用する建具 表面処理の種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い等 ※標準色() ・特注色() ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.2.4][5.4.4] 結露水の処理方法 ※製造所の仕様による ・図示 水切り板、ぜん板 ※製造所の仕様による ・図示 [5.2.5] 製造所 評価名簿による [5.3.2~5.3.5][表5.3.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="2">A-4</td> <td>W-4</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>S-5</td> <td rowspan="2">W-5</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 [5.3.2][表5.3.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 [5.3.2][表5.3.3] 適用箇所 ※図示 外部に面する建具の日射熱取得特性の等級 ・N-1 ・N-2 ・N-3 [5.3.2] 網戸等 [5.2.3] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>※ステンレス(SUS304)線材</td> <td>※1.5mm</td> <td>※網目寸法15mm</td> <td>※図示</td> </tr> </table> ガラス ・複層ガラス ・単板ガラス ※図示 [5.3.3] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.3.4][5.4.4] 表面色 ※標準色() ・特注色() [5.3.4] 水切り板、ぜん板 ※製造所の仕様による ・図示 [5.2.5][5.3.2] 製造所 評価名簿による	種類	材質	線径	網目	適用箇所	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示	・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み	備考	・A種	S-4	A-4	W-4	※図示		・B種	S-5	W-5	※図示		・C種	S-6				種類	材質	線径	網目	適用箇所	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示	・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示	11	建具用金物 種類及び見掛け部分の材質 ※表 5.8.1による [5.8.2] 金属製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表 5.8.2による [5.8.2] 樹脂製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表 5.8.3による [5.8.2] 木製建具用の丁番の枚数及び大きさ ※表 5.8.4による [5.8.2] 木製建具の戸車及びレール ※表 5.8.5による [5.8.2] 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※図示 [5.8.3] マスターキーの製作(対応) ・製作する(・新規 ・既存合わせ) [5.8.4] ○製作しない(※既存マスターキーに合わせる ○合わせない) 鍵の製作本数 ※3本1組 鍵箱 ・設ける(本用 組) ※設けない 製造所 評価名簿による(評価名簿に記載のないものは図示による)																																									
種類	材質	線径	網目	適用箇所																																																																																														
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示																																																																																														
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示																																																																																														
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み	備考																																																																																													
・A種	S-4	A-4	W-4	※図示																																																																																														
・B種	S-5		W-5	※図示																																																																																														
・C種	S-6																																																																																																	
種類	材質	線径	網目	適用箇所																																																																																														
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示																																																																																														
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示																																																																																														
外壁改修工事 仕上げ塗材仕上げ	既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 [4.5.4] <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※既存仕上面全体 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体</td> <td></td> </tr> </table> 石綿含有仕上塗材の除去は、環境配慮改修工事による。	工法	処理範囲	・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示	・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示	・水洗い工法	※既存仕上面全体 ・図示	・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体		6	樹脂製建具 ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 [5.3.2][表5.3.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-4 ・H-5 ・H-6 [5.3.2][表5.3.3] 適用箇所 ※図示 外部に面する建具の日射熱取得特性の等級 ・N-1 ・N-2 ・N-3 [5.3.2] 網戸等 [5.2.3] <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>※ステンレス(SUS304)線材</td> <td>※1.5mm</td> <td>※網目寸法15mm</td> <td>※図示</td> </tr> </table> ガラス ・複層ガラス ・単板ガラス ※図示 [5.3.3] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.3.4][5.4.4] 表面色 ※標準色() ・特注色() [5.3.4] 水切り板、ぜん板 ※製造所の仕様による ・図示 [5.2.5][5.3.2] 製造所 評価名簿による	種類	材質	線径	網目	適用箇所	○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示	・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示	12	鍵 マスターキーの製作(対応) ・製作する(・新規 ・既存合わせ) [5.8.4] ○製作しない(※既存マスターキーに合わせる ○合わせない) 鍵の製作本数 ※3本1組 鍵箱 ・設ける(本用 組) ※設けない 製造所 評価名簿による(評価名簿に記載のないものは図示による)																																																																		
工法	処理範囲																																																																																																	
・サンダー工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																	
・高圧水洗工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																	
・水洗い工法	※既存仕上面全体 ・図示																																																																																																	
・他工法の処理範囲以外の既存仕上面全体																																																																																																		
種類	材質	線径	網目	適用箇所																																																																																														
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316)	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	※図示																																																																																														
・防鳥網	※ステンレス(SUS304)線材	※1.5mm	※網目寸法15mm	※図示																																																																																														
1	既存塗膜等の除去及び下地処理 薄付け仕上げ塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1] <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">上塗材</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">増塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> 厚付け仕上げ塗材 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td>セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>こて塗り</td> <td rowspan="2">上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材RE</td> <td>・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>こて塗り</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> 複層仕上げ塗材 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">耐候性 ※耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td rowspan="2">・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7/10つあり</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">増塗材</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">・適用する</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> </table> 可とう形改修用仕上げ塗材 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材E</td> <td>・平たん状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">増塗材</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材RE</td> <td>・平たん状</td> <td>吹付け</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> 防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示) [4.5.2]	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	セメント系以外の上塗材	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	上塗材	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	増塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け	・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	セメント系以外の上塗材	・外装厚塗材Si	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	上塗材	・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・外装厚塗材RE	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種	・複層塗材Si	ローラー	・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7/10つあり	・複層塗材RE	吹付け	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材	・防水形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	・防水形複層塗材E	・ゆず肌状	ローラー	・適用する	・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・可とう形改修塗材E	・平たん状	ローラー	増塗材	・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け	・可とう形改修塗材RE	・平たん状	吹付け	・適用する	7	鋼製建具 簡易気密型ドアセット ・適用する [5.4.2][表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) [5.2.2][5.4.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 適用箇所 ※図示 点検口の類くつずりの材料 ・枠と同材 ・ステンレス [5.4.3] ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.4.3][5.6.3(1)] 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表5.4.2による) [5.4.4] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4] 標準型鋼製建具の有効内法寸法(表5.4.5による) [5.4.6] ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による	13	自動ドア開閉装置 戸の開閉方式 ・図示 ・片引き ・引分け ・片開き [5.9.2] 引き戸用駆動装置 [5.9.2] 性能値 ※表5.9.1による バリアフリートレイ出入口に設置される引き戸用駆動装置 性能値 ※表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類 ・バリアフリートイレスイッチ ・非接触スイッチ [5.9.2] 引き戸用検出装置 [5.9.2] 性能値 ※表5.9.3による 種類 ※光線(反射)センサー ・熱線センサー ・音波センサー [5.9.2][表5.9.4] ・光電センサー ・電波センサー ・押しボタンスイッチ ・タッチスイッチ (・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ) 防結露防止措置 ・行う ※適用しない 製造所 評価名簿による
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	セメント系以外の上塗材																																																																																															
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	上塗材																																																																																															
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	増塗材																																																																																															
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け	・適用する																																																																																															
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	セメント系以外の上塗材																																																																																															
・外装厚塗材Si	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	上塗材																																																																																															
・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	吹付け																																																																																																
・外装厚塗材RE	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	・適用する																																																																																															
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種																																																																																															
・複層塗材Si		ローラー																																																																																																
・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7/10つあり																																																																																															
・複層塗材RE		吹付け																																																																																																
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材																																																																																															
・防水形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け																																																																																																
・防水形複層塗材E	・ゆず肌状	ローラー	・適用する																																																																																															
・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け																																																																																																
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・可とう形改修塗材E	・平たん状	ローラー	増塗材																																																																																															
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・可とう形改修塗材RE	・平たん状	吹付け	・適用する																																																																																															
2	下地調整材 材料 ※下地調整塗材 ※C-1() ・C-2() ・CM-2() [4.5.2~4.5.4] ・ポリマーセメントモルタル ・合成樹脂エマルジョンシーラー 工法 ※製造所の仕様による [4.5.4]	7	鋼製建具 簡易気密型ドアセット ・適用する [5.4.2][表5.4.1] 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) [5.2.2][5.4.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 適用箇所 ※図示 点検口の類くつずりの材料 ・枠と同材 ・ステンレス [5.4.3] ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.4.3][5.6.3(1)] 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表5.4.2による) [5.4.4] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4] 標準型鋼製建具の有効内法寸法(表5.4.5による) [5.4.6] ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による	14	自閉式上吊り引戸装置 性能 ※表5.10.1による [5.10.3] 製造所 評価名簿による																																																																																													
3	仕上げ塗材仕上げ 薄付け仕上げ塗材 [4.1.5][4.5.2][4.5.6][表4.5.1] <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">上塗材</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材Si</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">増塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>吹付け</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> 厚付け仕上げ塗材 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材C</td> <td>・吹放し ・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td>セメント系以外の上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材Si</td> <td>・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>こて塗り</td> <td rowspan="2">上塗材</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材E</td> <td>・吹放し ・凸部処理</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材RE</td> <td>・平たん状 ・ひき起こし</td> <td>こて塗り</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> 複層仕上げ塗材 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE</td> <td rowspan="2">・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">耐候性 ※耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材Si</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材E</td> <td rowspan="2">・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> <td rowspan="2">上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7/10つあり</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材RE</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">増塗材</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材CE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">・適用する</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材RE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>吹付け</td> </tr> </table> 可とう形改修用仕上げ塗材 <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材E</td> <td>・平たん状</td> <td>ローラー</td> <td rowspan="2">増塗材</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材CE</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材RE</td> <td>・平たん状</td> <td>吹付け</td> <td>・適用する</td> </tr> </table> 防火材料の指定 ※なし ・あり(※図示) [4.5.2]	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	セメント系以外の上塗材	・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	上塗材	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	増塗材	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け	・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	セメント系以外の上塗材	・外装厚塗材Si	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	上塗材	・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・外装厚塗材RE	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	・適用する	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種	・複層塗材Si	ローラー	・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7/10つあり	・複層塗材RE	吹付け	・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材	・防水形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	・防水形複層塗材E	・ゆず肌状	ローラー	・適用する	・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	呼び名	仕上げの形状	工法	備考	・可とう形改修塗材E	・平たん状	ローラー	増塗材	・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け	・可とう形改修塗材RE	・平たん状	吹付け	・適用する	8	鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセット ・適用する [5.5.2] 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) [5.2.2][5.4.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の種類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 [5.5.3] ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.4.3][5.6.3(1)] 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表5.4.2による) [5.4.4] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4] 標準型鋼製建具の有効内法寸法(表5.4.5による) [5.4.6] ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による	15	重量シャッター シャッターの種類 ・管理用シャッター ・耐風圧強度(N/m2) [5.11.2] ・外壁用防火シャッター ・耐風圧強度(N/m2) [5.11.2] ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター 開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 [5.11.2][表5.11.1] 急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所 ※図示 障害物感知装置の設置箇所 ※図示 危害防止機構の設置箇所 ※図示 管理用シャッターのシャッターケース ・設ける [5.11.2] スラット及びシャッターケース用鋼板 [5.11.3] 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.6.3][5.11.3] 製造所 評価名簿による
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	セメント系以外の上塗材																																																																																															
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	上塗材																																																																																															
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け	増塗材																																																																																															
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・外装薄塗材S	・砂壁状	吹付け	・適用する																																																																																															
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	吹付け	セメント系以外の上塗材																																																																																															
・外装厚塗材Si	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	上塗材																																																																																															
・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	吹付け																																																																																																
・外装厚塗材RE	・平たん状 ・ひき起こし	こて塗り	・適用する																																																																																															
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	耐候性 ※耐候形3種																																																																																															
・複層塗材Si		ローラー																																																																																																
・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け	上塗材の種類[表4.5.2] ※水系7/10つあり																																																																																															
・複層塗材RE		吹付け																																																																																																
・可とう形複層塗材CE	・ゆず肌状	ローラー	増塗材																																																																																															
・防水形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け																																																																																																
・防水形複層塗材E	・ゆず肌状	ローラー	・適用する																																																																																															
・防水形複層塗材RE	・凸部処理 ・凹凸状	吹付け																																																																																																
呼び名	仕上げの形状	工法	備考																																																																																															
・可とう形改修塗材E	・平たん状	ローラー	増塗材																																																																																															
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	吹付け																																																																																																
・可とう形改修塗材RE	・平たん状	吹付け	・適用する																																																																																															
4	マスチック塗材塗り 種別 ・A種 ・B種 [4.6.2][表4.6.1]	8	鋼製軽量建具 簡易気密型ドアセット ・適用する [5.5.2] 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) [5.2.2][5.4.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 適用箇所 ※図示 鋼板類の種類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 [5.5.3] ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.4.3][5.6.3(1)] 鋼板類の厚さ ※図示(図示がない場合は表5.4.2による) [5.4.4] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4] 標準型鋼製建具の有効内法寸法(表5.4.5による) [5.4.6] ・適用する(建具符号、形式及び寸法は建具表による) 製造所 評価名簿による	16	軽量シャッター 開閉形式 ・電動式(手動併用) ※手動式 [5.12.2][表5.12.1] 耐風圧強度(N/m2) [5.12.2] 障害物感知装置の設置箇所 ※図示 [5.12.2] スラットの材質の種類 [5.12.3] ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z06又はF06を満足するもの ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※AZ90を満足するもの スラットの種類 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.12.4] 製造所 評価名簿による																																																																																													
5	外壁用塗膜防水材塗り 仕上げの形状及び工法 [4.1.5][4.7.2~3][表4.7.1] 下地塗材の耐候性 下地塗材の種類 下地塗材の種類 仕上げを砂壁状、じゅらく状等とする場合の模様材の種類 仕上げ塗料の種類	9	ステンレス製建具 簡易気密型ドアセット ・適用する [5.6.3] 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) [5.2.2][5.4.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.6.3] 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ角出し曲げ(・a角 ・b角 ・c角) [5.6.5] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4][5.6.4] 製造所 評価名簿による	17	オーバーヘッドドア セクション材料による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 耐風圧性能区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・100 ・125 電動式に設ける障害物感知装置の設置箇所 ※図示 製造所 評価名簿による																																																																																													
建具改修工事	※かぶせ工法 ・撤去工法 [5.1.3] 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示	9	ステンレス製建具 簡易気密型ドアセット ・適用する [5.6.3] 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 ・S-5 ・S-6 [5.4.2][表5.2.1] 枠の見込み(※図示) [5.2.2][5.4.2] ・防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 [5.2.2][5.4.2] 適用箇所 ※図示 ・耐震ドアの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 適用箇所 ※図示 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 [5.6.3] 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ角出し曲げ(・a角 ・b角 ・c角) [5.6.5] ステンレス製くつずりの仕上げ ※HL [5.4.4][5.6.4] 製造所 評価名簿による	18	ガラス ガラスの種類、厚さ等 摘要 [5.14.2] ・熱線吸収板ガラス(グリーン) ※図示(製造所は評価名簿による) ※その他のガラス ※図示 ガラス溝の大きさ ※製造所の仕様による [5.14.3][表5.14.1]																																																																																													
1	改修工法	10	木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]	19	ガラス留め材 種別 建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm) [5.14.2] アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングビート 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・押縁留め シーリング材 ※SR-1 [表3.7.1]																																																																																													
2	防火戸 防火戸の指定等 ※図示 [5.1.4] 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、連動させる装置等 ※図示	10	木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]	19	ガラス留め材 種別 建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm) [5.14.2] アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングビート 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・押縁留め シーリング材 ※SR-1 [表3.7.1]																																																																																													
3	建具見本の製作等 建具見本の製作 ・行う(建具番号) ※行わない [5.1.5] ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの ・納まり等がわかる程度のもの [5.1.5] 特殊な建具の仮組 ・行う(建具番号) ※行わない	10	木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]	19	ガラス留め材 種別 建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm) [5.14.2] アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングビート 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・押縁留め シーリング材 ※SR-1 [表3.7.1]																																																																																													
4	防犯建物部品 ・適用する 適用箇所: ※図示 [5.1.7]	10	木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]	19	ガラス留め材 種別 建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm) [5.14.2] アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングビート 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・押縁留め シーリング材 ※SR-1 [表3.7.1]																																																																																													
5	アルミニウム製建具 外部に面する建具の性能等 [5.2.2][表5.2.1] <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠の見込み</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>S-4</td> <td rowspan="2">A-3</td> <td>W-4</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※B種</td> <td>S-5</td> <td rowspan="2">W-5</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>S-6</td> <td>A-4</td> <td>W-5</td> <td>※図示</td> </tr> </table>	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み	備考	・A種	S-4	A-3	W-4	※図示		※B種	S-5	W-5	※図示		・C種	S-6	A-4	W-5	※図示	10	木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率 ※A種 ・B種 [5.7.2][表5.7.1] ○フラッシュ戸 [5.7.2][表5.7.2] 表面材の合板の種類 ※図示 品質等 ※5.7.2(2)(f)(a)~(c)による 表面板の厚さ ※表5.7.6による かまち戸 かまちの樹種 () 鏡板の樹種 () [5.7.2] 見込み寸法(mm) ※図示(図示がない場合は表5.7.7による) [5.7.3][表5.7.7]	19	ガラス留め材 種別 建具の種類 材 質 板ガラスをはめ込む溝の大きさ(mm) [5.14.2] アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングチャンネル 樹脂製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ・グレイジングビート 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ※シーリング材 ・ガasket ※建具の製造所の仕様による 木製 ※シーリング材 ・押縁留め シーリング材 ※SR-1 [表3.7.1]																																																																							
種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み	備考																																																																																													
・A種	S-4	A-3	W-4	※図示																																																																																														
※B種	S-5		W-5	※図示																																																																																														
・C種	S-6	A-4		W-5	※図示																																																																																													

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書(4)	2024.04	縮尺	1/		特-04
作成	年	月	日			

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
20 ガラスブロック積み	<p>ガラスブロック材料 [5.14.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>色調</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>※なし</td> <td>※あり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ・図示 ・ステンレス(SUS304) ・アルミニウム</p> <p>力骨 [5.14.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>※ステンレス鋼(SUS304)</td> <td>※径5.5mm</td> <td>※はしご形状複筋及び単筋</td> </tr> </table> <p>化粧目地モルタルの色 [5.14.5]</p> <p>シーリング材の種類 [5.14.5]</p> <p>金属製化粧カバー [5.14.5]</p> <p>工法 [5.14.5]</p> <p>・建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示</p> <p>目地幅の寸法 ※図示</p> <p>伸縮調整目地の位置 ※図示</p>	表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	防火性能	※なし	※あり				材質	寸法	形状	※ステンレス鋼(SUS304)	※径5.5mm	※はしご形状複筋及び単筋	8 造作用単板積層材	<p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>化粧薄板の芯材:</p> <p>化粧薄板の芯材:</p> <p>・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有(天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)</td> <td>・行わない</td> </tr> </table> <p>・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有(天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・行う</td> <td>※14%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)</td> <td>・行わない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・CLT(直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>下地用合板 [6.5.2]</p> <p>◎普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防炎処理</th> </tr> <tr> <td>壁・天井</td> <td></td> <td>※5.5</td> <td>◎ラワン</td> <td>※1類</td> <td>広葉樹(※2等以上)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>◎2.0</td> <td>・シナ</td> <td>・2類</td> <td>針葉樹(※C-D以上)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>◎構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td>配膳棚</td> <td></td> <td>※12.0</td> <td>◎針葉樹</td> <td>※1類</td> <td>※2級以上</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>※指定しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>◎24.0</td> <td>・特類</td> <td>・1級</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類 ・特類</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15.0</td> <td>・素地(研磨板 ・無研磨板)</td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はMタイプ</td> <td></td> </tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </table> <p>・メディアムデンシティーファイバーボード(MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>11 接合具等</p> <p>造作材の化粧面の釘打ち [6.5.3]</p> <p>・適用する(※隠し釘打ち) ・適用しない</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 [6.5.3][表6.5.3~6.5.5]</p> <p>・6.5.3(2)(7)による</p> <p>接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3]</p> <p>12 木れんが</p> <p>取付工法 ※接着工法 ・あと施工アンカー(径: 長さ:) [6.5.4]</p> <p>接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.4]</p> <p>13 防腐・防蟻処理</p> <p>・薬剤の加圧注入による防腐及び防蟻処理 [6.5.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防腐及び防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※薬剤製造所の仕様による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部位 ()</p> <p>14 間仕切軸組に用いる木材</p> <p>※図示 [6.5.6]</p> <p>15 床組に用いる木材</p> <p>※図示 [6.5.6]</p> <p>16 窓、出入口、その他に用いる木材</p> <p>※図示 [6.5.7]</p> <p>17 縁甲板及び上がりがまに用いる木材</p> <p>※図示 [6.5.8]</p> <p>18 壁及び天井に用いる木材</p> <p>※図示 [6.5.9]</p>	施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率						※15%以下	施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理				・有(天然木化粧加工 ・塗装加工)	・行う				・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行わない	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率			・有(天然木化粧加工 ・塗装加工)	・行う	※14%以下			・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行わない		施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)							※図示	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	壁・天井		※5.5	◎ラワン	※1類	広葉樹(※2等以上)						◎2.0	・シナ	・2類	針葉樹(※C-D以上)				施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級	配膳棚		※12.0	◎針葉樹	※1類	※2級以上	※C-D以上		※指定しない			◎24.0	・特類	・1級					施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理					※1類 ・2類 ・特類		施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※1類 ・2類		施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理				※1類 ・2類				施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分		※15.0	・素地(研磨板 ・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ		施工場所	品名	厚さ(mm)	等級				・1級 ・2級 ・3級 ・4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※薬剤製造所の仕様による		9 直交集成板	10 合板等	19 軽量鉄骨天井下地	<p>野縁等の種類 [6.6.2][表6.6.1]</p> <p>屋内(※19形・25形) 屋外(・19形 ※25形)</p> <p>屋外の軒天井、ビロディ天井等</p> <p>野縁等の間隔 [6.6.3][表6.6.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びびん挿入</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td>300程度</td> <td>900程度</td> <td>900程度</td> <td>150以内</td> </tr> </table> <p>新規天井下地のつりボルト受け等のインサート及びあと施工アンカー [6.6.4]</p> <p>※既存の埋込みインサートを使用する ・新たにつりボルト用あと施工アンカーを設ける</p> <p>つりボルトの引張試験 試験箇所数及び確認強度は6.6.4(7)による</p> <p>屋内 ※行う ・行わない 屋外 ※行う ・行わない</p> <p>・耐風圧性を考慮した補強 [6.6.4]</p> <p>適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示</p> <p>・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 [6.6.4]</p> <p>適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示</p> <p>◎天井下地材における耐震性を考慮した補強 [6.6.4]</p> <p>適用箇所: ※すべて ・図示 ◎配膳室新設部分</p> <p>補強方法: ・国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの</p> <p>※6.6.4(8)による。ただし、ふところ1.5m以下の場合も適用し、固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。</p> <p>・天井のふところが3mを超える場合の補強</p> <p>適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示</p> <p>20 軽量鉄骨壁下地</p> <p>スタッド、ランナー等の種類 ※表6.7.1による ・図示 [6.7.3][表6.7.1]</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 [6.7.3]</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による ・図示 [6.7.4]</p> <p>(床仕上げ)</p> <p>21 ビニル床シート張り</p> <p>[6.8.2~6.8.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>※無地</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・耐荷重性</td> <td>給食室</td> <td>標準品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マブル柄</td> <td>◎2.5</td> <td>◎防滑性 ・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※FS</td> <td>※無地</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・耐荷重性</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・防滑性 ・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所:)</p> <p>帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度</p> <p>下地 ※図示</p> <p>22 ビニル床タイル張り</p> <p>[6.8.2~6.8.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>特殊機能</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※KT</td> <td>・無地</td> <td>※300×300</td> <td>※2.0</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT</td> <td>・FT</td> <td>・柄物</td> <td>・2.0</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA</td> <td>・FOB</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・帯電防止 ・防滑性</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止性能 ※帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満又は体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~10¹⁰Ω程度</p> <p>23 誘導用床材及び警告用床材</p> <p>[6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート系</td> <td>※300×300</td> <td>※30</td> <td>※JIS T 9251適合品</td> </tr> <tr> <td>・タイル系</td> <td></td> <td>・60</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系</td> <td>※300×300</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>24 ビニル幅木</p> <p>[6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※軟質</td> <td>※1.5</td> <td>※60・75・100</td> <td></td> </tr> </table> <p>25 ゴム床タイル張り</p> <p>[6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>色柄</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・単層 ・複層</td> <td>・3.0 ・4.0 ・5.0 ・6.0 ・9.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>26 カーペット敷き</p> <p>[6.9.2][表6.9.1]</p> <p>・織じゅうたん</p> <p>織り方 [6.9.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>・ワットカーペット</td> <td>・カットパイル</td> <td>・摘要する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・ループパイル</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フェイスタグカーペット</td> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>色柄、パイル系の種類</p> <p>※模様のない無地のもの 種別(・A種 ・B種 ・C種)</p> <p>・タフテッドカーペット [6.9.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td></td> <td>※全面接着工法</td> <td>・摘要する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td></td> <td>・グリッパー工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レベルループパイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・タイルカーペット</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[6.9.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質(公表単価(円/m²))</th> </tr> <tr> <td>※第一種</td> <td>・カットパイル</td> <td>※ループパイル</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td>・第二種</td> <td>・カットパイル</td> <td>ループ併用</td> <td>・</td> <td>・7.0</td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 [6.9.3]</p> <p>平場 ※市松敷き ・模様流し</p> <p>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>・下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)に基づく第2種2号、呼び厚さ8.0mm [6.9.2]</p> <p>取付け用付属品 [6.9.2]</p> <p>見切り ※(材質 種類 形状) ・図示</p> <p>押え金物 ※(材質 種類 形状) ・図示</p> <p>27 合成樹脂塗床</p> <p>[6.10.3][表6.10.4~表6.10.8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材</td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>◎厚膜型塗床材</td> <td>※図示</td> <td>◎薄膜流しのべ工法</td> <td>◎平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>◎厚膜流しのべ工法</td> <td>・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床</td> <td>※図示</td> <td>・樹脂モルタル工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>塗床材の塗料のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2]</p> <p>※F☆☆☆☆</p>	野縁	野縁受	つりボルト及びびん挿入	周辺部の端からの距離	300程度	900程度	900程度	150以内	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考	※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐荷重性	給食室	標準品		・マブル柄	◎2.5	◎防滑性 ・耐薬品性			※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐荷重性				・	・	・防滑性 ・耐薬品性			種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止 ・防滑性		・TT	・FT	・柄物	・2.0	・帯電防止 ・防滑性		・FOA	・FOB	・	・	・帯電防止 ・防滑性		種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・レジンコンクリート系	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品	・タイル系		・60		・塩化ビニル系	※300×300	※図示		材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所	※軟質	※1.5	※60・75・100		色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考		・単層 ・複層	・3.0 ・4.0 ・5.0 ・6.0 ・9.0			織り方	パイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))	・ワットカーペット	・カットパイル	・摘要する		・ダブルフェースカーペット	・ループパイル			・フェイスタグカーペット	・カット、ループ併用			パイル形状	パイル長	工法	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))	・カットパイル		※全面接着工法	・摘要する		・ループパイル		・グリッパー工法			・レベルループパイル					・カット、ループ併用					・タイルカーペット					種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質(公表単価(円/m ²))	※第一種	・カットパイル	※ループパイル	※500×500	※6.5	・第二種	・カットパイル	ループ併用	・	・7.0	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材	※図示		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・弾性ウレタン樹脂系塗床			・つや消し仕上げ	◎厚膜型塗床材	※図示	◎薄膜流しのべ工法	◎平滑仕上げ	エポキシ樹脂系塗床		◎厚膜流しのべ工法	・防滑仕上げ	・薄膜型塗床	※図示	・樹脂モルタル工法		21 内装改修工事	<p>① 他の部位との取合い等</p> <p>撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ◎壁厚程度 [6.1.3]</p> <p>天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度</p> <p>撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ◎既存のまま</p> <p>各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする</p> <p>② 既存床の撤去及び下地補修</p> <p>◎ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) [6.2.2]</p> <p>◎下地モルタル共(撤去範囲: ※図示 ・撤去範囲すべて)</p> <p>・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共)</p> <p>③ 既存壁の撤去及び下地補修</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) [6.3.2]</p> <p>④ ホルムアルデヒド放散量</p> <p>※6.5.2(9)のいずれかによる。 [6.5.2]</p> <p>⑤ 目視検査</p> <p>日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。</p> <p>⑥ 製材</p> <p>◎下地用針葉樹製材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>※図示</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>◎杉 ・松</td> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>等級</td> <td>日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本農林規格以外を使用する場合: ※特一等 ・一等</td> </tr> <tr> <td>含水率</td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td>保存処理</td> <td>・行う ◎行わない</td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td>・行う ◎行わない</td> </tr> <tr> <td>難燃処理</td> <td>・行う ◎行わない</td> </tr> </table> <p>◎造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>※図示</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>・杉 ◎松</td> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>等級</td> <td>日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外※小節以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特一等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見え掛り面以外※小節以上 ・特一等</td> </tr> <tr> <td>含水率</td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td>保存処理</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td>・行う ◎行わない</td> </tr> <tr> <td>難燃処理</td> <td>・行う ◎行わない</td> </tr> </table> <p>・広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>※図示</th> </tr> <tr> <td>樹種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>寸法(mm)</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>等級</td> <td>日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>日本農林規格以外を使用する場合: ※特一等 ・一等</td> </tr> <tr> <td>含水率</td> <td>※10%以下</td> </tr> <tr> <td>保存処理</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>防虫処理</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>難燃処理</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による [6.5.2]</p> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table>	施工箇所	※図示	樹種	◎杉 ・松	寸法(mm)	※図示	等級	日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級		日本農林規格以外を使用する場合: ※特一等 ・一等	含水率	※15%以下	保存処理	・行う ◎行わない	防虫処理	・行う ◎行わない	難燃処理	・行う ◎行わない	施工箇所	※図示	樹種	・杉 ◎松	寸法(mm)	※図示	等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節		日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外※小節以上		見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特一等		見え掛り面以外※小節以上 ・特一等	含水率	※15%以下	保存処理	・	防虫処理	・行う ◎行わない	難燃処理	・行う ◎行わない	施工箇所	※図示	樹種	・	寸法(mm)	※図示	等級	日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等		日本農林規格以外を使用する場合: ※特一等 ・一等	含水率	※10%以下	保存処理	・	防虫処理	・行う ・行わない	難燃処理	・行う ・行わない	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質				※図示		※1等 ・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※図示		※1等 ・2等	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率			※図示		※15%以下
表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
※なし	※あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
材質	寸法	形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※ステンレス鋼(SUS304)	※径5.5mm	※はしご形状複筋及び単筋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・有(天然木化粧加工 ・塗装加工)	・行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・有(天然木化粧加工 ・塗装加工)	・行う	※14%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・無(等級: ・1等 ・2等 ・3等)	・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
						※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
壁・天井		※5.5	◎ラワン	※1類	広葉樹(※2等以上)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		◎2.0	・シナ	・2類	針葉樹(※C-D以上)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
配膳棚		※12.0	◎針葉樹	※1類	※2級以上	※C-D以上		※指定しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		◎24.0	・特類	・1級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				※1類 ・2類 ・特類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			※1類 ・2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
			※1類 ・2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	※15.0	・素地(研磨板 ・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工場所	品名	厚さ(mm)	等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	※薬剤製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
野縁	野縁受	つりボルト及びびん挿入	周辺部の端からの距離																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
300程度	900程度	900程度	150以内																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐荷重性	給食室	標準品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・マブル柄	◎2.5	◎防滑性 ・耐薬品性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※FS	※無地	※2.0	・帯電防止 ・耐荷重性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・	・	・防滑性 ・耐薬品性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	特殊機能	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※KT	・無地	※300×300	※2.0	・帯電防止 ・防滑性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・TT	・FT	・柄物	・2.0	・帯電防止 ・防滑性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・FOA	・FOB	・	・	・帯電防止 ・防滑性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・レジンコンクリート系	※300×300	※30	※JIS T 9251適合品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・タイル系		・60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・塩化ビニル系	※300×300	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材種	厚さ(mm)	高さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※軟質	※1.5	※60・75・100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
色柄	種類	厚さ(mm)	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・単層 ・複層	・3.0 ・4.0 ・5.0 ・6.0 ・9.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
織り方	パイル形状	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ワットカーペット	・カットパイル	・摘要する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・フェイスタグカーペット	・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
パイル形状	パイル長	工法	帯電性	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・カットパイル		※全面接着工法	・摘要する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ループパイル		・グリッパー工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・レベルループパイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・タイルカーペット																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質(公表単価(円/m ²))																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
※第一種	・カットパイル	※ループパイル	※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・第二種	・カットパイル	ループ併用	・	・7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・厚膜型塗床材	※図示		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・弾性ウレタン樹脂系塗床			・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
◎厚膜型塗床材	※図示	◎薄膜流しのべ工法	◎平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
エポキシ樹脂系塗床		◎厚膜流しのべ工法	・防滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・薄膜型塗床	※図示	・樹脂モルタル工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
樹種	◎杉 ・松																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
寸法(mm)	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
等級	日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	日本農林規格以外を使用する場合: ※特一等 ・一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
含水率	※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
保存処理	・行う ◎行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
防虫処理	・行う ◎行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
難燃処理	・行う ◎行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
樹種	・杉 ◎松																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
寸法(mm)	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
等級	日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外※小節以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	見え掛り面以外※小節以上 ・特一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
含水率	※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
保存処理	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
防虫処理	・行う ◎行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
難燃処理	・行う ◎行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
樹種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
寸法(mm)	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
等級	日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	日本農林規格以外を使用する場合: ※特一等 ・一等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
含水率	※10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
保存処理	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
防虫処理	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
難燃処理	・行う ・行わない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
			※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
				※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		※図示		※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

高知市 都市建設部 公共建築課

高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事

工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	作図	年	月	日	特-05

改修特記仕様書(5) 2024.04 縮尺 1/

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																
28 フローリング張り	<p>単層フローリング [6.11.2][6.11.3][6.11.4][6.11.6][表6.11.1][表6.11.3][表6.11.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>樹種</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フローリングボード1等</td> <td>・釘留め工法(根太張り)</td> <td>※15</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>・12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フローリングボード2等</td> <td>・接着工法</td> <td>・8</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>フローリングボードの幅、長さ ※表6.11.1、表6.11.3、表6.11.5による フローリングブロックの幅、長さ ・300×300 ・303×303</p> <p>複合フローリング [表6.11.2][表6.11.4][表6.11.6]</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>樹種</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・釘留め工法(根太張り)</td> <td rowspan="2">・A種</td> <td>※12</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・15</td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法(直張り)</td> <td>・B種</td> <td rowspan="2">(ひき板の厚さ)</td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※C種</td> <td>・3mm以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>※表6.11.4</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>フローリングの幅、長さ ※表6.11.2、表6.11.4、表6.11.6による 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装 ・工場塗装 ・ウレタン樹脂ワニス塗り ・A種 ※B種 [6.11.6][7.11.1] ・現場塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・A種 ※B種 ・オイルステイン塗りのうねワックス塗り ・生地そのままワックス塗り (自然塗料)</p> <p>複合フローリングのホルムアルデヒド放散量 [6.11.2] ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの</p>	種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考	・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※15	・		・釘留め工法(直張り)	・12	・フローリングボード2等	・接着工法	・8	・		・接着工法	※15	工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考	・釘留め工法(根太張り)	・A種	※12	・		・15	・釘留め工法(直張り)	・B種	(ひき板の厚さ)	・		・接着工法	※C種	・3mm以上			※表6.11.4			<p>32 接着剤</p> <p>壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木、フローリングその他内装に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>33 モルタル塗り</p> <p>モルタル ※現場調合材料 ・既調合材料 () [6.15.3] 既製目地材 ・適用する(形状:※図示) [6.15.5] 仕上げ厚又は全厚が25mmを超える場合の処置 ※ステンレス製アンカーピン縦横(200打込、ステンレス製ラテックス等張り) ・図示 [6.15.6] 床の目地 ○適用する (目地割り ※2mm程度 最大目地間隔3m程度) [6.15.6] (種類 ※押し目地) タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗料塗りの接着力試験 ※行う ・行わない</p> <p>34 タイル張り</p> <p>伸縮調整目地の位置 ・図示 ※6.16.2(1)(7)による [6.16.2] タイルの見本焼き ※行わない ・行う [6.16.2] タイルの試験張り ※行わない ・行う [6.16.2]</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り [6.16.3]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質 (公表単価 (円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法 壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り [表6.16.4]</p> <p>・有機系接着剤によるタイル張り [6.16.4]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法(mm)</th> <th colspan="3">吸水率の区分</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐滑り性</th> <th rowspan="2">役物の適用</th> <th rowspan="2">品質 (公表単価 (円/m²))</th> </tr> <tr> <th>I類</th> <th>II類</th> <th>III類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.16.4] 壁タイル張りの工法 [表6.16.6] 内装タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>標準塗厚(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・せっこう系・セメント系</td> <td>※10</td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))	I類	II類	III類			・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))	I類	II類	III類			・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・			・	・	・	・	・	・	・	・	種類	標準塗厚(mm)	施工箇所	・せっこう系・セメント系	※10		<p>5 塗装の種類 [7.3.2、7.5.2～7.13.2][表7.5.1～表7.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">略号</th> <th rowspan="2">塗装</th> <th colspan="3">塗替え</th> <th rowspan="2">新規</th> </tr> <tr> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・SOP</td> <td rowspan="5">合成樹脂調合ペイント塗り</td> <td>木部(屋外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>重鉛めつき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具(重鉛めつき鋼面)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○DP</td> <td rowspan="2">耐候性塗料塗り</td> <td>上塗り塗料等級</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重鉛めつき鋼面</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">○EP-G</td> <td rowspan="10">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重鉛めつき鋼面</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びECP面</td> <td>・A-2 ・B-2</td> <td>・A-1 ・B-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-2</td> <td>・C-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>アクリル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">・EP</td> <td rowspan="5">合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>アクリル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>○UC</td> <td>ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン・ビグメントステイン塗り</td> <td></td> <td></td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>CL A種の場合の塗料の種類 UC 着色 ・適用する OS 仕様 ・図示</p>	略号	塗装	塗替え			新規	塗装面	塗替え	新規	・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部(屋外)	※B種	※A種	・	木部(屋内)	※B種	※B種	・	鉄鋼面	※B種	※B種	・A種	重鉛めつき鋼面	※B種	※B種	・	鋼製建具(重鉛めつき鋼面)	※A種	※B種	・	・CL	クリヤラッカー塗り	鉄鋼面	※B種	・A種	・A種	・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	鉄鋼面	※B種	・A種	・A種	○DP	耐候性塗料塗り	上塗り塗料等級	表7.8.1	表7.8.1		重鉛めつき鋼面	表7.8.2	表7.8.2		○EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1		重鉛めつき鋼面	表7.8.2	表7.8.2		コンクリート面及びECP面	・A-2 ・B-2	・A-1 ・B-1		・C-2	・C-1		コンクリート面	※B種	※B種	・A種	モルタル面	※B種	※B種	・A種	アクリル面	※B種	※B種	・A種	せっこうボード面	※B種	※B種	・A種	その他ボード面	※B種	※B種	・A種	屋内木部	※B種	※B種	・A種	・EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種	・A種	モルタル面	※B種	※B種	・A種	アクリル面	※B種	※B種	・A種	せっこうボード面	※B種	※B種	・A種	その他ボード面	※B種	※B種	・A種	○UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	鉄鋼面	※B種	※B種	・A種	・ステイン・ビグメントステイン塗り			表7.12.1	表7.12.1		・オイルステイン塗り(OS)						・WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	・
種類	工法	厚さ(mm)	樹種	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り)	※15	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・釘留め工法(直張り)	・12																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・フローリングボード2等	・接着工法	・8	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・接着工法	※15																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工法	種別	厚さ(mm)	樹種	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・釘留め工法(根太張り)	・A種	※12	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・15																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・釘留め工法(直張り)	・B種	(ひき板の厚さ)	・																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・接着工法	※C種				・3mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																
		※表6.11.4																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))																																																																																																																																																																																																																																																																												
		I類	II類	III類																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率の区分			色	耐凍害性	耐滑り性	役物の適用	品質 (公表単価 (円/m ²))																																																																																																																																																																																																																																																																												
		I類	II類	III類																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
		・	・	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	標準塗厚(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・せっこう系・セメント系	※10																																																																																																																																																																																																																																																																																				
略号	塗装	塗替え			新規																																																																																																																																																																																																																																																																																
		塗装面	塗替え	新規																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部(屋外)	※B種	※A種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																
		木部(屋内)	※B種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																
		鉄鋼面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		重鉛めつき鋼面	※B種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																
		鋼製建具(重鉛めつき鋼面)	※A種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																
・CL	クリヤラッカー塗り	鉄鋼面	※B種	・A種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	鉄鋼面	※B種	・A種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
○DP	耐候性塗料塗り	上塗り塗料等級	表7.8.1	表7.8.1																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		重鉛めつき鋼面	表7.8.2	表7.8.2																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		重鉛めつき鋼面	表7.8.2	表7.8.2																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		コンクリート面及びECP面	・A-2 ・B-2	・A-1 ・B-1																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		・C-2	・C-1																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		コンクリート面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		モルタル面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		アクリル面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		せっこうボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		その他ボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		屋内木部	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
・EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		モルタル面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		アクリル面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		せっこうボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
		その他ボード面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
○UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	鉄鋼面	※B種	※B種	・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ステイン・ビグメントステイン塗り			表7.12.1	表7.12.1																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・オイルステイン塗り(OS)																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	・																																																																																																																																																																																																																																																																																	
29 畳敷き	<p>・畳 種類 ※D種(畳床・KT-I・KT-II※KT-III・KT-K・KT-N) [6.12.2][表6.12.1]</p> <p>・衝撃緩和型畳 畳表 ・C1 ・C2</p>	<p>35 セルフレベリング材塗り [6.17.2][6.17.3][表6.17.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>標準塗厚(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・せっこう系・セメント系</td> <td>※10</td> <td></td> </tr> </table>	種類	標準塗厚(mm)	施工箇所	・せっこう系・セメント系	※10		<p>① 一般事項</p> <p>② 下地調整</p> <p>③ 素地ごしらえ</p> <p>④ 錆止め塗料の種類</p>	<p>① 一般事項</p> <p>② 鉄筋の種類</p> <p>③ 溶接金網</p> <p>④ 鉄筋の加工</p> <p>⑤ 鉄筋の継手及び定着</p> <p>⑥ 鉄筋のかぶり厚さ</p>																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	標準塗厚(mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・せっこう系・セメント系	※10																																																																																																																																																																																																																																																																																				
30 (天井、壁仕上げ) せっこうボードその他のボード及び合板張り	<p>材料 [6.13.2][表6.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・15 ・20 ・25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・12 ・16 ・18 ・21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○けい酸カルシウム板(ノンアセベスト)</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ2(無石綿) ○6</td> <td>・8</td> </tr> <tr> <td>・化粧けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td>・6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>※フラットタイプ(※9(準不燃) ・12(不燃) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15(不燃))</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ロックウール吸音ボード1号</td> <td>RW-B</td> <td>※25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・グラスウール吸音ボード2号32K</td> <td>GW-B</td> <td>※25(ガラスクロス包)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・不燃積層せっこうボード</td> <td>GB-N-C</td> <td>・9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○シーリングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・12.5(不燃) ・15(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>・9.5 ・12.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)</td> <td>GB-B-D</td> <td>・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧せっこうボード(木目)</td> <td>GB-D</td> <td>・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 模様()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td></td> <td>表板の樹種名 ※図示 板面の品質() 厚さ(mm) () 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート型枠用合板</td> <td></td> <td>厚さ(mm) ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・構造用合板</td> <td></td> <td>厚さ(mm) ()</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td></td> <td>化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・特殊加工化粧合板 (・メラミン化粧合板) (・ポリエステル化粧合板) (・プリント合板) (・その他)</td> <td></td> <td>表面性能 ・F ・FW ・W ・SW 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ミディアムデンシティファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・3 ・7 ・9 ・12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・化粧パーティクルボード</td> <td></td> <td>・単層オーバーレイ ・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃) ・12(難燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ハードボード(素地)</td> <td>HB</td> <td>・無研磨板(・スタンダード ・テンパード) ・研磨板(・スタンダード ・テンパード)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ハードボード(化粧)</td> <td></td> <td>・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・インシュレーションボード</td> <td>IB</td> <td>A級(・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18</td> <td></td> </tr> </table> <p>せっこうボードの目地処理の種類 [6.13.3][表6.13.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>目地工法の種類</th> <th>せっこうボードのエッジの種類</th> </tr> <tr> <td>継目処理工法</td> <td>・テーパエッジ ※ベベルエッジ</td> </tr> <tr> <td>突付け工法</td> <td>※ベベルエッジ ・スクエアエッジ</td> </tr> <tr> <td>目透し工法</td> <td>※スクエアエッジ ・ベベルエッジ</td> </tr> </table> <p>合板類の張付け ・A種 ※B種 [6.13.3][表6.13.3] MDF及びパーティクルボード並びに合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.13.2] 遮音壁に用いるシール材 ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド [6.13.2] 天井のボードの重ね張りの張り付け方法(ロックウール吸音板を除く) [6.13.3] ()</p>	種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25		・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25		・硬質木片セメント板	HF	・12 ・16 ・18 ・21		・普通木片セメント板	NF	・30		○けい酸カルシウム板(ノンアセベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) ○6	・8	・化粧けい酸カルシウム板		・6		・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(準不燃) ・12(不燃) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15(不燃))		・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25		・グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)		○せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)		・不燃積層せっこうボード	GB-N-C	・9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)		○シーリングせっこうボード	GB-S	※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)		・せっこうラスボード	GB-L	・9.5 ・12.5		・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	GB-B-D	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)		・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 模様()		・普通合板		表板の樹種名 ※図示 板面の品質() 厚さ(mm) () 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理		・コンクリート型枠用合板		厚さ(mm) ()		・構造用合板		厚さ(mm) ()		・天然木化粧合板		化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理		・特殊加工化粧合板 (・メラミン化粧合板) (・ポリエステル化粧合板) (・プリント合板) (・その他)		表面性能 ・F ・FW ・W ・SW 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理		・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12		・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18		・化粧パーティクルボード		・単層オーバーレイ ・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃) ・12(難燃)		・ハードボード(素地)	HB	・無研磨板(・スタンダード ・テンパード) ・研磨板(・スタンダード ・テンパード)		・ハードボード(化粧)		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7		・インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18		目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類	継目処理工法	・テーパエッジ ※ベベルエッジ	突付け工法	※ベベルエッジ ・スクエアエッジ	目透し工法	※スクエアエッジ ・ベベルエッジ	<p>31 壁紙張り</p> <p>壁紙 [6.14.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>程度</th> <th>防火性能</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※塩化ビニル樹脂系</td> <td>・不燃 ・準不燃</td> <td>・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・不燃 ・準不燃</td> <td>・難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・不燃 ・準不燃</td> <td>・難燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面 ・A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.4] コンクリート面及びALCパネル面 ・A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.5] せっこうボード及びその他のボード面 ・A種 ※B種 [6.14.3][表7.3.7] 壁紙のホルムアルデヒドの放散量等 ※F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの [6.14.2]</p>	種類	程度	防火性能	施工箇所	※塩化ビニル樹脂系	・不燃 ・準不燃	・難燃		・	・不燃 ・準不燃	・難燃		・	・不燃 ・準不燃	・難燃		<p>工事名 高知市 都市建設部 公共建築課 高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事</p> <p>係 係長 課長補佐 課長 図面番号</p> <p>図面名 改修特記仕様書(6) 2024.04 縮尺 1/</p> <p>作図 年 月 日</p> <p>特-06</p>																																																																																																																																										
種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・16 ・18 ・21																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・普通木片セメント板	NF	・30																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○けい酸カルシウム板(ノンアセベスト)	0.8FK 1.0FK	タイプ2(無石綿) ○6	・8																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・化粧けい酸カルシウム板		・6																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ(※9(準不燃) ・12(不燃) ・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15(不燃))																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・グラスウール吸音ボード2号32K	GW-B	※25(ガラスクロス包)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・不燃積層せっこうボード	GB-N-C	・9.5(不燃) ・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○シーリングせっこうボード	GB-S	※12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・せっこうラスボード	GB-L	・9.5 ・12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	GB-B-D	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) 模様()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・普通合板		表板の樹種名 ※図示 板面の品質() 厚さ(mm) () 接着の程度 ・1類 ・2類 ・防虫処理 ・難燃処理 ・防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・コンクリート型枠用合板		厚さ(mm) ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・構造用合板		厚さ(mm) ()																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・天然木化粧合板		化粧板の樹種名 () 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・特殊加工化粧合板 (・メラミン化粧合板) (・ポリエステル化粧合板) (・プリント合板) (・その他)		表面性能 ・F ・FW ・W ・SW 接着の程度 ・1類 ・2類 厚さ(mm) () ・防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・単板張りパーティクルボード		・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・化粧パーティクルボード		・単層オーバーレイ ・塗装 ・プラスチックオーバーレイ ・10(難燃) ・12(難燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ハードボード(素地)	HB	・無研磨板(・スタンダード ・テンパード) ・研磨板(・スタンダード ・テンパード)																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ハードボード(化粧)		・内装用 ・外装用 ・2.5 ・3.5 ・5 ・7																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・インシュレーションボード	IB	A級(・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18																																																																																																																																																																																																																																																																																			
目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																				
継目処理工法	・テーパエッジ ※ベベルエッジ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
突付け工法	※ベベルエッジ ・スクエアエッジ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
目透し工法	※スクエアエッジ ・ベベルエッジ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	程度	防火性能	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※塩化ビニル樹脂系	・不燃 ・準不燃	・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・	・不燃 ・準不燃	・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・	・不燃 ・準不燃	・難燃																																																																																																																																																																																																																																																																																			

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
7 帯筋組立の形、継手及び定着	※ 図示 [8.3.4]	18 (鉄骨) 鉄骨製作工場	※ 「指定性能評価機関」による大臣認定工場で当該設計図書の内容を満たす評価基準を有する工場 ○ Sグレード ○ Hグレード ○ Mグレード ○ Rグレード ・ Jグレード [8.1.5]	40 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	既存仕上げ等の撤去 ※ 図示 [8.21.2] 既存構造体の撤去 ※ 図示 [8.21.2] 割製補強筋の仕様 ※ 図示 [8.21.6] コンクリートの打込み工法 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 [8.21.8] 既存構造体との取合い ※ 図示 [8.21.9] 増設壁工事後の仕上げ ※ 図示 [8.21.10]
8 壁の配筋	壁筋の定着長さ ※ 図示 [8.3.7] シアコネクタの種類、径、長さ、彫込み深さ及び間隔 ※ 図示 [8.3.7][8.7.8]	19 鉄骨製作工場における施工管理技術者の配置	適用する [8.1.6]	41 鉄骨ブレースの設置工事	割製補強筋の仕様 ※ 図示 [8.22.7] ブレース設置工事後の仕上げ ※ 図示 [8.22.9] 外側補強一枠付鉄骨ブレースの仕上げ 防錆処理 : 亜鉛・アルミニウム溶射(AL-15%, ZN-85%) 厚さ 100μm 素地ごしらえ : 亜鉛メッキ面B種(18.2.4) 封孔処理 : 亜鉛メッキ面用エポキシ樹脂塗料2回以上 塗装 : DP3級
9 壁開口部の補強	※ 図示 [8.3.7]	20 鉄骨の「ゲージ」,「ボ」間隔 緑端距離等	※ (一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書 鉄骨工事」による。 図示 [8.13.2]	42 柱補強工事	溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ※ 図示 [8.23.5] 構造体用モルタルの厚さ ※ 図示 [8.23.5] コンクリート及び構造用モルタルの打込み工法 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 フープ筋 径 ※ 図示 配置 ※ 図示 鋼板巻き工法及び帯巻巻き付け工法 [8.23.6] 柱頭及び柱脚の隙間 ※ 図示 [8.24.1][4.1.4] 連続繊維補強工法 ひび割れ部の改修工法 ※ 樹脂注入工法 隅角部の面取り ※ 図示 連続繊維補強材の強度試験 ※ 引張強度試験(JIS A 1191に準拠) ※ 行う 付着強度試験(JIS A 6909に準拠) ※ 行う
10 スリーブの材質、規格等	※ 下記の通り 図示 [8.2.7][表8.2.6] (i) 外壁の地中部分等水密を要する部分に用いるスリーブは、つば付き鋼管とする。 (ii) 地中部分で水密を要しない部分に用いるスリーブは、硬質ポリ塩化ビニル管とする。 (iii) (i)及び(ii)以外の円形スリーブは、溶融亜鉛めっき鋼板とし、原則として、筒形の両端を外側に折り曲げてつばを設ける。また、必要に応じて、円筒部を両方から差し込む伸縮形とする。 (iv) 硬質ポリ塩化ビニル管は、防火区画を貫通する場合には使用しない。 なお、柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が 200mm 以下の部分は、紙チューブとすることができる。	21 鋼材	[8.2.8][表 8.2.7]	43 連続繊維補強工事	材料 ※ 炭素繊維 アラミド繊維 強度試験 ・ 引張強度試験 [8.23.7] 補強工事後の仕上げ ※ 図示 [8.23.7][8.24.5]
11 圧接完了後の試験	試験方法 ※ 超音波探傷試験(全数) [8.3.8]	22 高力ボルトの種類等	※ トルシア形高力ボルト(S10T) (ねじの呼び ※ 図示) [8.2.9] ・ JIS 形高力ボルト(F10T) (ねじの呼び ※ 図示) [8.2.9] ・ ナット回転法の場合「ボ」の長さが呼びの5倍を超える場合の回転量(※ 図示) [8.14.7] ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト(F8T 相当) (ねじの呼び ※ 図示) [8.2.9]	44 耐震スリット新設工事	耐震スリットの幅及び深さ ※ 図示 [8.25.2] 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 ※ 8.21.2(1), (3)及び8.21.3(4) [8.25.2] 耐火材 ※ 図示 [8.25.2] 遮音材 ※ 図示 [8.25.2] 撤去部の補修 ※ 図示 [8.25.2]
12 既存部分の取り扱い	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 [8.21.2]による [8.21.2][8.22.2][8.23.2] 設備機器、配管等の撤去及び移設 ※ 図示 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示 はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示 ※ 鉄筋の場合、必要に応じて先端にキャップ等を取付けて養生。鉄骨の場合は発泡スチロール等で養生。 目荒らしの程度 [8.21.3][8.22.3][8.23.3][8.26.6] 既存柱・梁 ※ 平均深さで2~5mm(最大で5~7mm)程度の凹面を、合計が打継ぎ面の15~30%程度の面積となるように全体にわたってつける。 増打り壁増設 ※ 既存壁には打継ぎ面の10~15%程度を目安として目荒しを行う。 割製補強筋の仕様 ※ 図示 [8.21.6][8.22.7]	23 スタッド	種類等 ※ 図示 [8.2.11]	45 免震改修工事	支承材、減衰材 材質及び諸元 ※ 図示 [8.26.7] 性能確認試験 ※ 行う(項目: , 数量:) ・ 行わない [8.26.7] 製品検査 [8.26.7]
13 (コンクリート等)コンクリートの種別	※ I 類 ・ II類 [8.1.3][表8.1.1]	24 材料試験等	板厚方向に引張力を受ける鋼板のJIS G 0901による試験 ・ 実施する ・ 実施しない [8.2.14]	46 制振改修工事	既存部分の撤去等 [8.27.2] 既存部分の鉄骨造の場合 既存鉄骨の撤去範囲及び方法 ※ 図示 既存鉄骨の処置 ※ 図示 減衰材 材質及び諸元 ※ 図示 [8.27.4] 性能確認試験 ※ 行う(項目: , 数量:) [8.27.4] 製品検査 [8.27.4]
14 コンクリートの材料及び調合	※ 普通コンクリート [8.1.3][8.1.4]	25 溶接接合(技能資格者)	溶接技能者への技量付加試験 ・ 行う ※ 行わない 代替エンドタブを使用する場合は、技量付加試験を行うか、AW検定協議会が実施する代替エンドタブ検定により認定された溶接技能者でなければならない [8.15.3]	環境配慮改修工事	石綿含有建材の有無及び除去等 [9.1.3~9.1.5]
	設計基準強度 Fc(N/mm2) スラブ(cm) 適用箇所 ※ 21 ○ 15 ・ 18 すべて ・ 18 ・ 15 ・ 18	26 仮組	※ 実施しない [8.13.10]	1 石綿含有建材の除去工事	石綿含有建材の種類 使用部位 除去工法 ・ 石綿含有吹付材 ※ 9.1.3による ・ 石綿含有保温材 ※ 9.1.3による ・ 石綿含有成形板等 ※ 9.1.4による ・ 石綿含有吹付材の飛散防止処置 ※ 湿潤化 ・ 固形化
	セメントの種類 ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 [8.2.5] ・ 高炉セメントB種 適用箇所() ・ フライアッシュセメントB種 適用箇所() ・ 軽量コンクリート [8.1.3][8.9.1~8.9.2]	27 摩擦面のすべり試験	※ 実施しない [8.13.10]		
	設計基準強度 Fc(N/mm2) スラブ(cm) 使用箇所 ※ 21 ※ 18 種類 ・ 1種(t/m3) ・ 2種(t/m3) [8.9.1][表8.9.1]	28 溶接部の試験	○ 超音波探傷試験 試験箇所 () ・ 放射線透過試験 試験箇所 () ・ マクロ試験(エンドタブ使用) 試験箇所 ()		
	骨材 アルカリシリカ反応性による区分 ※ A ・ B [8.2.5]	29 開先,「カッパ」の形状	※ 図示 [8.15.4][8.15.7]		
	混和材料 [8.2.5]	30 エンドタブ	※ 切断する ・ 切断しない [8.15.7] 切断する箇所 ※ 見えがかり部 ・ 図示 切断範囲 ※ 図示		
	○ 混和剤 ※ A E 剤又は A E 減水剤標準形 (JIS A 6204) [8.2.5] ・ 高性能 A E 減水剤標準形 (JIS A 6204) ・ 混和材 ・ フライアッシュ (・ I 種 ・ II 種 ・ IV 種) (JIS A 6201) ・ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ・ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ・ コンクリート用膨脹材 (JIS A 6202)	31 錆止め塗料の種別	項目「塗装改修工事-4」の「錆止め塗料の種別」による [8.17.1]		
	構造体強度補正值 (S) [8.2.5] ※表8.2.4による	32 錆止め塗装の範囲	※8.17.2による [8.17.2]		
	外部に面するコンクリートの打増し厚さ(mm) [8.7.8] 外壁 ※ 図示 ・ 20 ・ 25 その他 ※ 図示 ・ 20	33 耐火被覆	種別 [8.18.2] ・ 耐火材吹付け工法 [8.18.4] ・ ロックウール吹付け工法 (・ 乾式工法 ・ 半乾式工法 ・ 湿式工法) [8.18.5] ・ 耐火板張り工法 (・ 繊維入れい酸カルシウム板) [8.18.6] ・ 耐火材巻付け工法 (・ 高断熱ロックウール) [8.18.7] ・ ラス張りモルタル塗り 左官工法 [8.18.7] ・ 耐火塗料 塗装工法 [8.18.8] ・ 図示 [8.18.8]		
15 打放し仕上げの種別	※ 合板せき板を用いる場合 [8.1.4][8.2.7][表8.1.4]	34 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	摩擦面の処理 ※ プラスト処理又はりん酸塩処理 [8.20.5] ただし、りん酸塩処理とする場合は、すべり耐力等の確認をすべり試験を行うこと。		
	種別 厚さ(mm) 施工箇所 ・ A種 ※ 12 ○ B種 ※ 12 ・ 布基礎立上り ・ C種 ※ 12	35 柱底均しモルタル及びグラウト材	※ 無収縮モルタル [8.2.12] 製造所(製品名) 評価名簿による		
	・ せき板の材料として合板を用いない場合 材料 () 厚さ ()	36 あと施工アンカー	・ 金属系アンカー [8.2.4] アンカー本体 構造計算で用いた 構造計算で用いた アンカーの セット方式 接合筋 使用箇所 径 埋込み長さ 引張耐力 せん断耐力 種類 径 長さ ○ D16 ※ 図示 40.4kN 29.8kN ○SD345 ※ 図示 ※ 図示 ・ 径×5以上 ・ D22		
16 コンクリートの仕上りの平たんさ	適用部位 ※ 下表 図示 [8.1.4][表8.1.5]	37 あと施工アンカー性能確認試験	○ 接着系アンカー [8.2.4] アンカー本体 構造計算で用いた 構造計算で用いた アンカー筋 使用箇所 径 埋込み長さ 引張耐力 せん断耐力 種類 定着長さ ○ D13 ○ D16 ※ 図示 40.4kN 29.8kN ○SD345 ※ 図示 ※ 図示 ・ D19 ・ 径×12以上 ・ D22 アンカーの種類 ※ カプセル方式の回転・打撃式		
	種別 コンクリートの内外装仕上げ 平たんさ 適用部位による仕上げの目安	38 埋め込み配管等の探査	※ 行う 試験の種類 [8.2.4] 対象 [8.12.4] 探査方法 ※ 鉄筋探査器により確認する [8.12.4] (鉄筋探査器で確認できない場合は、はつりを行い、埋設の鉄筋、金物類の位置を確認する)		
	a 種 コントラストが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他非常に良好な平たんさ及び良好な表面状態が必要な場合 3mにつき7mm以下 化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	39 あと施工アンカーの施工後の確認試験	※ 抜取試験 [8.12.7] 引張試験 試験数 ※ 8.12.7による 引張試験の確認強度 ○ 26.9kN		
	b 種 仕上げ厚さが7mm未満の場合その他良好な平たんさが必要な場合 3mにつき10mm以下 仕上塗材塗り 外装タイルセメントモルタル張り セラペレンダ材塗り				
	c 種 仕上げ厚さが7mm以上の場合又は下地の影響を受けにくい仕上げの場合 1mにつき10mm以下 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 二重床				
17 構造体用モルタルの材料及び調合(グラウト材)	材料 ※ 早強型特殊セメント系無収縮モルタル(プレミックスタイプ) [8.2.6][表8.2.5] 設計基準強度 ※ fc=30(N/mm2)(材齢:28日) コンステンシー ※ J14ルート試験法による フロー値 製造所 ※ 評価名簿による 試験 種別 圧縮強度試験 供試体:φ50, H=100(J14ルート流下速度試験を行い作成する) 回数 1組の作業班が1日に行った施工箇所毎かつ2.0m3及びその端数毎につき1回				

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書(7)	2024.04	縮尺	1/	作図	年 月 日

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																									
2	<p>石綿含有仕上塗材の除去 使用部位 () 使用材料 () 除去工法 ※厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法 除去範囲 ※ 図示 試験施工 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>処分 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。</p> <p>石綿粉じん濃度測定 ※建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 ・ 行う ・ 行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定名称</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td>処理作業前</td> <td>・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定1</td> <td>※ 2点 ・ 3点</td> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td>・ 処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>測定2 測定3 測定4 測定5</td> <td>※ 2点 ※ 2点 ※ 1点 ※ 1点</td> </tr> <tr> <td>処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td>※ 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定6 測定7 測定8</td> <td>※ 4方向 各1点 ※ 2点以上 ※ 4方向 各1点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・ JIS K3850-1に基づいた測定 (測定4 ・ 測定5 ・ 測定6 ・ 測定7 ・) ・ 自動測定器による測定 (測定4 ・ 測定5 ・)</p>	測定時期	測定場所	測定名称	測定点	処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※ 2点 ・ 3点	処理作業中	・ 処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定2 測定3 測定4 測定5	※ 2点 ※ 2点 ※ 1点 ※ 1点	処理作業後 (隔離シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6 測定7 測定8	※ 4方向 各1点 ※ 2点以上 ※ 4方向 各1点	<p>○ポリエチレンフィルムの厚さ ※0.15mm</p> <p>屋根及びびとい工事</p> <p>① 長尺金属板葺</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> <th>下地</th> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>※ JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td>AZ150</td> <td>0.5mm</td> <td>◎立平葺 ・ 横葺</td> <td>木毛セメント板 t=20</td> </tr> </table> <p>下葺材料 ◎アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 (一般タイプ ・ 複層基材タイプ ・ 粘着層付タイプ)</p> <p>工法 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 横葺きの場合は、つかみ込み納め ・ ければ包み納め</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>タイトフレーム(mm)</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 重ね形 ・ はせ縮め形 ・ かん合形</td> <td>山高 山ヒツチ</td> <td>()種</td> <td>※ 鋼板製 ・ 7&10mm 合金製</td> <td></td> <td>・ 有り ・ 無し</td> <td>・ 30分 ・ 無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 () 塗装の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内の場合の表面処理 ※表14.2.2のF種</p> <p>断熱材張り ・ 適用する (種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) 工法 (13.3.3) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対して構造耐力上安全である工法 折板のければ納め ※ ければ包みによる方法</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>寸 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td> <td></td> <td>※ たてどい</td> </tr> <tr> <td>◎ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カーVP)</td> <td>100</td> <td>※ たてどい</td> </tr> <tr> <td>◎ 硬質塩化ビニル雨どい</td> <td>角型前高150</td> <td>※ 軒どい ・ たてどい</td> </tr> <tr> <td>・ 表面処理鋼板 ・ 塗膜の種類 () ・ 耐酸被覆鋼板</td> <td></td> <td>・ 軒どい ・ たてどい</td> </tr> </table> <p>受け、掴み金物等の付属金物の材質 ※ ステンレス製 ・ 溶融亜鉛めっき (13.5.2) 鋼管製との防露巻き工法 ※ 表13.5.4による (13.5.3) 防露材のホルムアルデヒド放散量 (13.5.2) ※ F☆☆☆☆</p>	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	下地	屋根	※ JIS G 3322の屋根用コイル	AZ150	0.5mm	◎立平葺 ・ 横葺	木毛セメント板 t=20	施工箇所	形式	タイトフレーム(mm)	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		・ 重ね形 ・ はせ縮め形 ・ かん合形	山高 山ヒツチ	()種	※ 鋼板製 ・ 7&10mm 合金製		・ 有り ・ 無し	・ 30分 ・ 無し	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※ たてどい	◎ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カーVP)	100	※ たてどい	◎ 硬質塩化ビニル雨どい	角型前高150	※ 軒どい ・ たてどい	・ 表面処理鋼板 ・ 塗膜の種類 () ・ 耐酸被覆鋼板		・ 軒どい ・ たてどい	<p>解体工事</p> <p>① 解体範囲</p> <p>② 解体作業注意事項</p> <p>3 作業時間等</p> <p>④ 騒音測定等</p> <p>⑤ その他</p> <p>※ 図示(土中解体で図面に記載がない場合は、基礎杭コンクリートまでとする) ・ その他()</p> <p>a) 解体機器は圧砕機を主体とし、騒音及び振動等の発生防止に努める。 b) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、その他の関係法令等によるほか、工事に伴い発生する廃棄物は選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。 c) 車両の出入りにおいては、道路を泥等で汚さないように留意すること。また、止むを得ず汚した場合は、速やかに清掃すること。 d) 解体作業中は散水等を行い、粉塵等の飛散防止に努め、廃材搬出車両には、飛散防止用のシートを被せて運行すること。 e) 工事作業者の通勤用車両での乗り込みは最小限に留め、全ての工事関係車両は進入路及び敷地内では徐行運転すること。 f) 工事関係車両は、周辺道路での待機及び路上駐車は行わないこと。 g) 施設関係者、通行者、近隣等に危害が及ばぬよう、騒音及び振動、工事関係車両の通行等に注意すること。 h) PCBが含まれる機器類が発見された場合は、監督職員に報告すること。また、そのPCBを含む機器類については、高知市が指示する場所に保管すること。 i) 以上の項目は受注者はもとより下請業者にも、周知徹底させること。</p> <p>資材、機材の搬入は朝夕の交通ラッシュ時には行わないこと。</p> <p>解体作業中はデジタル式の◎騒音計 ◎振動計を設置し、記録すること。また、記録したものを報告書として提出すること。なお、関連法令で定める数値を上回った場合は、作業を中止し、監督職員に速やかに報告すること。</p> <p>測定点 ※ 敷地境界 (1)か所: 詳細な位置は監督職員と協議による ・ 図示 ・ その他()</p> <p>◎ 電灯等は、別途設備工事で撤去することとする。 ・ 工事現場着手は電気及び機械設備工事の切り替え後とする。</p>
	測定時期	測定場所	測定名称	測定点																																																										
処理作業前	・ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※ 2点 ・ 3点																																																											
処理作業中	・ 処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定2 測定3 測定4 測定5	※ 2点 ※ 2点 ※ 1点 ※ 1点																																																											
処理作業後 (隔離シート撤去前)	※ 施工区画周辺又は敷地境界 ※ 処理作業室内 ・ 施工区画周辺又は敷地境界	測定6 測定7 測定8	※ 4方向 各1点 ※ 2点以上 ※ 4方向 各1点																																																											
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式	下地																																																									
屋根	※ JIS G 3322の屋根用コイル	AZ150	0.5mm	◎立平葺 ・ 横葺	木毛セメント板 t=20																																																									
施工箇所	形式	タイトフレーム(mm)	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																							
	・ 重ね形 ・ はせ縮め形 ・ かん合形	山高 山ヒツチ	()種	※ 鋼板製 ・ 7&10mm 合金製		・ 有り ・ 無し	・ 30分 ・ 無し																																																							
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																												
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※ たてどい																																																												
◎ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カーVP)	100	※ たてどい																																																												
◎ 硬質塩化ビニル雨どい	角型前高150	※ 軒どい ・ たてどい																																																												
・ 表面処理鋼板 ・ 塗膜の種類 () ・ 耐酸被覆鋼板		・ 軒どい ・ たてどい																																																												
2	<p>断熱材の種類 ※ 図示 断熱材の厚さ ※ 図示 外装材の種類及び防火性能 種類 ・ 防火性能 既存外壁の仕上材の撤去 ※ 図示 下地の清掃 ※ 図示 欠損部の改修工法 ・ 適用 (※ 図示 ※ 4.1.4) 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ※ 図示 断熱材の施工 ※ 製造所の仕様による 外装材の施工 ※ 図示 通気層 ・ 有(厚さ ※ 図示 ・)無 外装材の外壁への取付 ※ 図示 笠木の施工 ※ 3章9節による</p>	<p>③ とい</p>	<p>外壁改修フロー及び数量</p> <p>○モルタル塗り仕上げ外壁の場合</p> <p>外壁調査(施工数量調査)</p> <p>旧仕上げの撤去 ・ 全面 ※ 図示</p> <p>ひび割れ部改修</p> <p>欠損部改修</p> <p>モルタル撤去 ◎しない ・ する</p> <table border="1"> <tr> <th>樹脂注入工法(注1)</th> <th>Uカットシール材 充填工法</th> <th>シール工法</th> <th>充填工法</th> <th>モルタル 塗替工法</th> </tr> <tr> <td>A) m B) m C) m D) m</td> <td>8.0 m</td> <td>m</td> <td>m² カッター切り m</td> <td>m² カッター切り m</td> </tr> </table> <p>浮き部改修</p> <p>アンカーボルト注入工法 ・ 注入口付</p> <table border="1"> <tr> <th>充填工法</th> <th>モルタル 塗替工法</th> <th>部分エポキシ 樹脂 一般部分</th> <th>全面エポキシ 樹脂 一般部分</th> <th>全面ポリマー セメントスラリー 一般部分</th> </tr> <tr> <td>m² カッター切り m</td> <td>m² カッター切り m</td> <td>m² 指定部分 m² 狭幅部 m</td> <td>m² 指定部分 m² 狭幅部 m</td> <td>m² 指定部分 m² 狭幅部 m</td> </tr> </table> <p>下地調整塗材 ・ 全面 ・ 図示</p> <p>仕上塗材仕上げ ・ 全面 ・ 図示</p>	樹脂注入工法(注1)	Uカットシール材 充填工法	シール工法	充填工法	モルタル 塗替工法	A) m B) m C) m D) m	8.0 m	m	m ² カッター切り m	m ² カッター切り m	充填工法	モルタル 塗替工法	部分エポキシ 樹脂 一般部分	全面エポキシ 樹脂 一般部分	全面ポリマー セメントスラリー 一般部分	m ² カッター切り m	m ² カッター切り m	m ² 指定部分 m ² 狭幅部 m	m ² 指定部分 m ² 狭幅部 m	m ² 指定部分 m ² 狭幅部 m																																							
樹脂注入工法(注1)	Uカットシール材 充填工法	シール工法	充填工法	モルタル 塗替工法																																																										
A) m B) m C) m D) m	8.0 m	m	m ² カッター切り m	m ² カッター切り m																																																										
充填工法	モルタル 塗替工法	部分エポキシ 樹脂 一般部分	全面エポキシ 樹脂 一般部分	全面ポリマー セメントスラリー 一般部分																																																										
m ² カッター切り m	m ² カッター切り m	m ² 指定部分 m ² 狭幅部 m	m ² 指定部分 m ² 狭幅部 m	m ² 指定部分 m ² 狭幅部 m																																																										
3	<p>断熱 ・ 防露改修工事</p> <p>断熱材打込み工法又は断熱材後張り工法材料 [9.3.2][9.3.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>等 級</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ JIS A 9521(建築用断熱材)によるビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td>※ 2種 bA</td> <td>※ 25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ JIS A 9521(建築用断熱材)によるビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2][9.3.4] ※ F☆☆☆☆、またはそれと同等と認められるもの 断熱材現場発泡工法材料 (JIS A 9526による) [9.3.3] ※ A種1 ・ B種 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 製造所 評価名簿による</p>	種 類	等 級	厚さ(mm)	施工箇所	・ JIS A 9521(建築用断熱材)によるビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材				※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	※ 2種 bA	※ 25		・ 硬質ウレタンフォーム断熱材				・ フェノールフォーム断熱材				・ JIS A 9521(建築用断熱材)によるビーズ法ポリスチレンフォーム保温材				・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)				<p>ユニット及びその他工事</p> <p>① 天井見切縁 ② コーナービート ③ 既製庇</p> <p>舗装工事</p> <p>① 路盤 ② アスファルト舗装</p>	<p>材料種 ・ アルミニウム製 ※ 塩ビ</p> <p>材料種 ※ ステンレス ◎ アルミニウム合金</p> <p>アルミ製 W=2,000 L=900 公表価格 105,000円</p> <p>路盤の厚さ ※ 図示 ◎ t=150 (22.3.2) 路盤材料 ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 締固め度の試験 ※ 行う ・ 行わない (22.3.5)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ◎ t=50 (22.4.2) 材料 アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60~80 ・ 80~100) (22.4.3) ・ ストレートアスファルト 骨材 ・ 道路用砕石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 (22.4.3) 加熱アスファルト混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>混 合 物 の 種 類</th> </tr> <tr> <td>表 層</td> <td>◎ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)</td> </tr> </table> <p>シールコート ・ 行う ※ 行わない (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※ 行わない (22.4.6) 舗装の平坦性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.4.2)</p>	部 位	混 合 物 の 種 類	表 層	◎ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																											
種 類	等 級	厚さ(mm)	施工箇所																																																											
・ JIS A 9521(建築用断熱材)によるビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材																																																														
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	※ 2種 bA	※ 25																																																												
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材																																																														
・ フェノールフォーム断熱材																																																														
・ JIS A 9521(建築用断熱材)によるビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																																														
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)																																																														
部 位	混 合 物 の 種 類																																																													
表 層	◎ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)																																																													
土工事	<p>① 埋戻し及び盛土 種別 ・ A種(水締めのみく砂質土) (3.2.3)(表3.2.1) ※ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>② 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理(搬出前に建設発生土の受入証明又は法令による許可書等を提出する) (3.2.5) ・ 構外指示の場所に処分(搬出調査等を提出する) ・ 受入れ施設名: ・ 受入れ場所: ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積 500m3以上を構外搬出適切処理する場合は確認結果表を作成し、再生資源利用計画の添付資料とする。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/kensetuhasseido-hannsyutusaki.html)</p>																																																													
地業工事	<p>① 砂利及び砂地業 材料 (4.6.2) 砂利地業 ※ 切込砂利又は切込砕石 ※ 再生クラッシュラン(直接基礎下を除く) 砂地業 ・ 山砂 ・ 川砂又は砕砂 厚さ ◎ 図示 ※ 60mm (4.6.3)</p> <p>② 捨コンクリート地業 コンクリートの種類 ※ 普通コンクリート (6.14.1) 設計基準強度(Fc) ※ 18N/mm² ・ 18cm スランプ ※ 15cm (4.6.4) 厚さ ※ 50mm</p> <p>③ 床下防湿層 施工範囲 ※ 建物内土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピット下を除く) (4.6.5) (断熱材がある場合は、断熱材の直下) ・ 図示</p>																																																													

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書(8)	2024.04	縮尺	1/	作図	年 月 日

外部仕上表		※ → 現況部分を示す					
名称	名称	旧・新	根廻り	壁	開口部	軒天	備考
東面	現況		モルタルこて押え	モルタル刷毛引き エマルリシン吹付 長尺角波カラー鉄板 t=0.35張 (PB t=12.0 下地)	アルミドア、アルミホームサッシ 軽量バランスシャッター	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) (PB t=12.0下地)	壁回りで木製OP塗装(水切り等)
	改修後		現況のまま(一部 モルタルこて押え復旧及びコンクリート打ち放し新設)	現況のまま 一部新設ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4張 (F型、GB-S12.5+透湿防水シート下地)	現況のまま(アルミドアは撤去) 一部サッシ新設	図示範囲: 既存撤去(木下地共)のうえ ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (LGS下地) EP-G塗装 一部新設	現況のまま
南面	現況		モルタルこて押え	モルタル刷毛引き エマルリシン吹付 長尺角波カラー鉄板 t=0.35張 (PB t=12.0 下地)	アルミドア、アルミホームサッシ	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) (PB t=12.0下地)	壁回りで木製OP塗装(水切り等)
	改修後		現況のまま(一部 モルタルこて押え復旧及びコンクリート打ち放し新設)	現況のまま 一部新設ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4張 (F型、GB-S12.5+透湿防水シート下地)	既存サッシ撤去のうえ(一部を除く)サッシ新設	図示範囲: 既存撤去(木下地共)のうえ ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (LGS下地) EP-G塗装 一部新設	現況のまま
西面	現況		モルタルこて押え	モルタル刷毛引き エマルリシン吹付 長尺角波カラー鉄板 t=0.35張 (PB t=12.0 下地)	アルミドア、アルミホームサッシ	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) (PB t=12.0下地)	壁回りで木製OP塗装(ガラリ、水切り等)
	改修後		現況のまま(一部 モルタルこて押え復旧及びコンクリート打ち放し新設)	現況のまま 一部新設ガルバリウムカラー鋼板 t=0.4張 (F型、GB-S12.5+透湿防水シート下地)	現況のまま	図示範囲: 既存撤去(木下地共)のうえ ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (LGS下地) EP-G塗装 一部新設	現況のまま
北面	現況		モルタルこて押え	モルタル刷毛引き エマルリシン吹付 長尺角波カラー鉄板 t=0.35張 (PB t=12.0 下地)	アルミホームサッシ	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) (PB t=12.0下地)	壁回りで木製OP塗装(水切り等)
	改修後		現況のまま(一部 モルタルこて押え復旧)	現況のまま	現況のまま	図示範囲: 既存撤去(木下地共)のうえ ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (LGS下地) EP-G塗装	現況のまま
屋根・とい	現況		屋根(長尺カラー鉄板瓦葺き t=0.4 木毛セメント板 t=20.0下地)		軒とい(垂鉛鉄板 t=0.4 100φ OP) たてとい(VP75φ OP)		
	改修後		屋根 既存屋根の上 ガルバリウムカラー鋼板(カバー工法) t=0.5 ハゼ式折板葺き 山高66 (アスファルトルーフィング940下地) 一部新設部分(ガルバリウムカラー鋼板 t=0.5 ハゼ式折板葺き 山高66程度 アスファルトルーフィング940下地木毛セメント板 t=20.0下地 ベア裏貼共)		軒とい 既存撤去(受け金物共)のうえ カラー塩ビ 150 角前高 新設 たてとい 既存撤去(掴み金物共)のうえ カラーVP 100φ 新設		

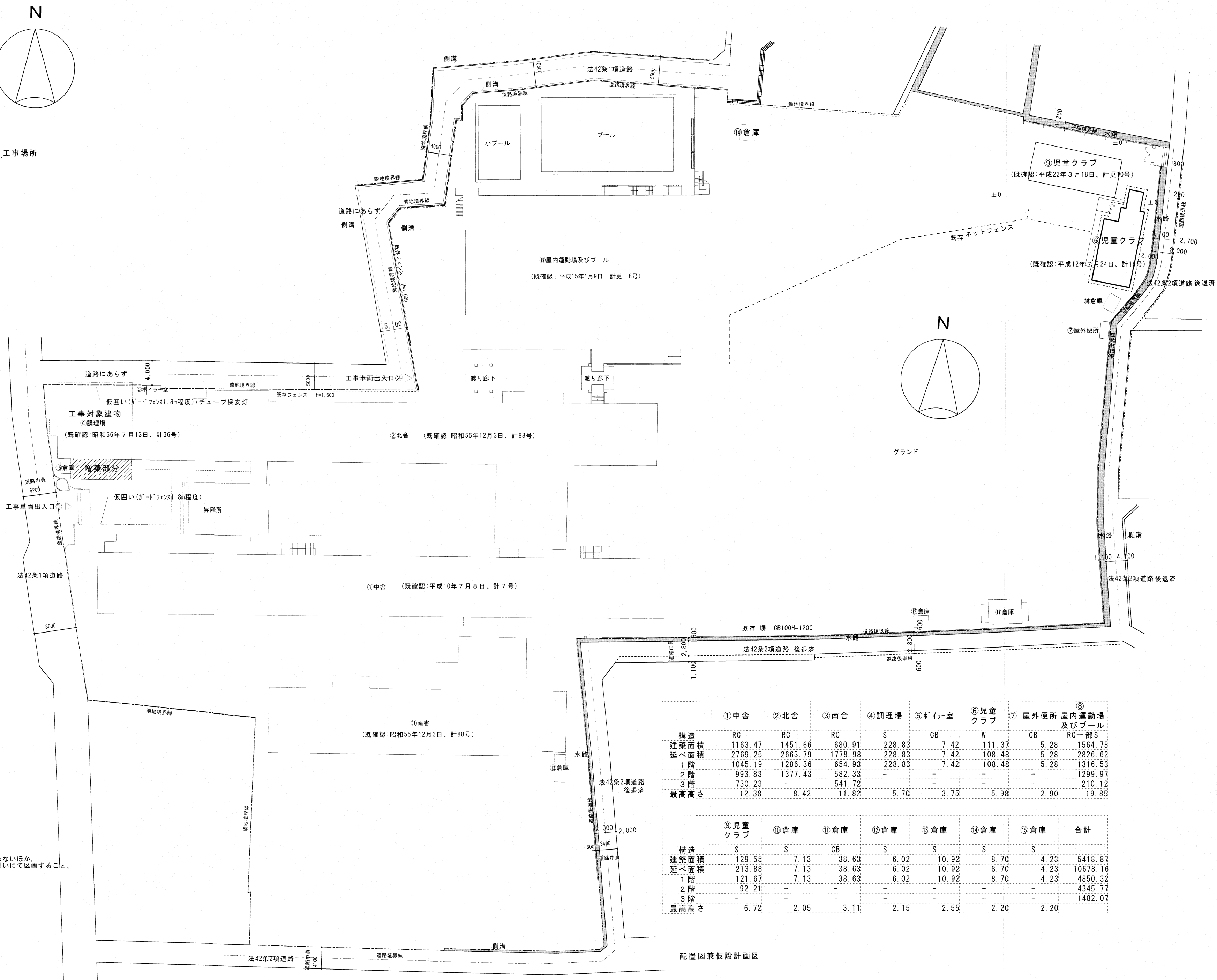
内部仕上表		※ → 現況部分を示す						
室名	名称	旧・新	床	幅木	腰壁	壁	天井	備考
給食室	現況		防滑性ビニルシート貼り	モルタルこて押え	モルタルこて磨き(VP)	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	黒板 600×900
	改修後		現況のまま(一部柱脚補修部ハツリ部分 防滑性ビニルシート補修貼り t=2.5)	現況のまま	現況のまま	現況のまま	図示範囲: 既存撤去(木下地共)のうえケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 EP-G塗装(LGS下地) 塩ビ回り縁新設	現況のまま
配膳室	現況		モルタルこて押え(VP)	モルタルこて押え	モルタルこて磨き(VP)	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	PB t=9.0 目透し張(OPローラー)	パン箱ケース 900×1,350×h1,340 (2箇所)、940×1,900×h1,340 (1箇所) 880×2,500×h1,340 (1箇所)
	改修後		現況のまま 一部新設(モルタルこて押え+エポキシ樹脂塗床)	現況のまま 一部 モルタルこて押え新設	現況のまま 一部新設 ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 EP-G塗装 (GB-S t=12.5下地)	現況のまま 一部新設 ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (GB-S t=12.5下地) EP-G塗装	図示範囲: 既存撤去(木下地共)のうえケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 EP-G塗装(LGS下地) 一部新設 塩ビ回り縁新設	パン箱ケース 900×1,350×h1,340 (2箇所)、940×1,900×h1,340 (1箇所) 880×2,500×h1,340 (1箇所) 上記ケース架台 新設のうえ移設
倉庫	現況		モルタルこて押え	モルタルこて押え	モルタルこて押え	モルタルこて押え	PB t=9.0 目透し張(OPローラー)	タナ
	改修後		現況のまま(一部柱脚補修部ハツリ部分 モルタルこて押え補修)	現況のまま(一部ハツリ復旧)	現況のまま(一部ハツリ復旧)	現況のまま(一部ハツリ復旧)	既存撤去(木下地共)のうえ化粧石膏ボード張 t=9.5 (LGS下地) 塩ビ回り縁新設	現況のまま
前室	現況		モルタルこて押え	モルタルこて押え	モルタルこて磨き(VP)	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	PB t=9.0 目透し張(OPローラー)	
	改修後		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	
便所	現況		モザイクタイル貼	100角カラータイル貼り	同 左	ブラスター塗	PB t=9.0 目透し張(OPローラー)	
	改修後		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	
浴室	現況		100角モザイクタイル貼	100角カラータイル貼	同 左	同 左	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	浴槽
	改修後		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま
脱衣室	現況		アビトンフローリング t=15.0 張	ラワン H=50 (OSCL)	プリント合板張 t=4.0	同 左	PB t=9.0 目透し張(OPローラー)	
	改修後		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	
廊下	現況		モルタルこて押え	モルタルこて押え	プリント合板張 t=4.0	同 左	PB t=9.0 底目地(OPローラー塗装)	
	改修後		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	
休憩室	現況		タタミ敷き	タタミ寄せ	セーイ壁塗	同 左	スギ徑ベニヤ t=3.0 底目地張	
	改修後		現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま	現況のまま(一部既存撤去のうえ化粧杉徑せつこうボード張 t=9.5 LGS下地共)	

備考	現況					設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	改修後					高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	平成27年7月				
					高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	株式会社 MYM設計	事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号		宮地 弥亀	図面番号 A-01	

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長



付近見取図



施工条件
 工事車両出入口①からは児童出入口を兼ねるため、8:00から8:30は車両の出入りを行わないほか、安全に留意し工事を行うこと。また、昇降所まで幅員1.8m程度の安全通路を確保し、仮囲いにて区画すること。現場着手は令和6年2月28日以降とする。
 屋内運動場1階ピロティを工事車両駐車場として利用できる（6台程度）

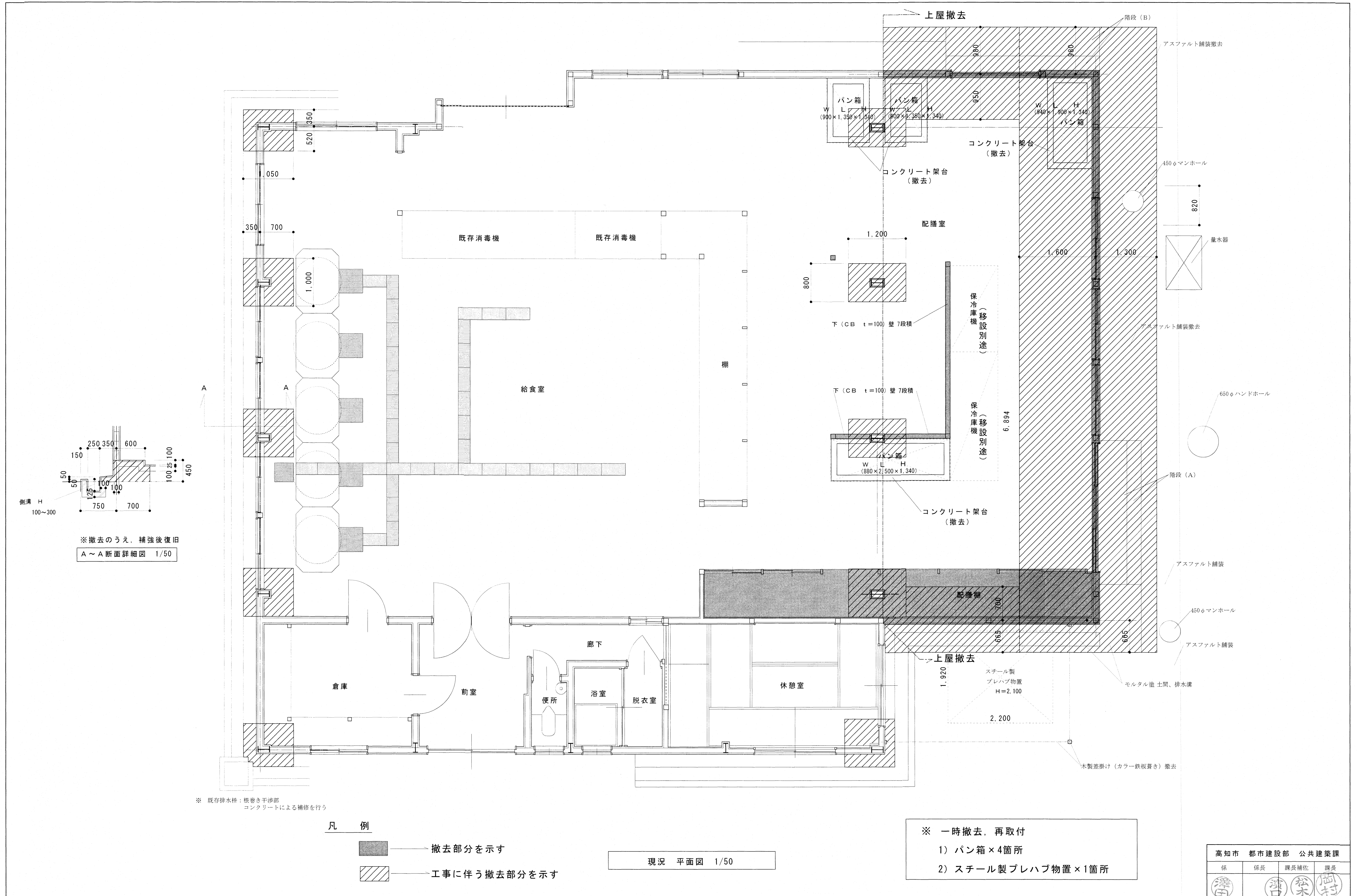
	①中舎	②北舎	③南舎	④調理場	⑤ホール室	⑥児童クラブ	⑦屋外便所	⑧屋内運動場及びプール
構造	RC	RC	RC	S	CB	W	CB	RC一部S
建築面積	1163.47	1451.66	680.91	228.83	7.42	111.37	5.28	1564.75
延べ面積	2769.25	2663.79	1778.98	228.83	7.42	108.48	5.28	2826.62
1階	1045.19	1286.36	654.93	228.83	7.42	108.48	5.28	1316.53
2階	993.83	1377.43	582.33	-	-	-	-	1299.97
3階	730.23	-	541.72	-	-	-	-	210.12
最高高さ	12.38	8.42	11.82	5.70	3.75	5.98	2.90	19.85

	⑨児童クラブ	⑩倉庫	⑪倉庫	⑫倉庫	⑬倉庫	⑭倉庫	⑮倉庫	合計
構造	S	S	CB	S	S	S	S	
建築面積	129.55	7.13	38.63	6.02	10.92	8.70	4.23	5418.87
延べ面積	213.88	7.13	38.63	6.02	10.92	8.70	4.23	10678.16
1階	121.67	7.13	38.63	6.02	10.92	8.70	4.23	4850.32
2階	92.21	-	-	-	-	-	-	4345.77
3階	-	-	-	-	-	-	-	1482.07
最高高さ	6.72	2.05	3.11	2.15	2.55	2.20	2.20	

配置図兼仮設計画図



高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	鴨田小学校給食調理場耐震補強工事				係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	付近見取図・配置図兼仮設計画図	縮尺	1 / 500	作図	年	月	日	A-02






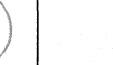
※撤去のうえ、補強後復旧
A～A断面詳細図 1/50

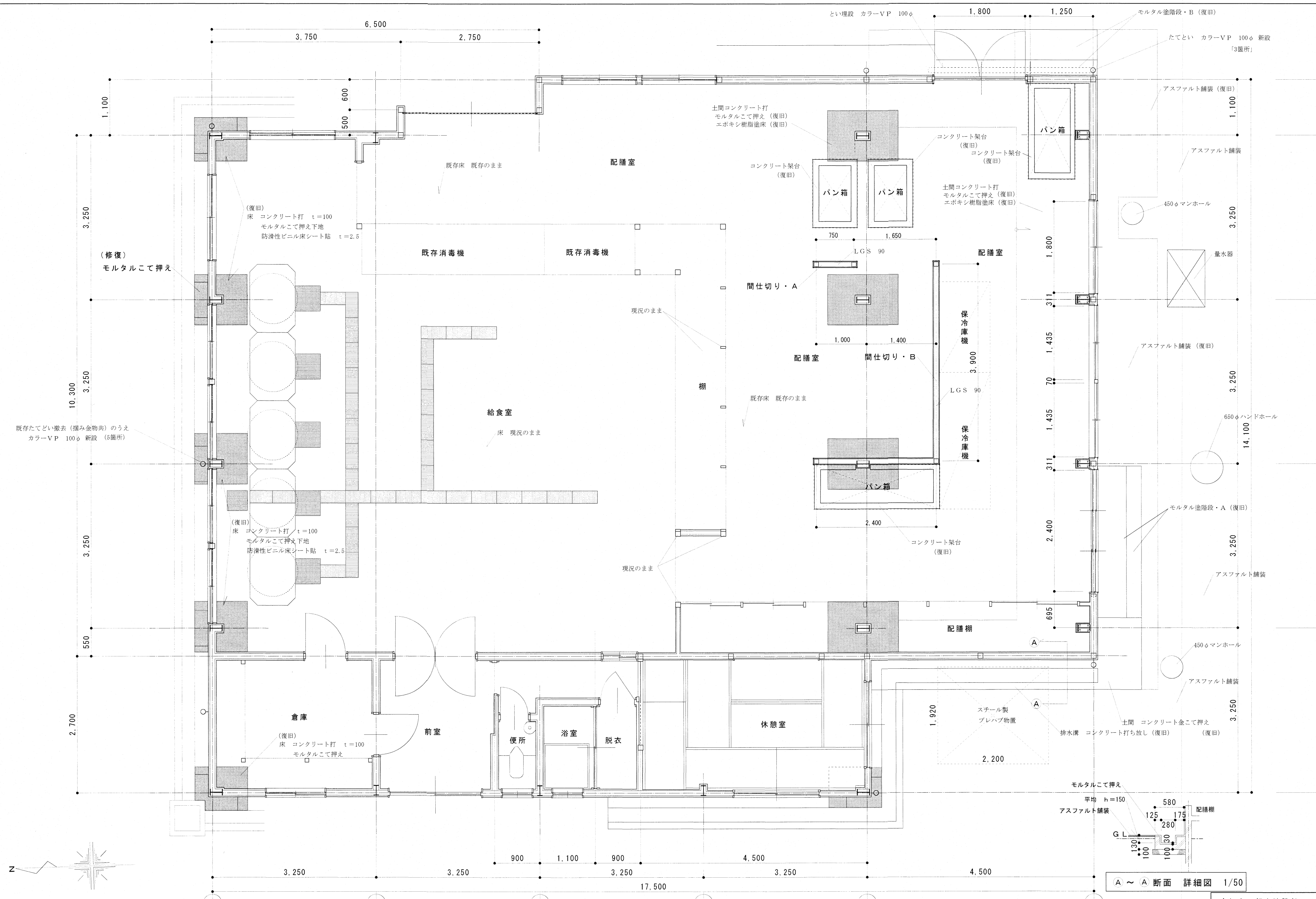
※ 既存排水槽：根巻き干渉部
コンクリートによる補修を行う

凡 例
 → 撤去部分を示す
 → 工事に伴う撤去部分を示す

現況 平面図 1/50

※ 一時撤去、再取付
 1) パン箱×4箇所
 2) スチール製プレハブ物置×1箇所

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
			



A ~ A 断面 詳細図 1/50

改修 平面 詳細図 1/50

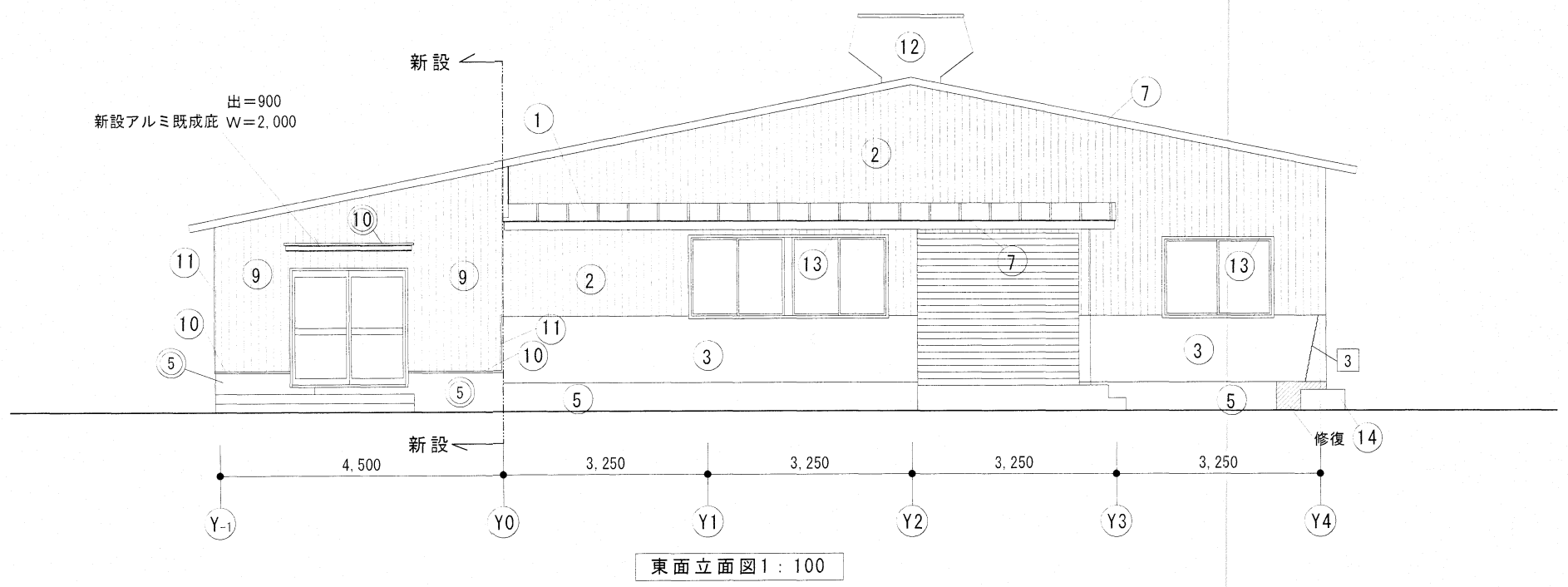
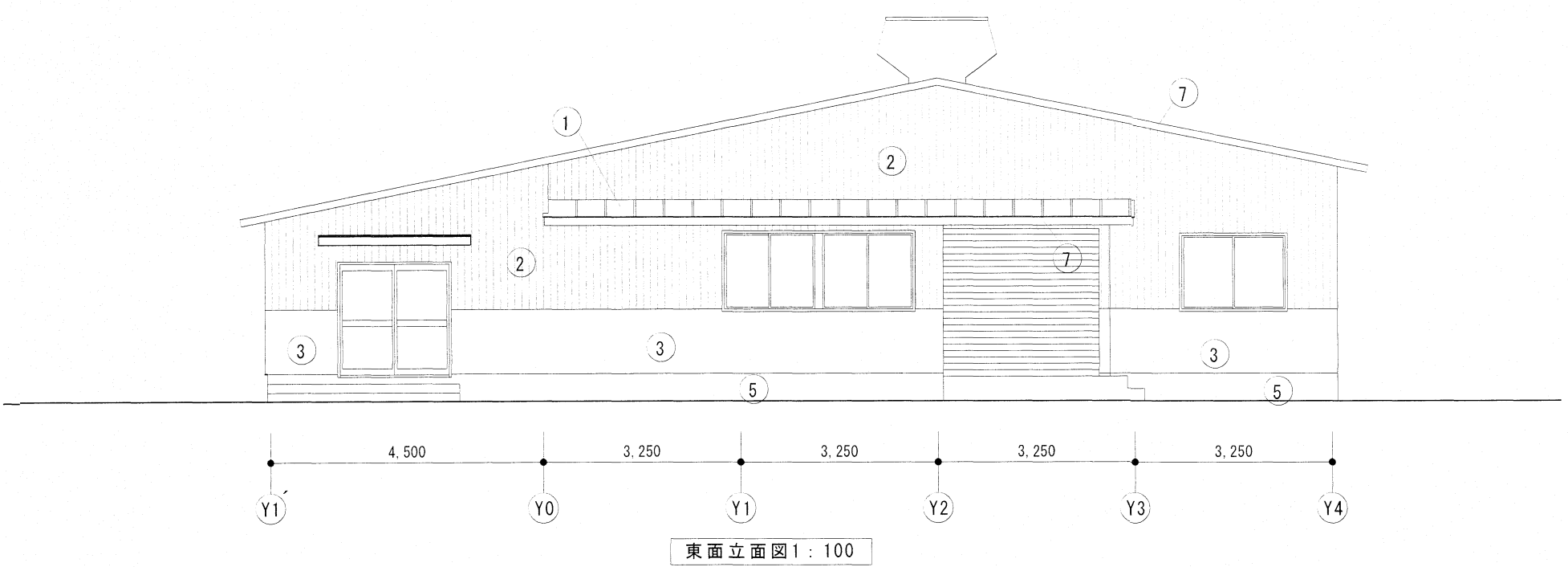
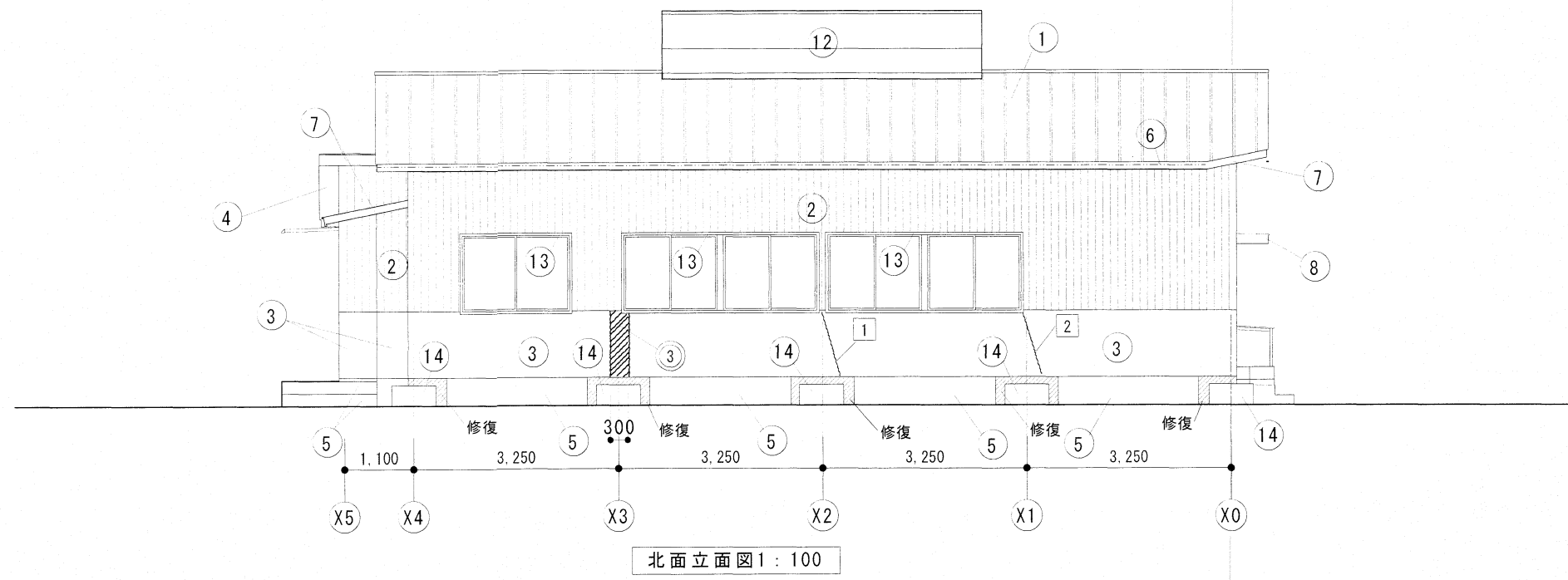
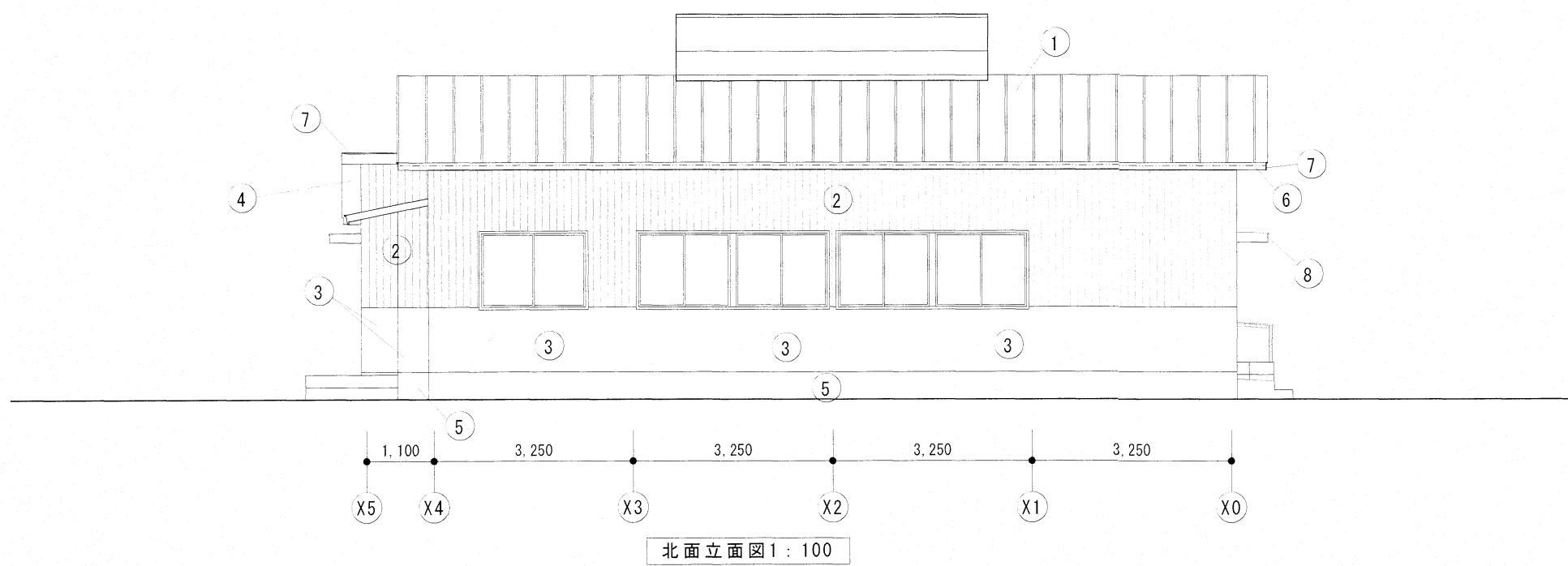
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
(印)	(印)	(印)	(印)

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	改修 平面図	縮尺	1/50	平成27年7月			
		株式会社 M Y M 設計	高知市塩田町13-14	TEL 824-6247 FAX 824-6481	事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号	富地 弥亀	図面番号 A-04

外部仕上表 ※ 印は現況を示す

1	現況	長尺カラー鉄板瓦葺き $t=0.4$
	改修後	既存屋根の上に ガルバリウムカラー鋼板(カバー工法) $t=0.5$ 折板葺き 山高66 (アスファルトルーフィング 940下地) 一部改築部分 ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.5$ 折板葺き 山高66程度 (アスファルトルーフィング 940、木毛セメント板 $t=20.0$ 下地 ベア裏貼共)
2	現況	長尺カラー鉄板張 $t=0.35$ (PB $t=12.0$ 下地)
	改修後	現況のまま 一部改築部分 ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.4$ 張 (F型 GB-S12.5+透湿防水シート下地)
3	現況	CB $t=100$ 下地 モルタル刷毛引き エマルリシン吹付 (和室・倉庫はラス下地)
	改修後	現況のまま (3) は浮割れのため既存モルタル撤去のうえモルタルこて押え
4	現況	ケイ酸カルシウム板 $t=6.0$ 目透し張 (VP)
	改修後	図示範囲: 既存撤去 (木下地共) のうえ ケイ酸カルシウム板 $t=6.0$ 目透し張 (LGS下地) EP-G塗装
5	現況	モルタル刷毛引き
	改修後	現況のまま (但し 一部柱脚補強による 撤去、修復) (5) は新設、コンクリート打放し仕上げ
6	現況	軒とい (亜鉛鉄板 $t=0.4$ 100φ)
	改修後	既存軒とい撤去 (受け金物共) のうえ カラー塩ビ軒とい 角前高 150 新設

7	現況	鼻隠し 25×170 (OP)
	改修後	既存鼻隠し撤去のうえ 桧25×170下地 ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.4$ 加工 新設 (一部改築部分 新設)
8	現況	庇 屋根 (カラー鉄板 $t=0.4$ 平葺き) ・庇 鼻隠し (25×135 OSL塗)
	改修後	現況のまま
9	現況	建物取り壊し
	改修後	ガルバリウムカラー鋼板張 $t=0.4$ (GB-S $t=12.5$ 下、透湿防水シート下地) 新設
10	現況	建物取り壊し
	改修後	水切り ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.4$ 系幅180 新設 (10) は系幅230
11	現況	建物取り壊し
	改修後	タテ水切り ガルバリウムカラー鋼板 $t=0.4$ 系幅180 新設
12	現況	カラー鉄板張
	改修後	既存下地調整のうえ DP塗装
13	現況	額縁OP塗装
	改修後	現況のまま
14	新設	モルタルこて押え



現況

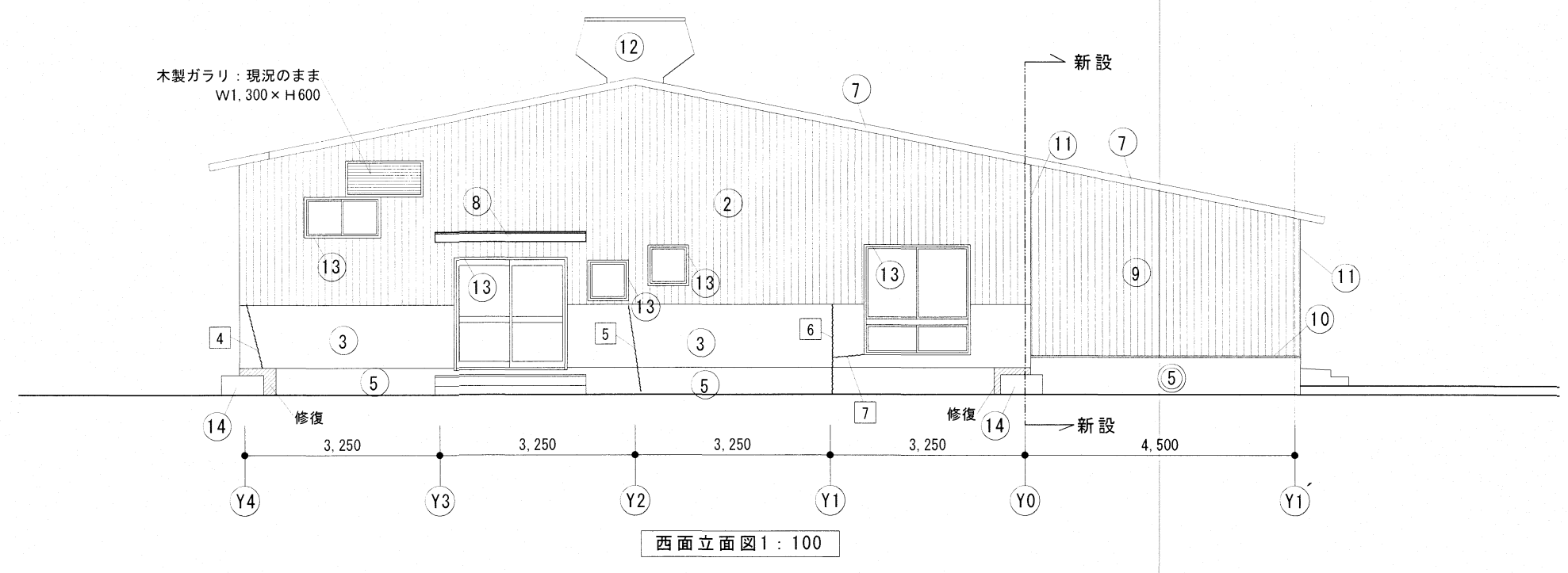
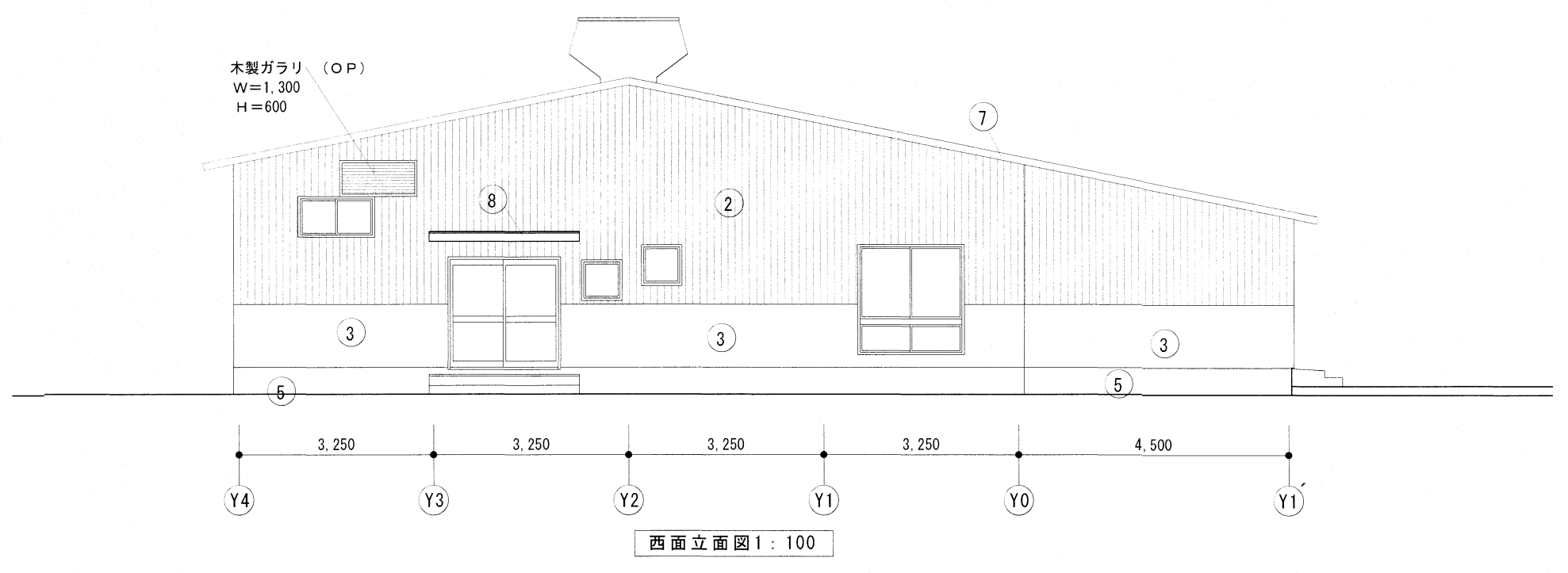
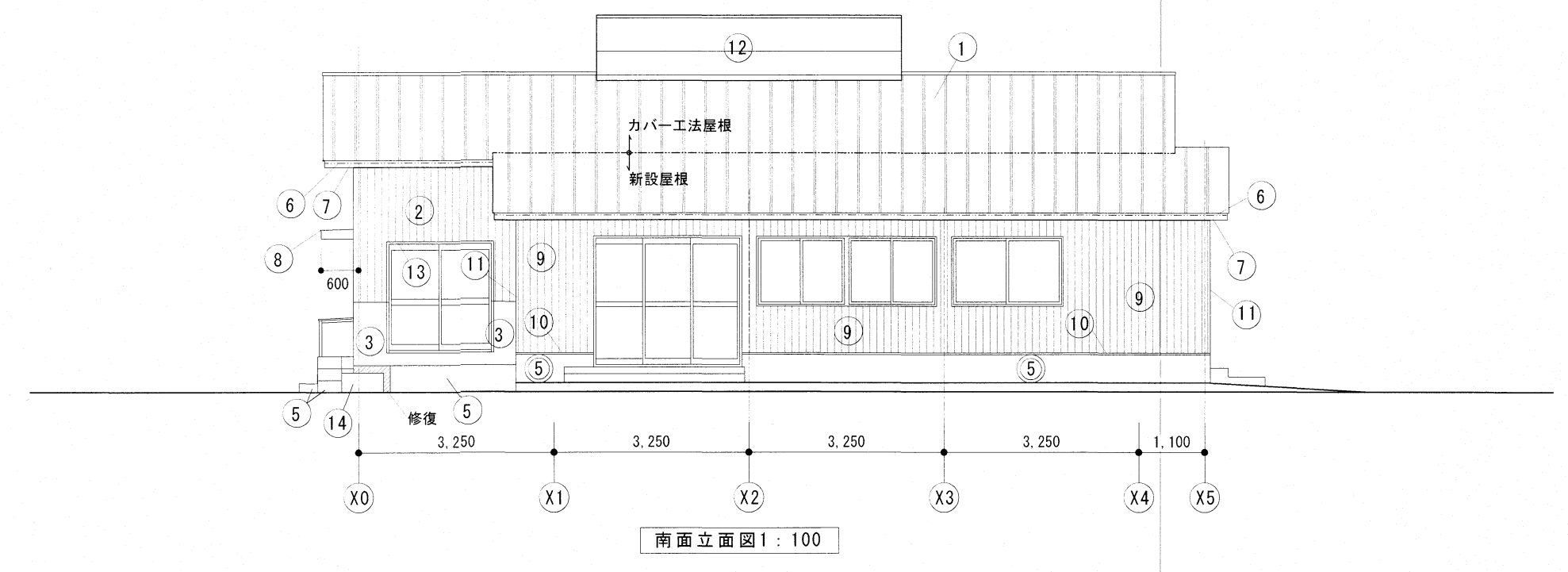
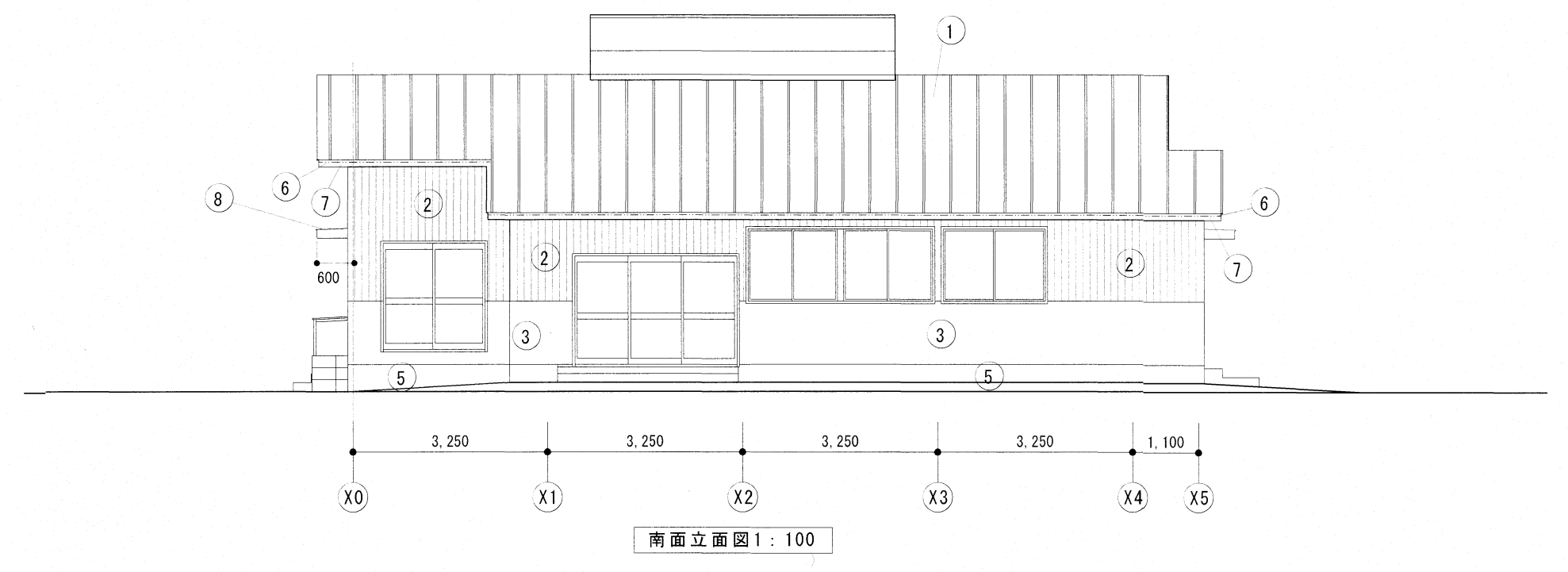
改修後

高知市 都市建設部 公共建築課			
係長	課長補佐	課長	

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数	
	現況・改修後 立面図 (1)	縮尺	1/100	株式会社 MYM設計 高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	平成27年7月	事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号 富地 弥亀	図面 番号	A-05

クラック図

記号	幅 (mm)	長さ (mm)
1	1.0	1,100
2	1.0	1,100
3	1.0	1,200
4	1.5	1,100
5	1.0	1,500
6	1.0	1,500
7	0.5	500
長さ 計		8,000

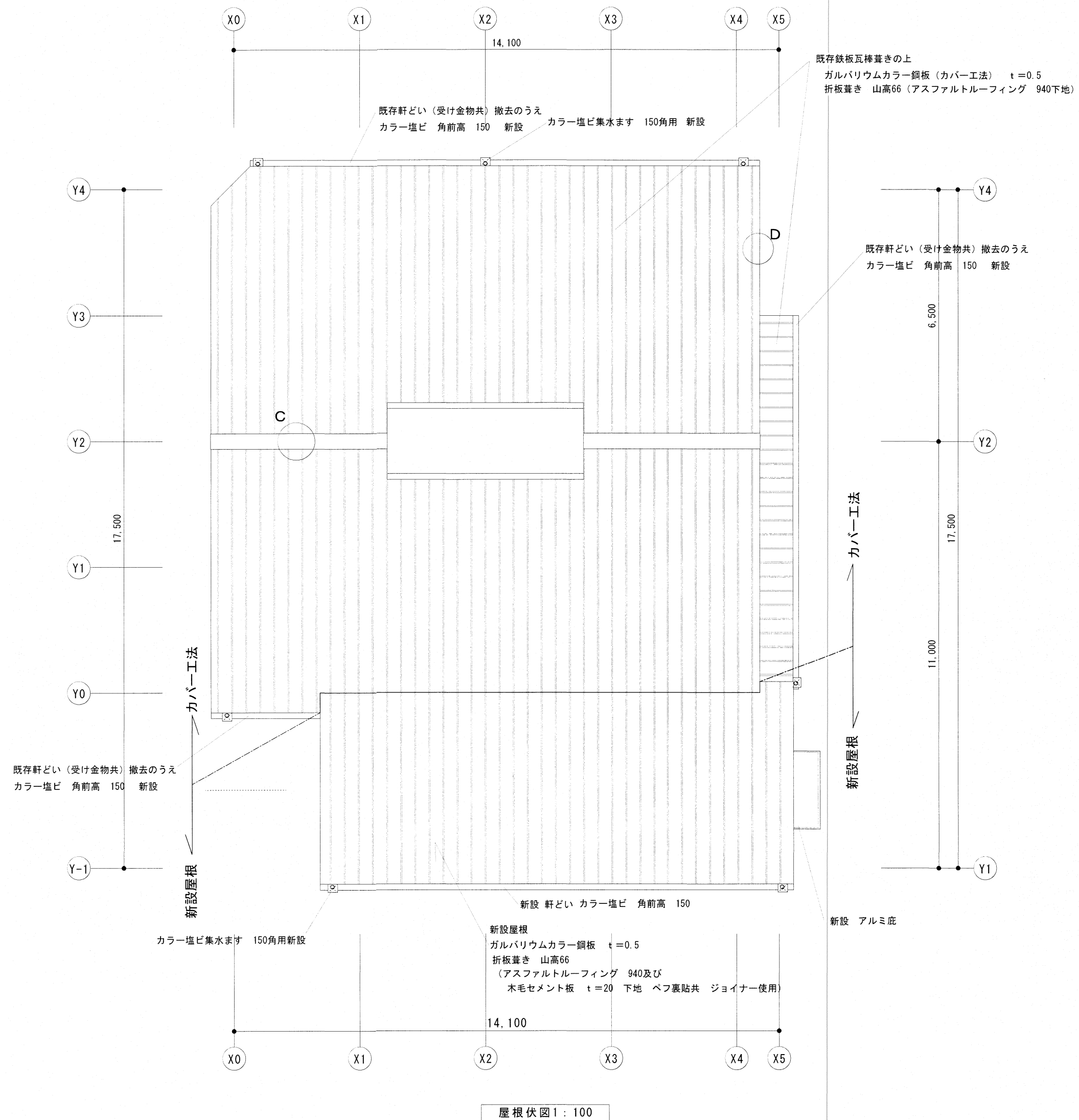
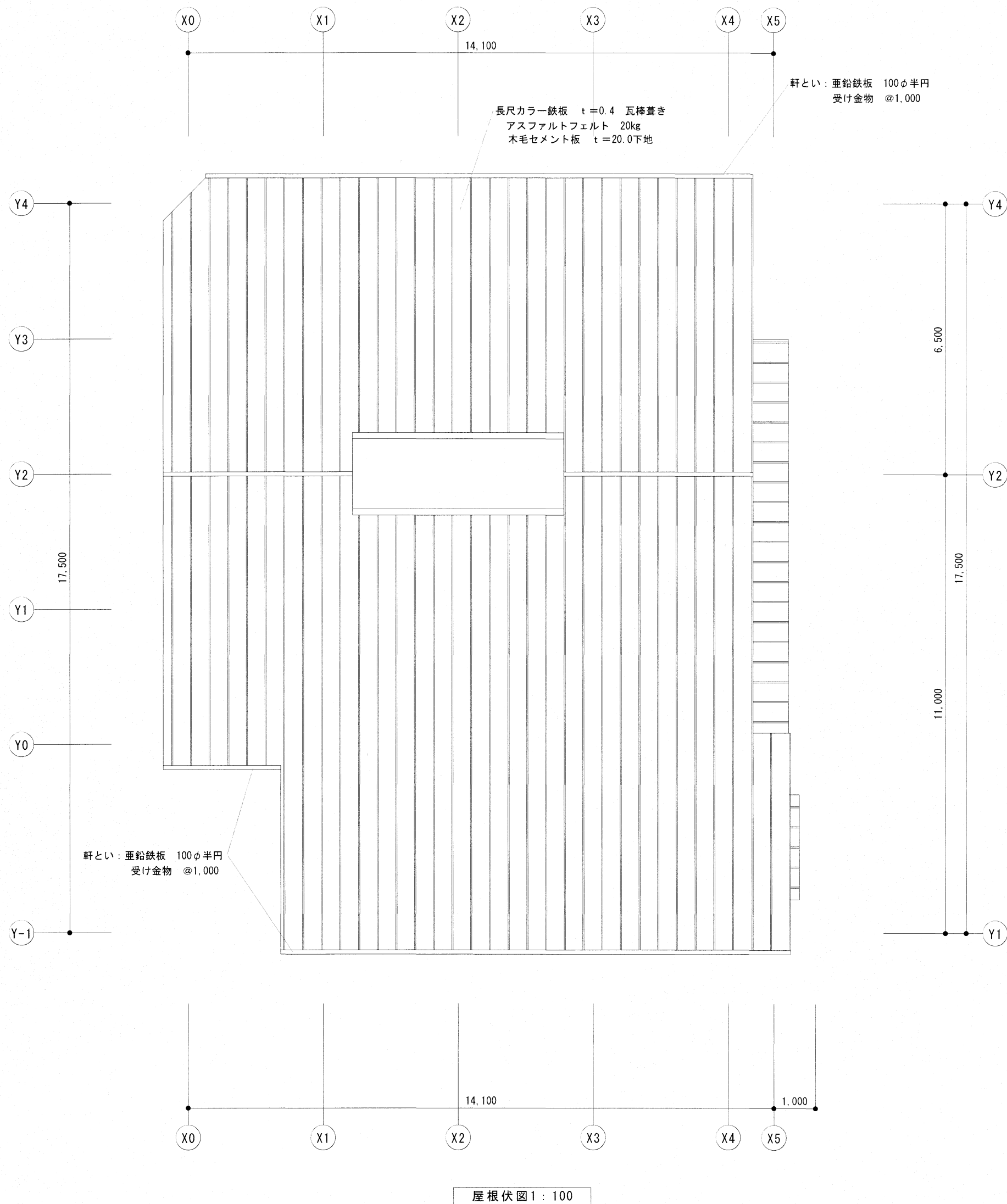


現 況

改 修 後

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	現況・改修後 立面図 (2)	株式会社 M Y M 設計	平成 27 年 7 月				
	縮尺 1/100	高知市塩田町13-14 TEL. 824-6247 FAX 824-6481			事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号	富地 弥亀	図面番号 A-06



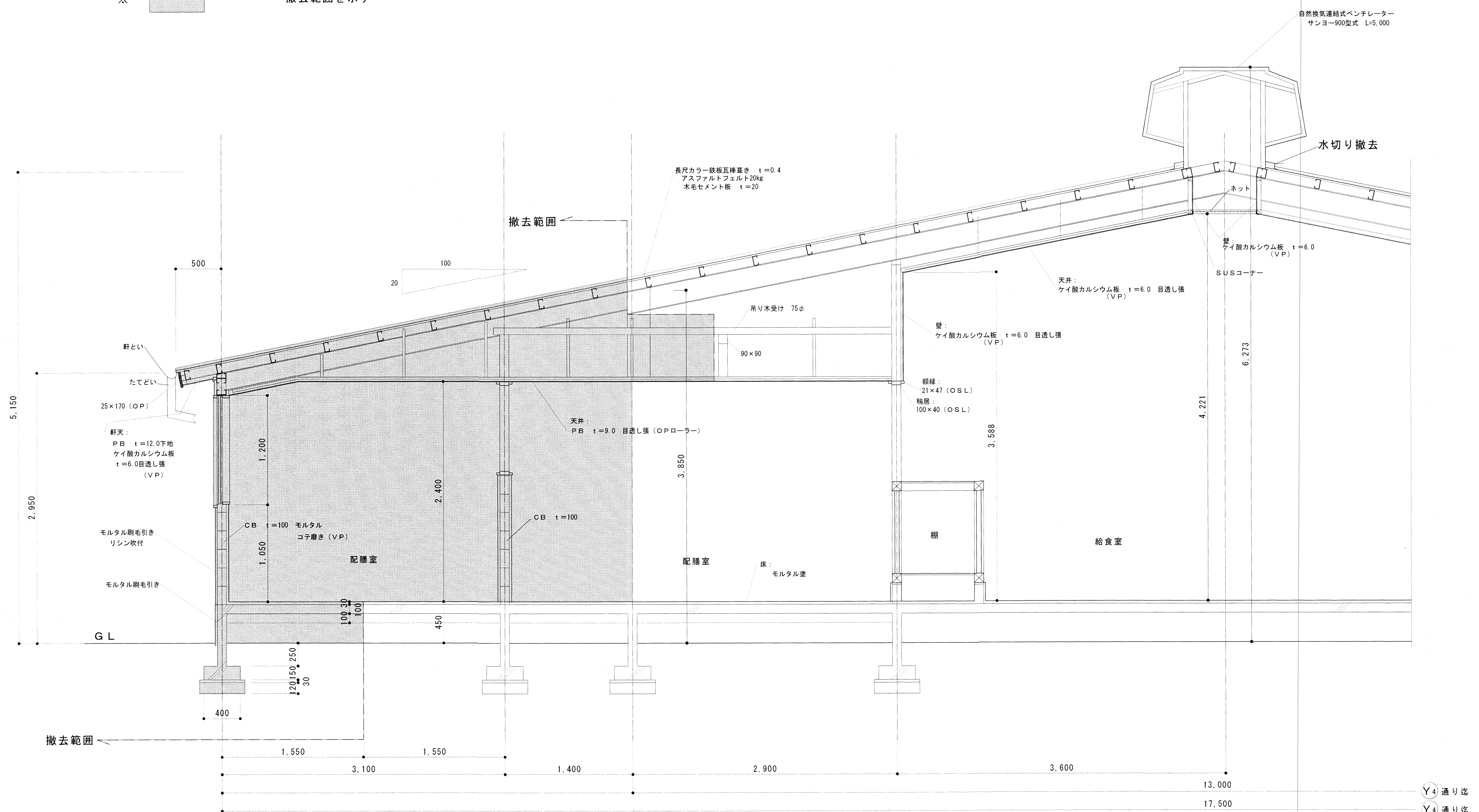
現 況



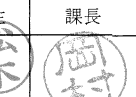
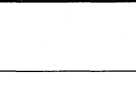
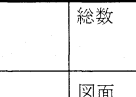
改 修 後

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
澤田	澤田	松本	岡村

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	現況・改修後 屋根伏図	縮尺	1/100	平成27年7月			
	株式会社 M Y M 設計 高知市進田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号	製図	宮地 弥亀	図面 番号	A-07	

※  撤去範囲を示す

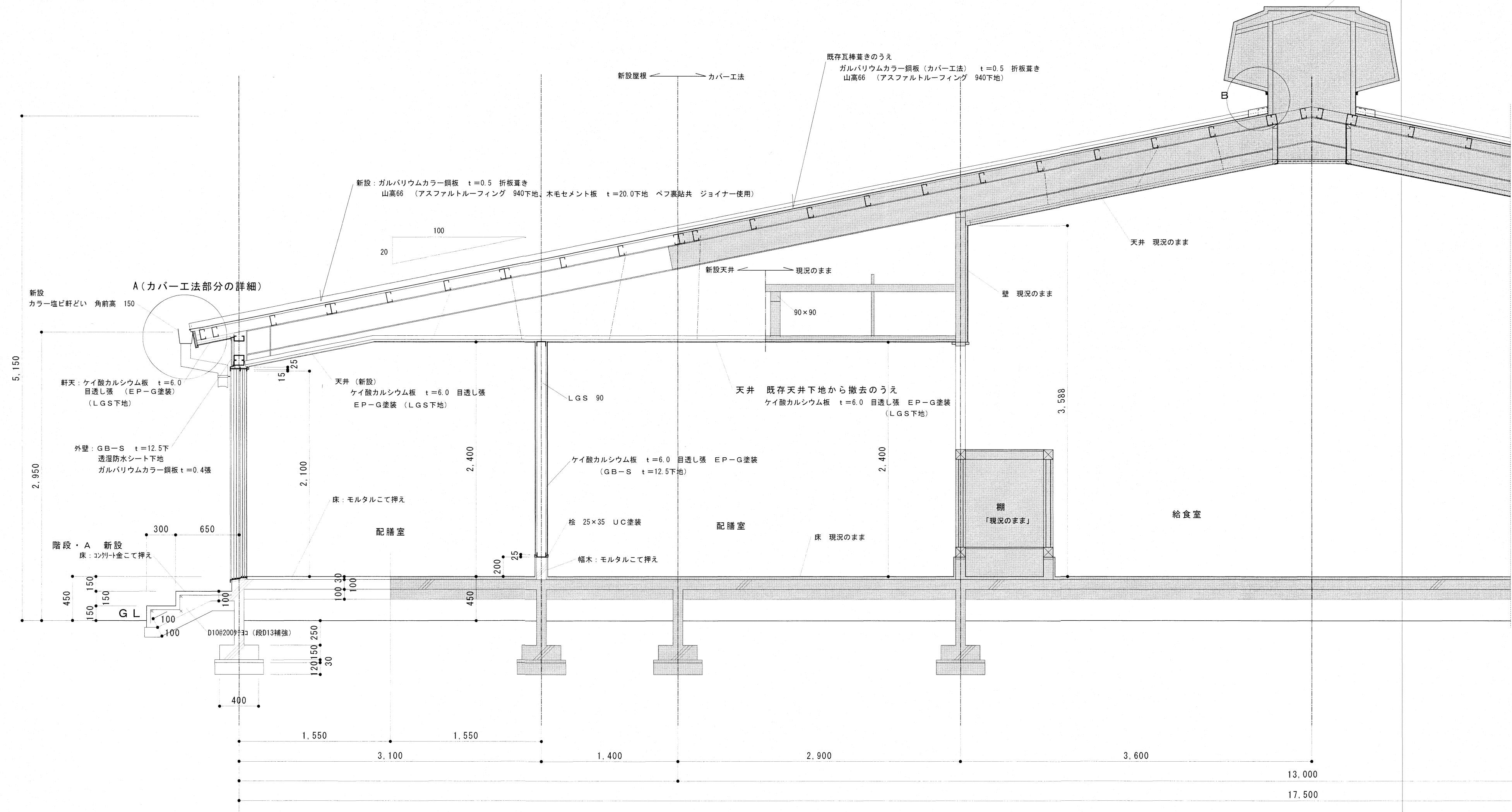


高知市 都市建設部 公共建築課				
係長	係長	課長補佐	課長	課長
				

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	現況 矩計図	縮尺 1/30	株式会社 MYM設計 高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	平成27年7月		事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号	富地 弥亀

既存部分を示す

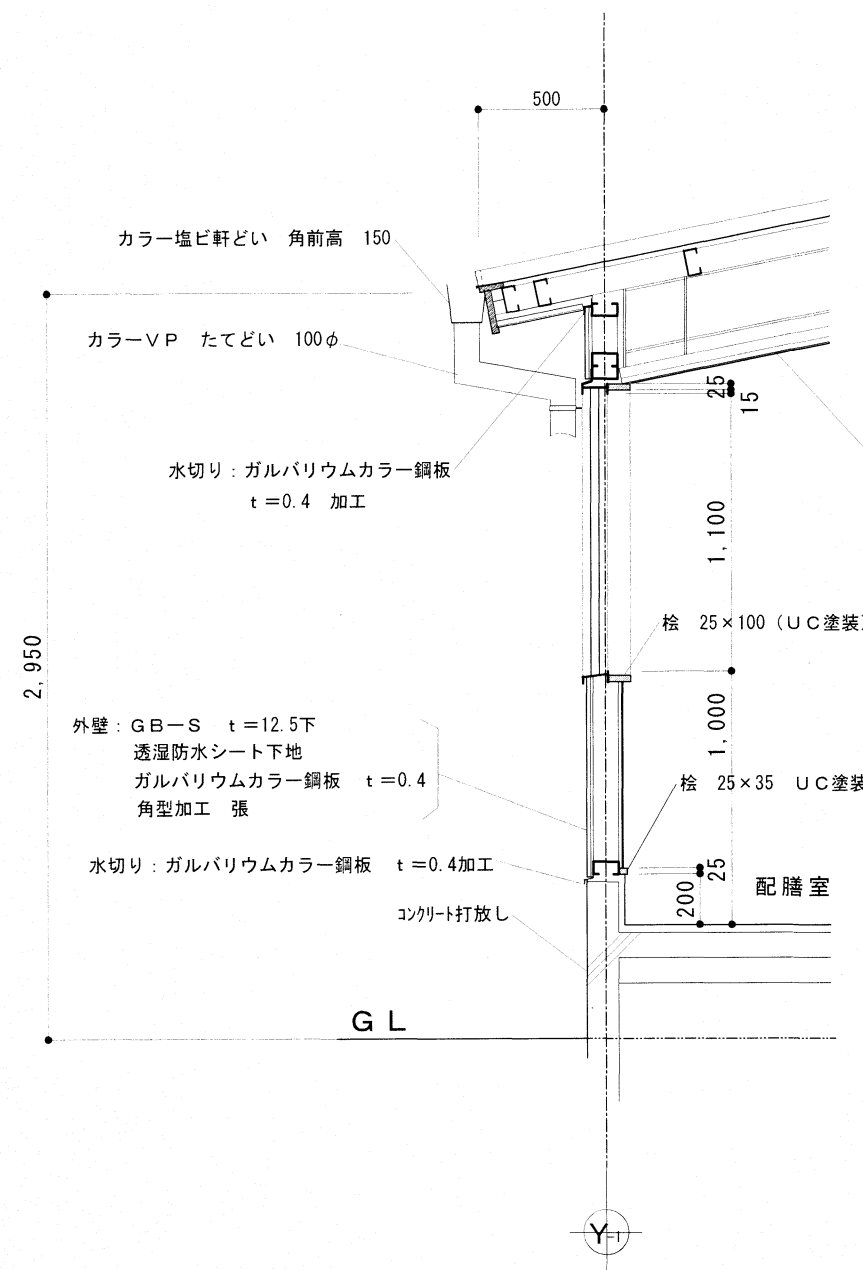
自然換気連結式ベンチレーター
サンヨー900型式 L=5,000
(外部見掛け下地調整のうえ DP塗装)



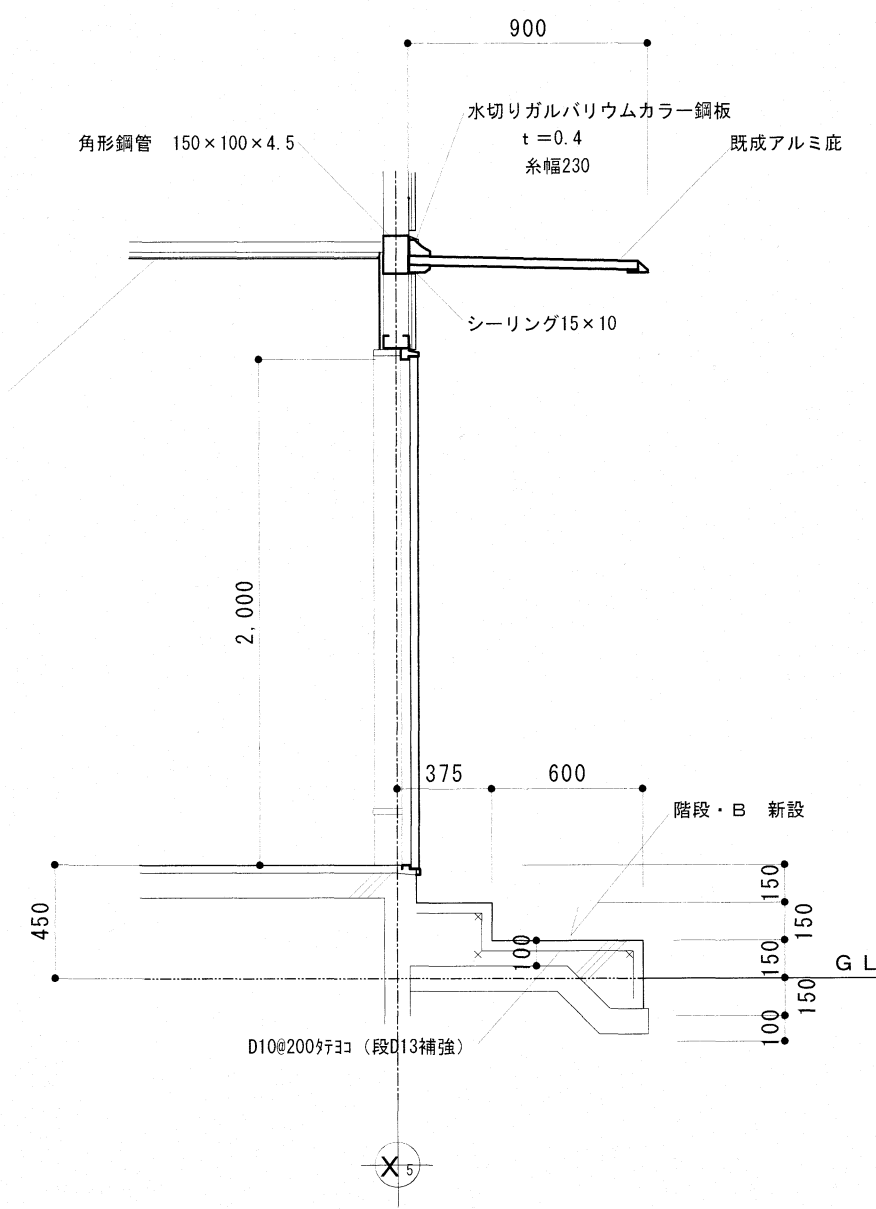
改修 矩計図 1/30

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
澤田	山口	松本	西村

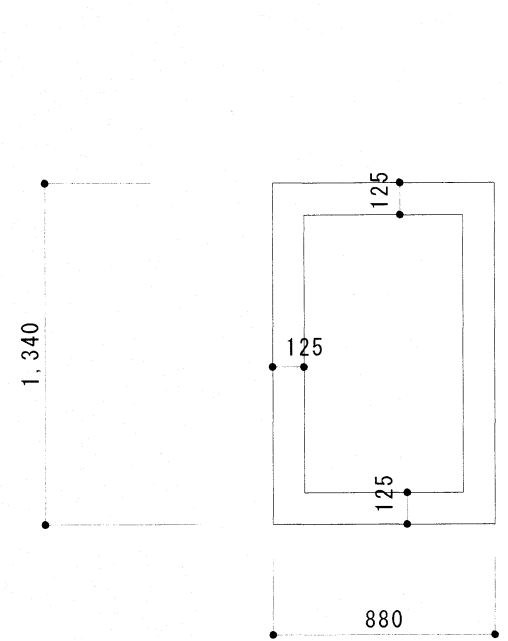
備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	改修後矩計図	縮尺	平成27年7月				
		1/30					
		株式会社 MYM設計	事務所登録 高知県第154				
		高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	一級建築士登録 第83951号				
			宮地 弥亀				
			図面				
			番号				
			A-09				



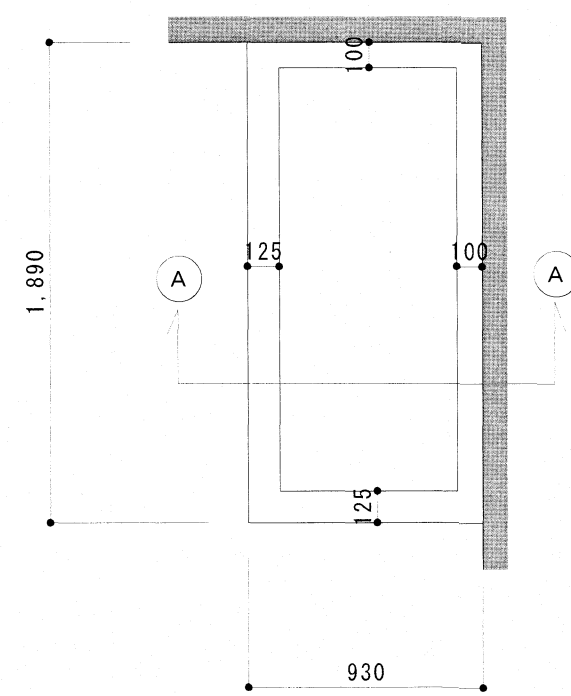
窓部分 断面詳細図 1/30



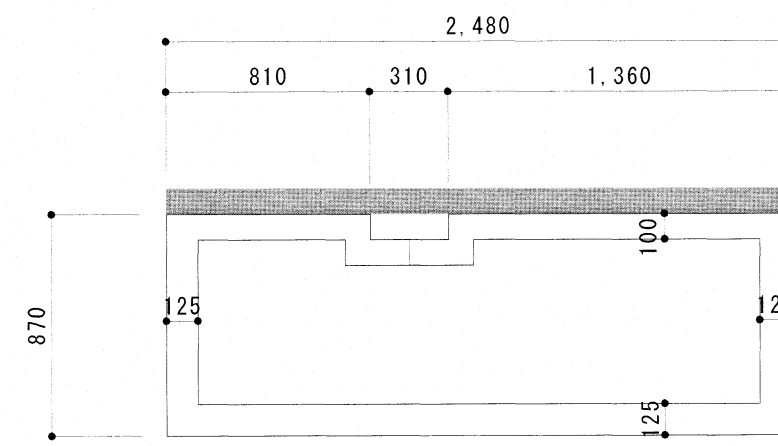
東出入口部分 断面詳細図 1/30



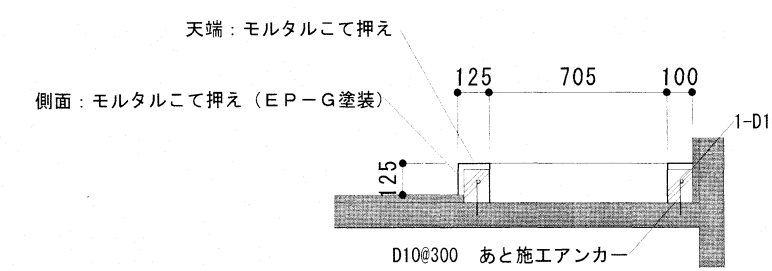
パン箱 架台・A
(2箇所)



パン箱 架台・B
(1箇所)



パン箱 架台・C
(1箇所)



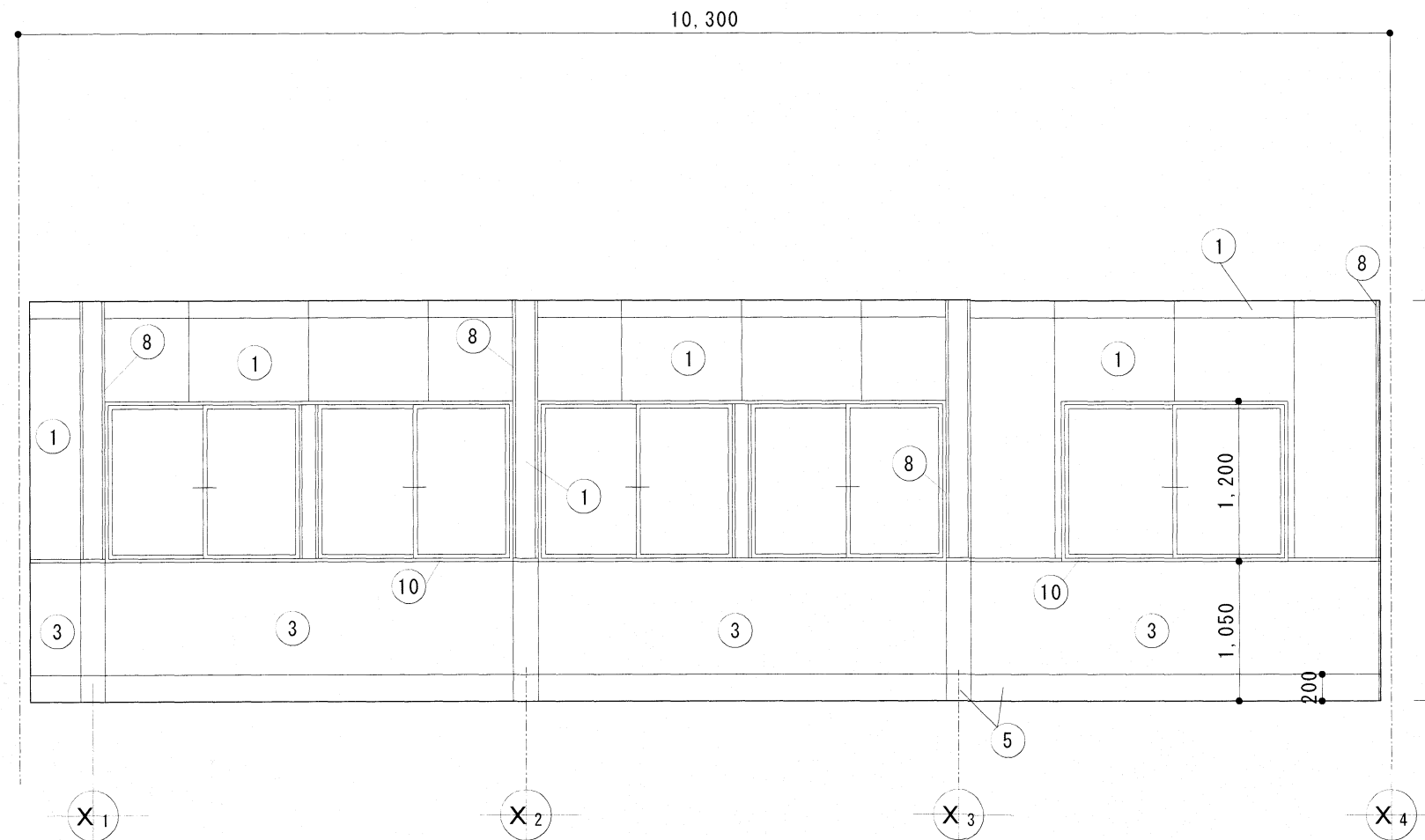
断面詳細図

配膳室 パン箱 架台 詳細図 1/30

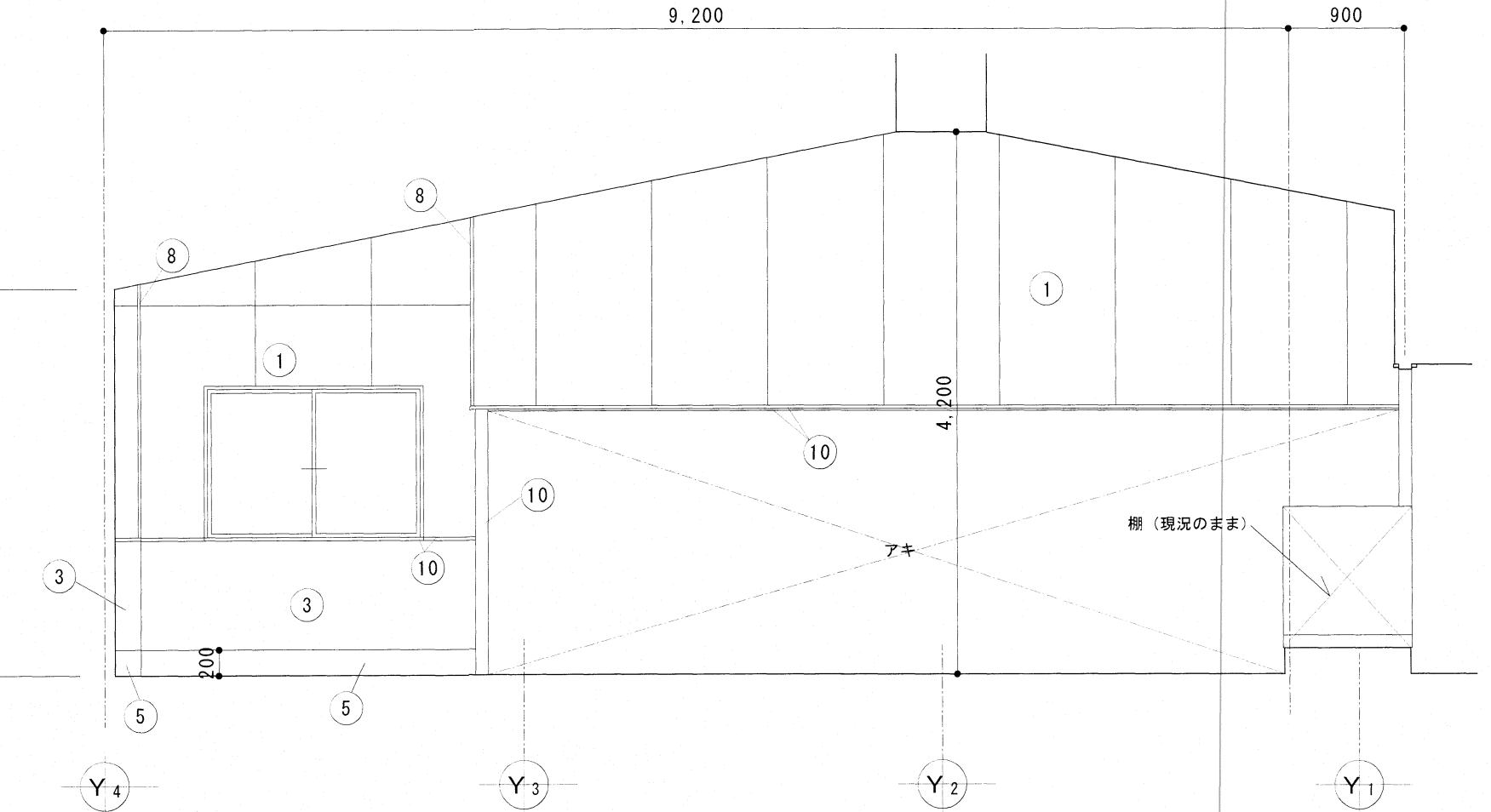
高知市 都市建設部 公共建築課

係	係長	課長補佐	課長

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	窓・出入口・パン架台 詳細図 縮尺 1/30	株式会社 M Y M 設計 高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	平成27年7月				
		事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号				富地 弥亀	図面 番号 A-10

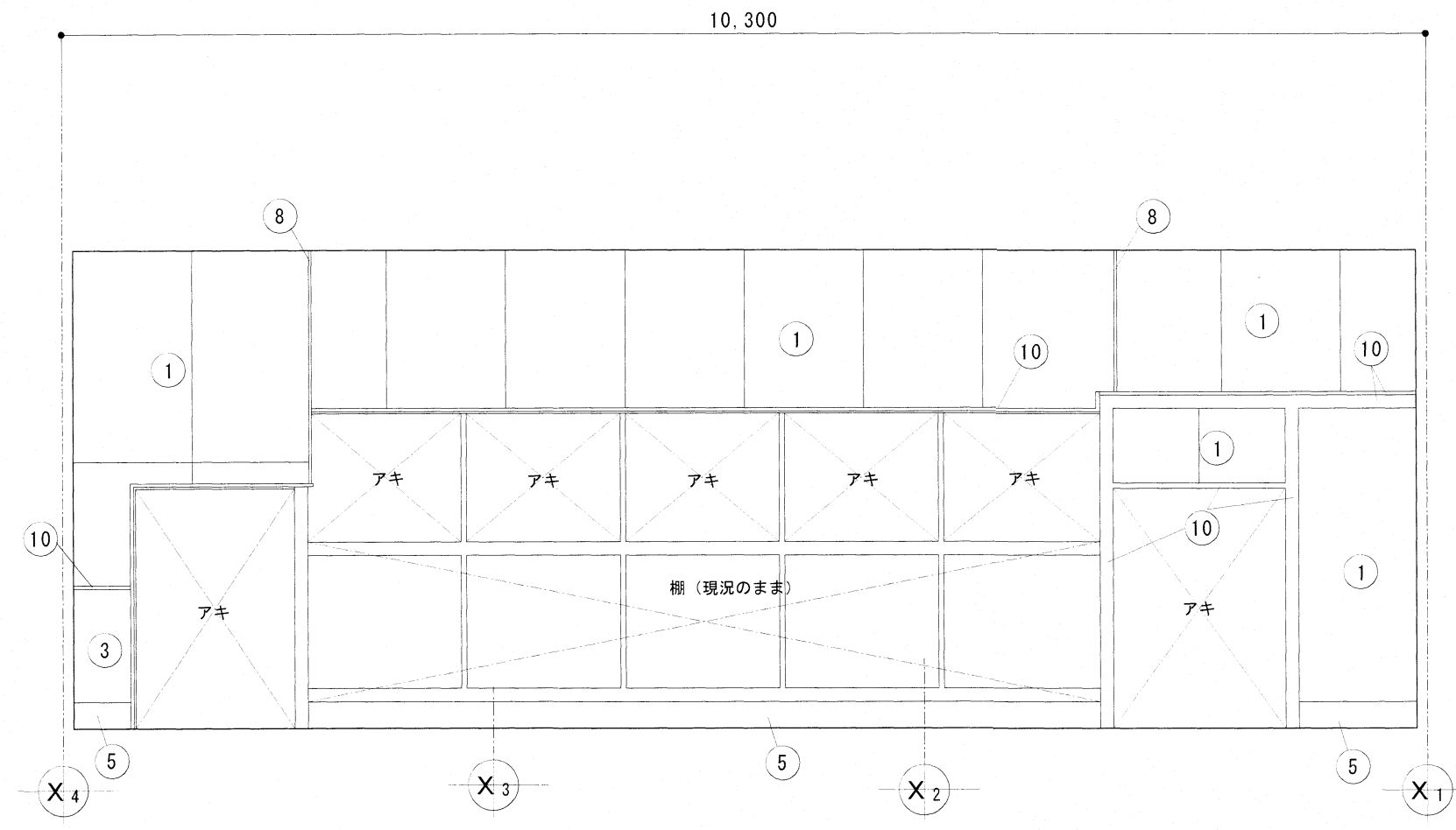


給食室 北面 展開図 1/50

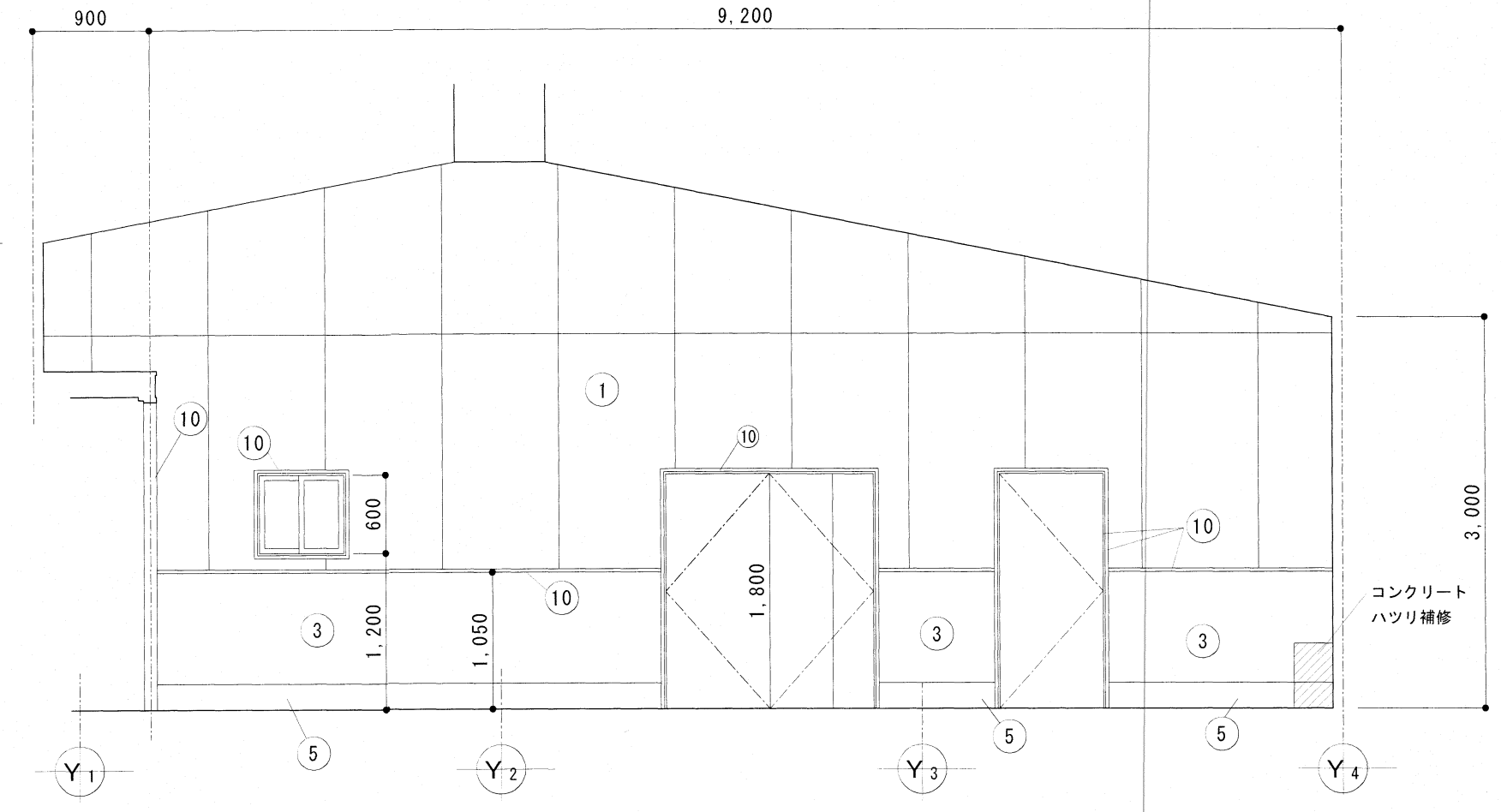


給食室 東面 展開図 1/50

※
給食室壁でケイ酸カルシウム板撤去部分は
胴縁45×21補修とする



給食室 南面 展開図 1/50

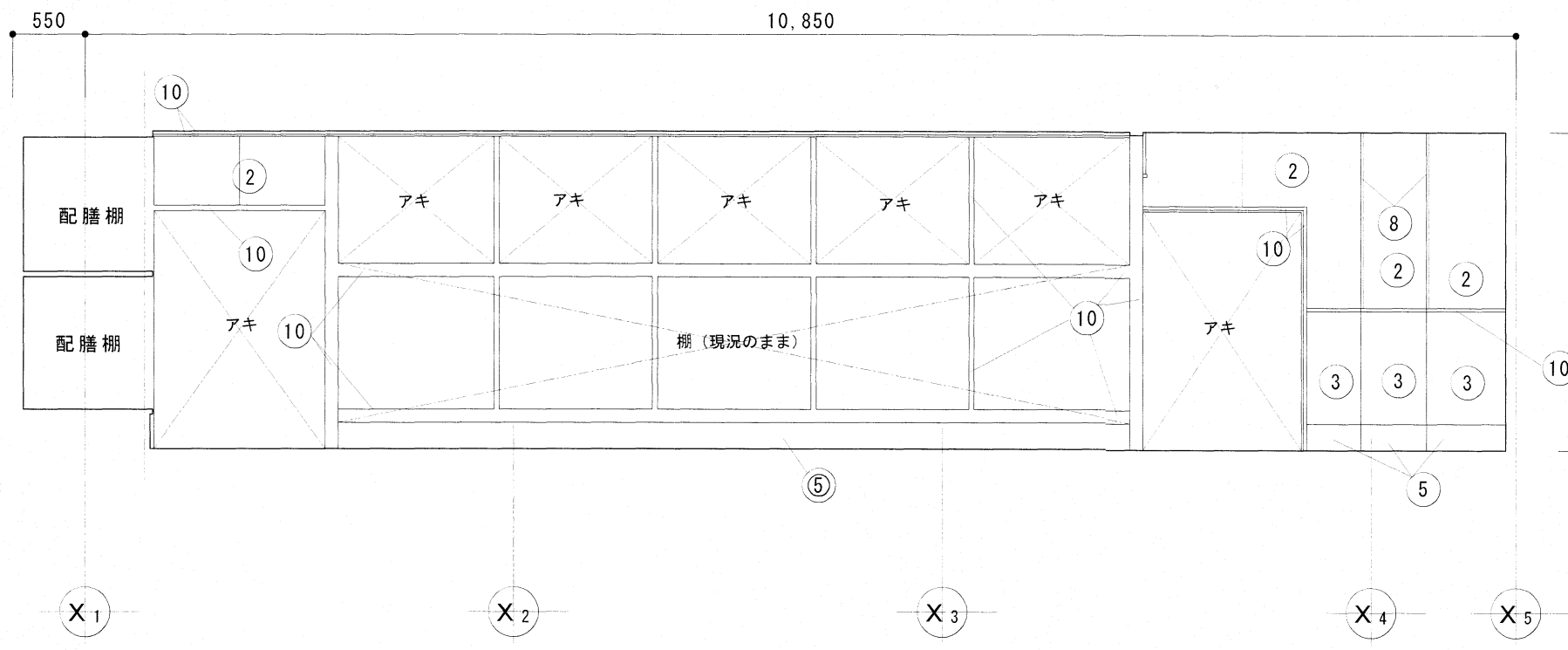


給食室 西面 展開図 1/50

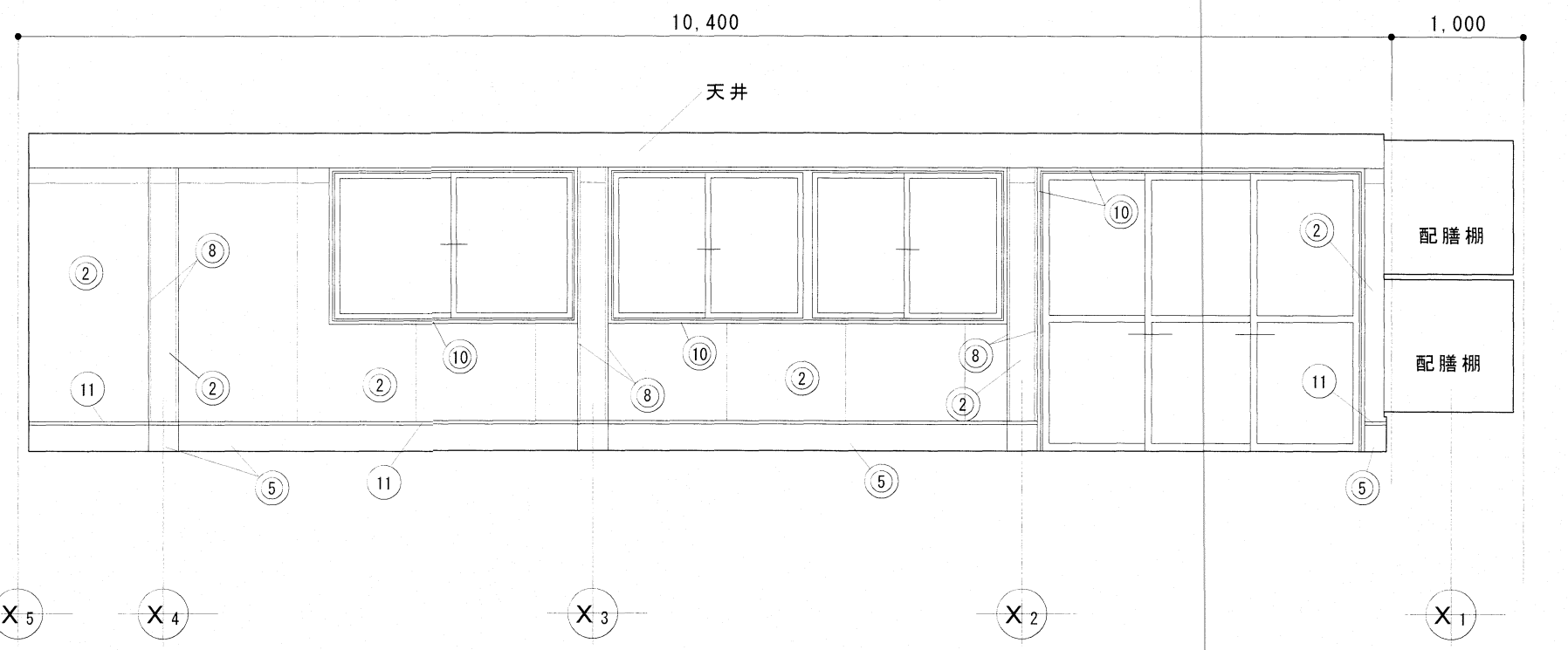
凡 例 (※ 新設の外壁周りはガラスウール 24K t=50張とする)

1	現 況	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) (亜鉛鉄板 t=0.3 張下地)	6	現 況	ラス下地モルタルこて押え	11	新 設	見切り縁 桧25×35 UC塗装
	改 修 後	現況のまま		改 修 後	現況のまま		改 修 後	現況のまま
2	現 況	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	7	現 況	ラスボード t=7.0下地 プラスター塗	12	現 況	縦壁 (ラスボード下地)
	改 修 後	現況のまま (但し ② は、新設+EP-G塗装を示す)		改 修 後	現況のまま		改 修 後	現況のまま
3	現 況	モルタルこて磨き (VP)	8	現 況	ステンレスコーナーボード	13	現 況	付け鴨居 米とが40×30
	改 修 後	現況のまま		改 修 後	現況のまま (⑧ はアルミコーナー新設を示す)		改 修 後	現況のまま (⑬ は見切り縁40×30新設のうえ、UC塗装を示す)
4	現 況	ラス下地モルタルこて磨き (VP)	9	現 況	100角カラータイル貼り	14	現 況	建具枠 米とが70×40
	改 修 後	下地調整のうえ EP-G塗装		改 修 後	現況のまま		改 修 後	現況のまま
5	現 況	モルタルこて押え	10	現 況	木部 OSCL	15	現 況	モルタル塗
	改 修 後	現況のまま (但し ⑤ は、新設を示す)		改 修 後	現況のまま (⑩ は新設のうえ、UC塗装を示す)		改 修 後	既存のまま (⑮ 既存撤去 (ラス下地共) のうえ リプラス下地モルタル塗)

高知市 都市建設部 公共建築課
係 係長 課長補佐 課長
澤田 津口 松本 山本
製図 総数
図面番号 A-11

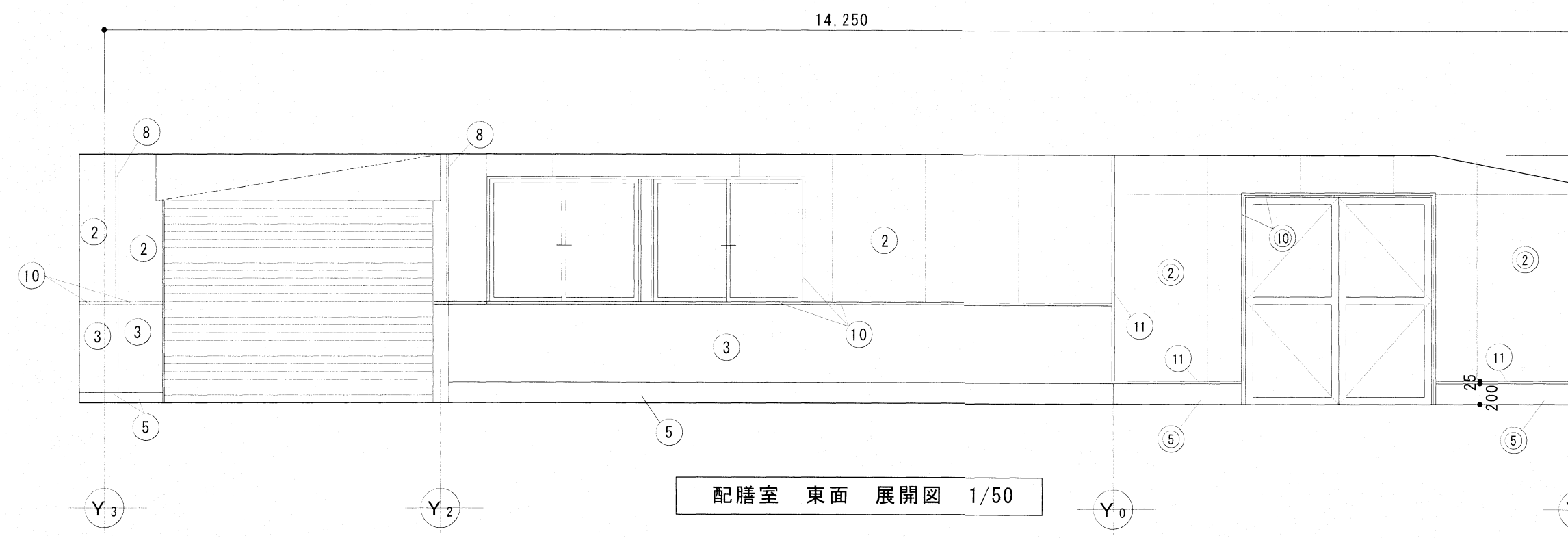


配膳室 北面 展開図 1/50

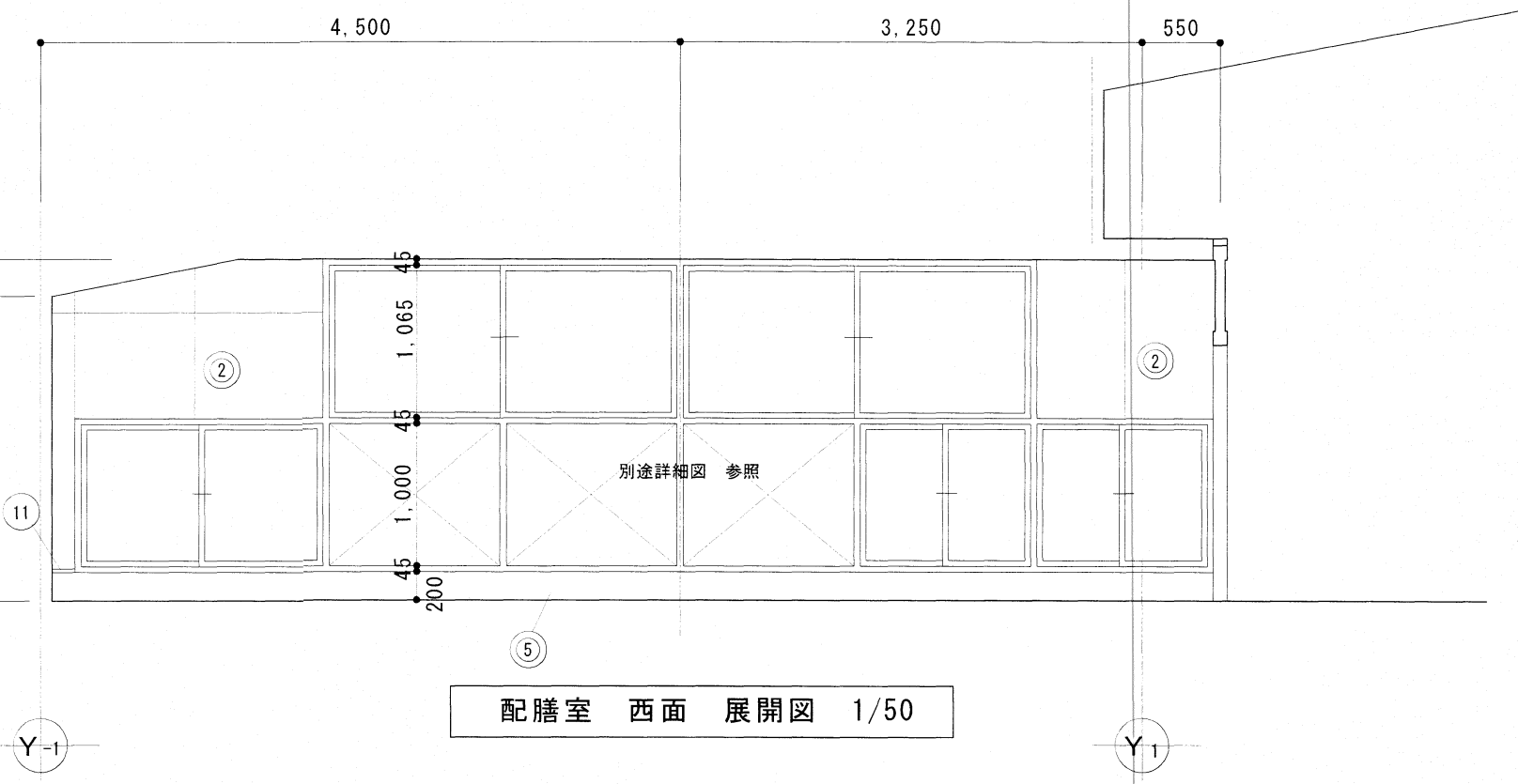


配膳室 南面 展開図 1/50

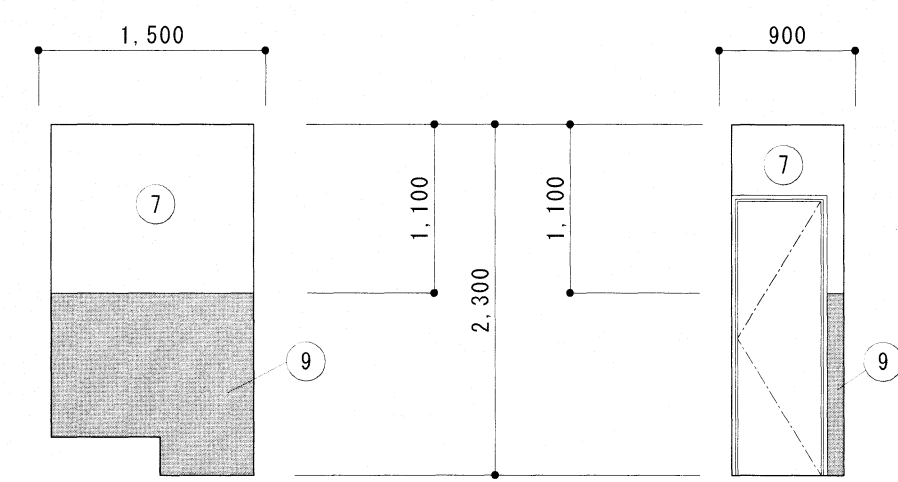
※
配膳室壁でケイ酸カルシウム板撤去部分は
網縁45×21補修とする



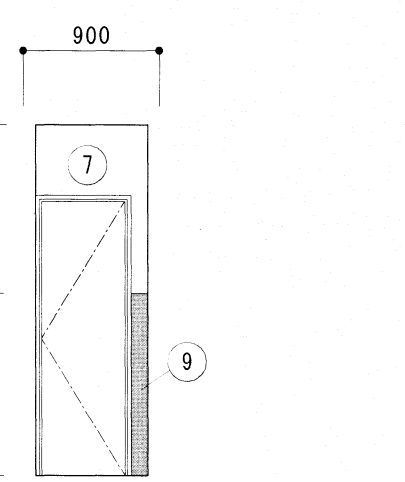
配膳室 東面 展開図 1/50



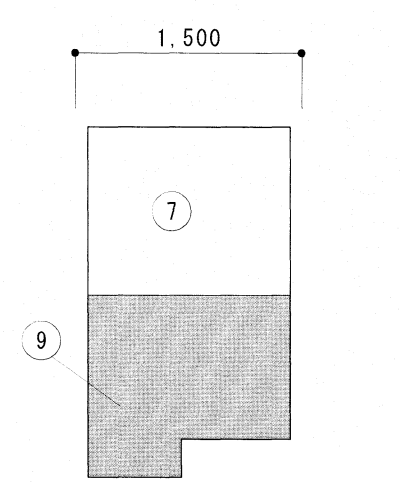
配膳室 西面 展開図 1/50



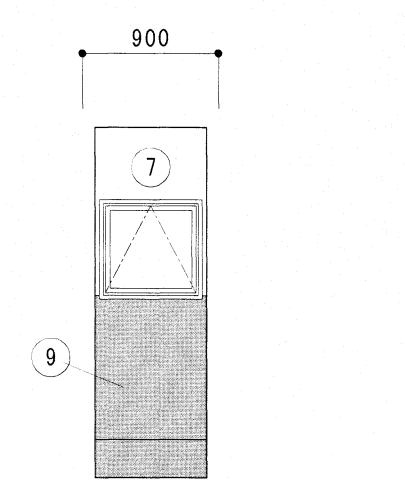
便所 北面 展開図 1/50



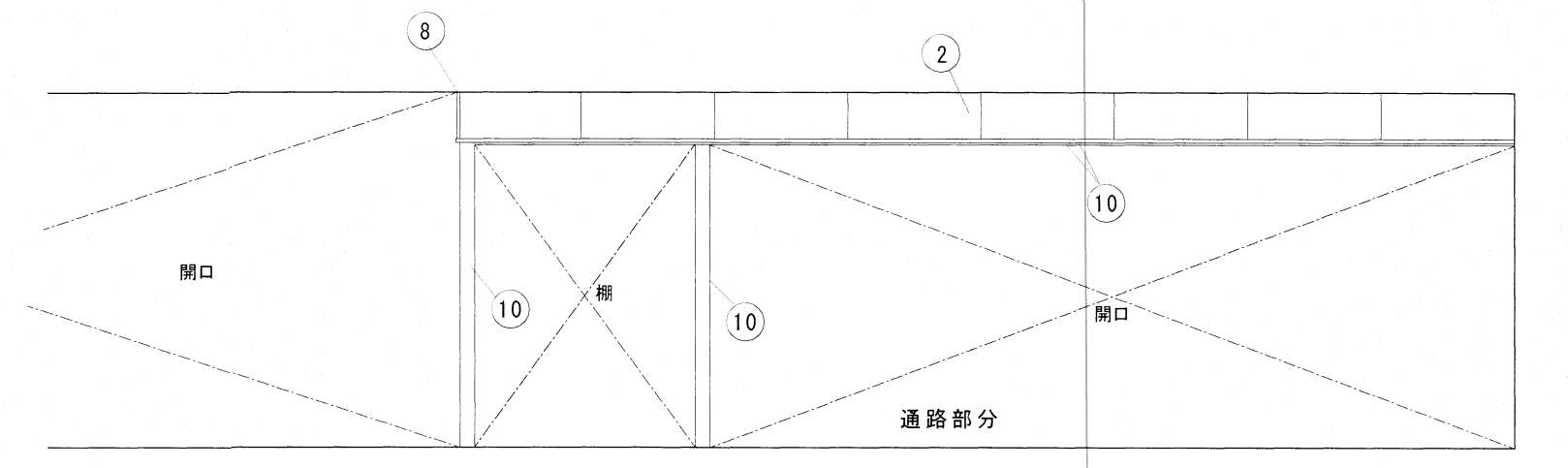
便所 東面 展開図 1/50



便所 南面 展開図 1/50

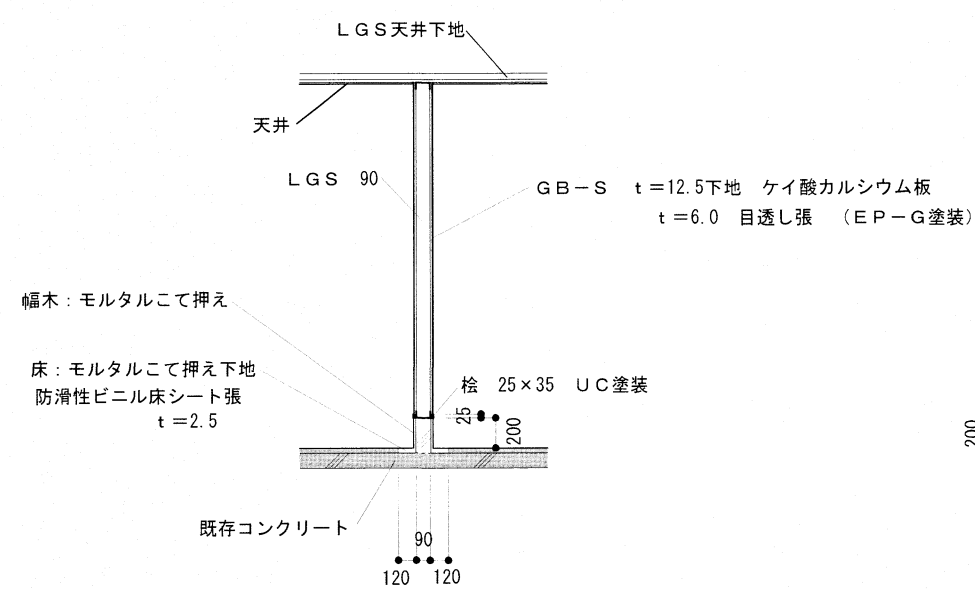


便所 西面 展開図 1/50

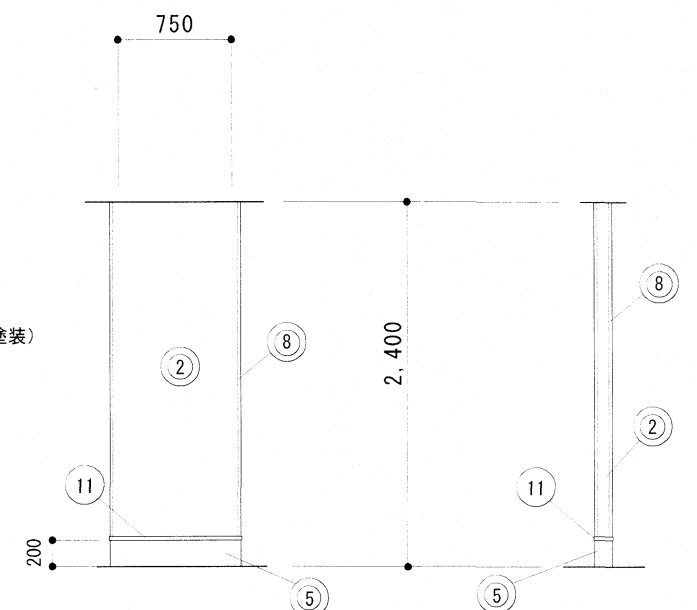


配膳室 西面 展開図 1/50

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
(印)	(印)	(印)	(印)

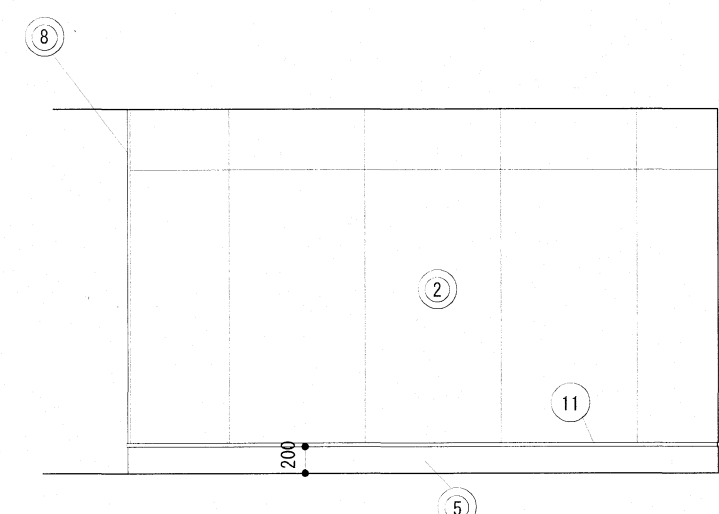


間仕切り・A及びB 断面詳細図 1/50

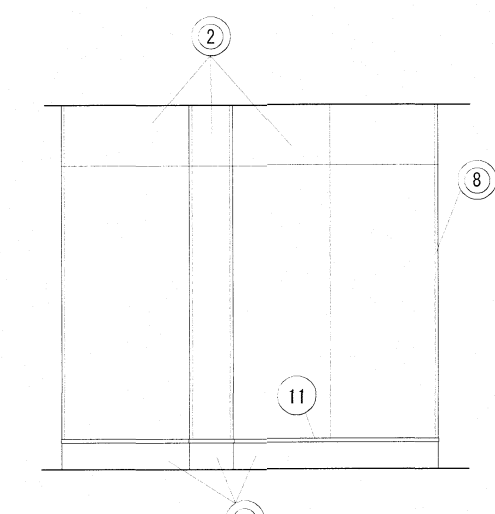


間仕切り・A
東面及び西面
展開図 1/50

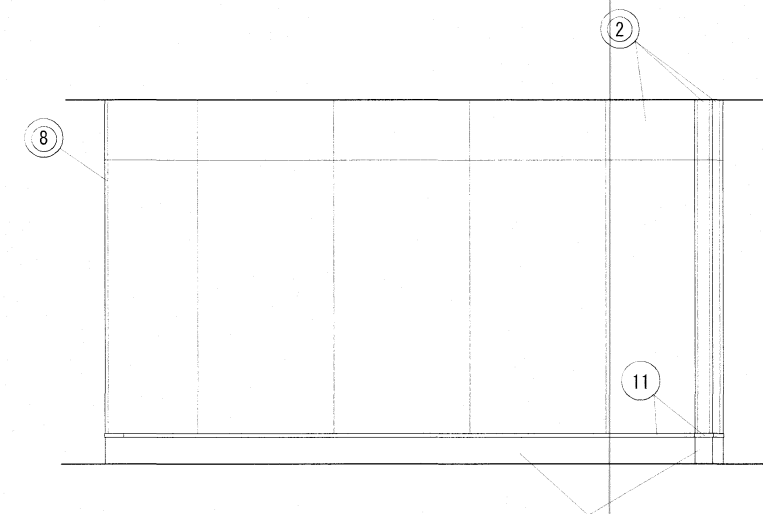
間仕切り・A
北面及び南面
展開図 1/50



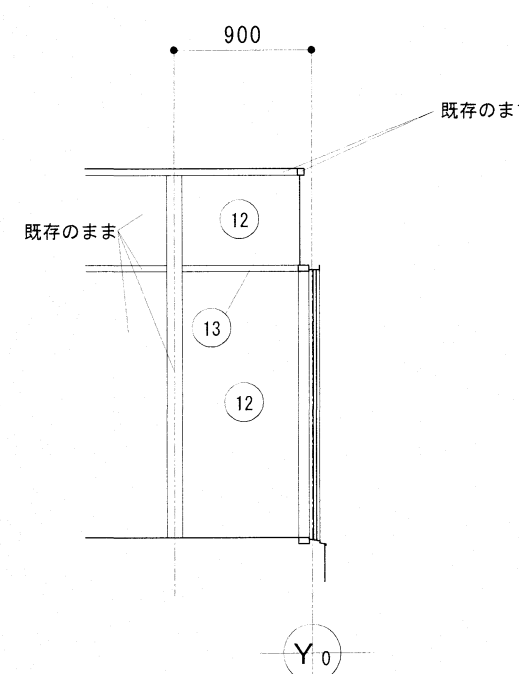
間仕切り・B
南面
展開図 1/50



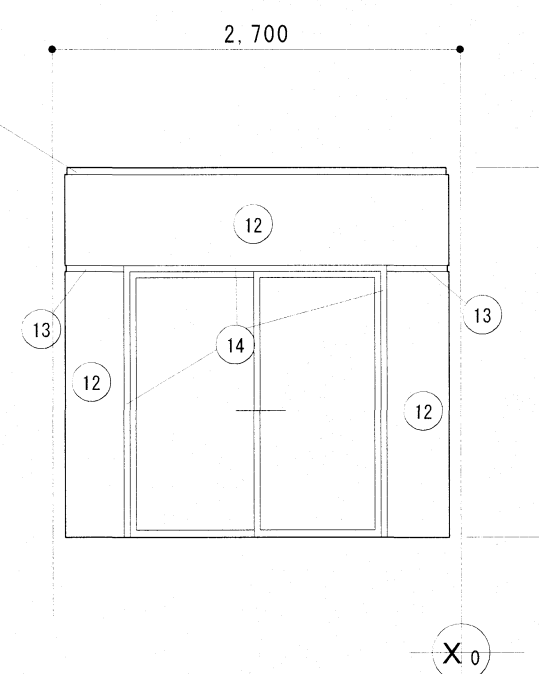
間仕切り・B
西面
展開図 1/50



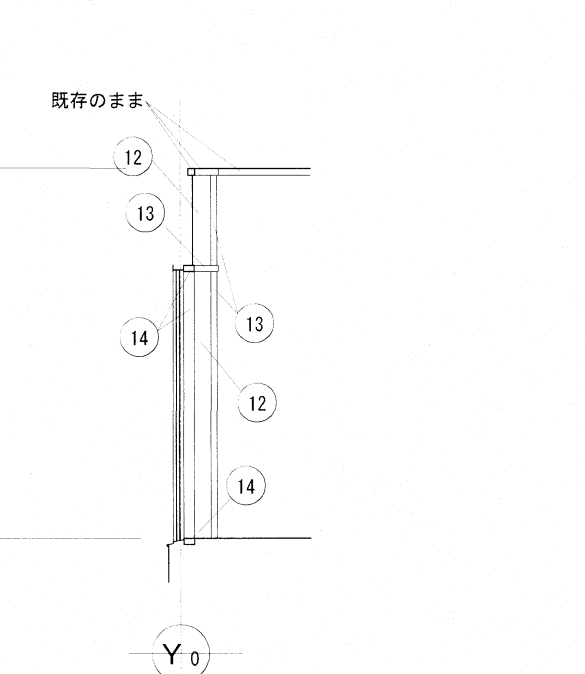
間仕切り・B
北面
展開図 1/50



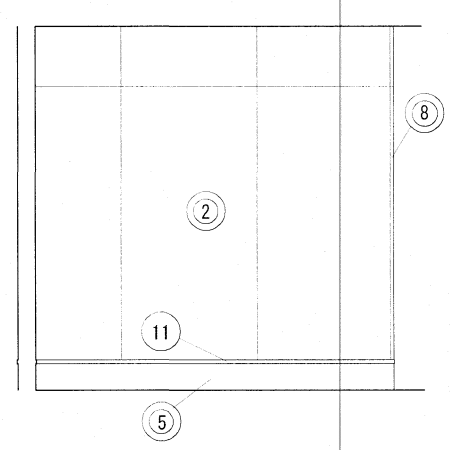
休憩室 東面 展開図 1/50



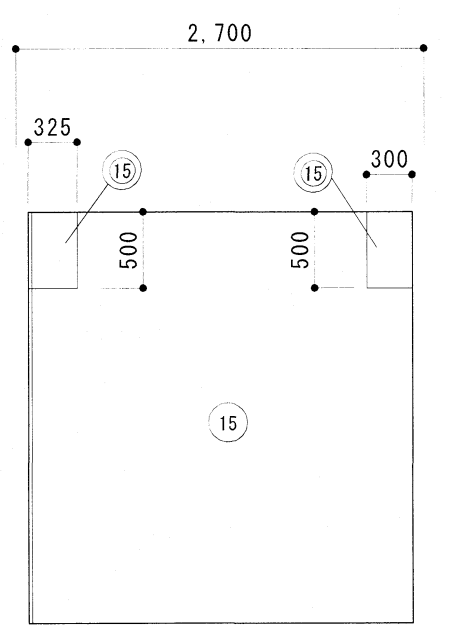
休憩室 南面 展開図 1/50



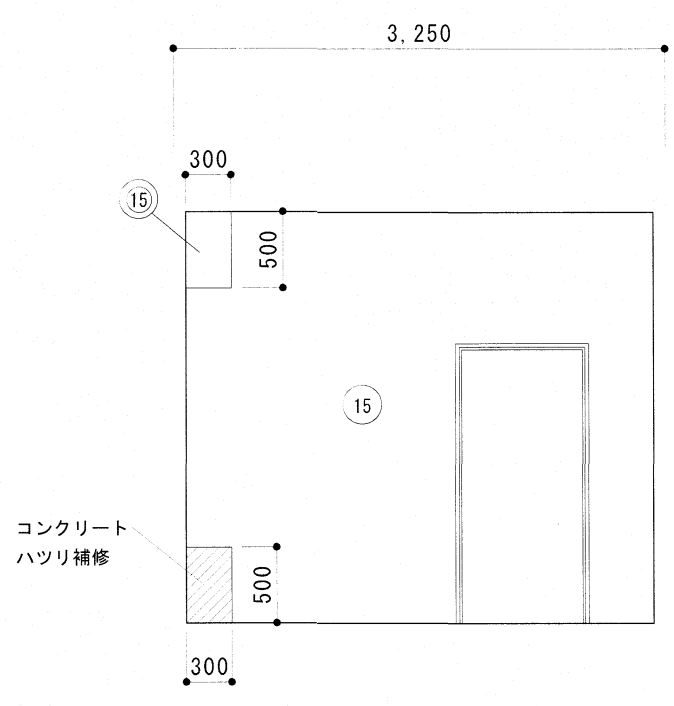
休憩室 西面 展開図 1/50



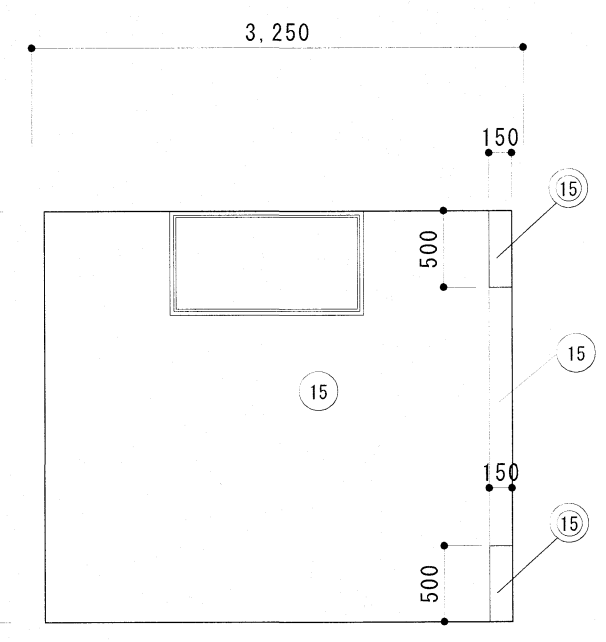
間仕切り・B
東面
展開図 1/50



倉庫 北面 展開図 1/50



倉庫 東面 展開図 1/50

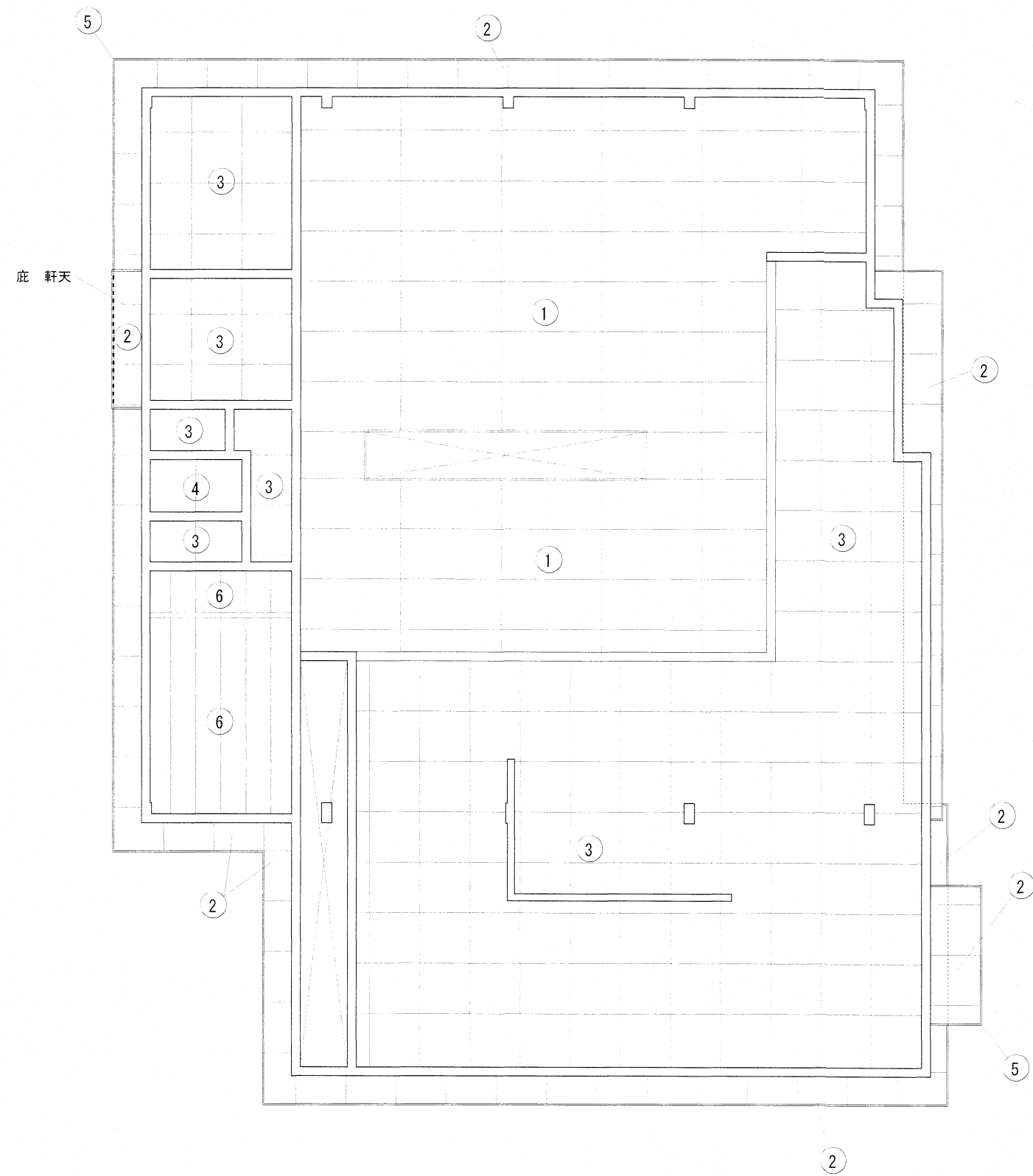


倉庫 西面 展開図 1/50

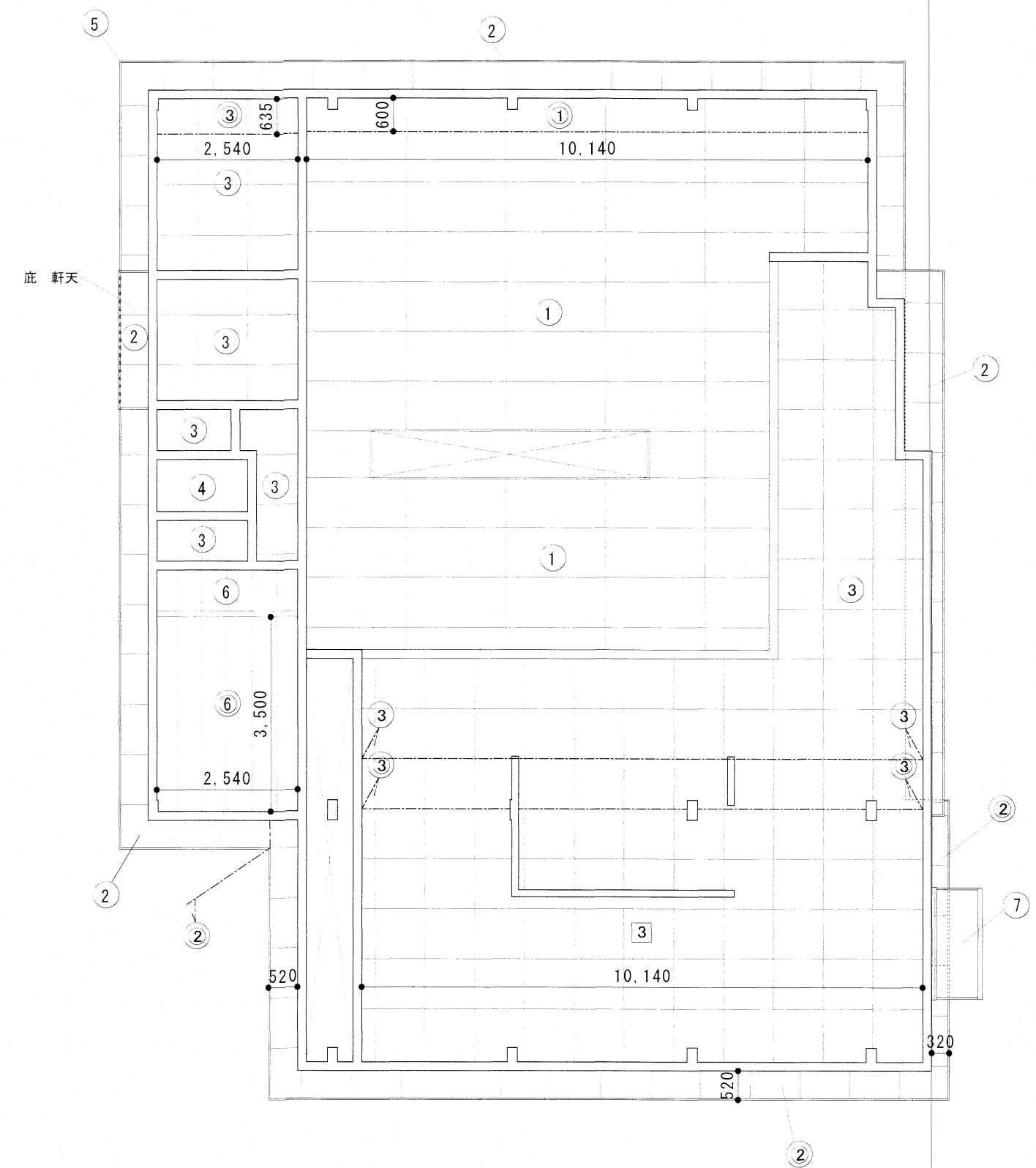
高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図	総数
	改修展開図 (3)	縮尺	平成27年7月				
		株式会社 MYM設計	事務所登録 高知県第154号	高知市塩田町13-14	TEL 824-6247 FAX 824-6481	事務所登録 高知県第154号	一級建築士登録 第83951号
						宮地 弥亀	図面番号 A-13

凡例	※ 印は現況を示す		
1	現況	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) 「亜鉛鉄板 t=0.3下地」	5
	改修後	現況のまま (1) は既存撤去 (木下地共) のうえ ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (LGS下地 目地防水テープ貼) EP-G塗装	改修後
2	現況	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP) (PB t=12.0下地)	6
	改修後	現況のまま (2) はケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 EP-G塗装 LGS下地 新設	改修後
3	現況	PB t=9.0 目透し張 (OP)	7
	改修後	現況のまま (3) は既存撤去 (木下地共) のうえ ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 EP-G塗装 (LGS下地) 又 (3) は ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (LGS下地) EP-G塗装 新設	新設
4	現況	ケイ酸カルシウム板 t=6.0 目透し張 (VP)	
	改修後	現況のまま	
			現況
			改修後
			現況
			改修後



天井伏図 1/100



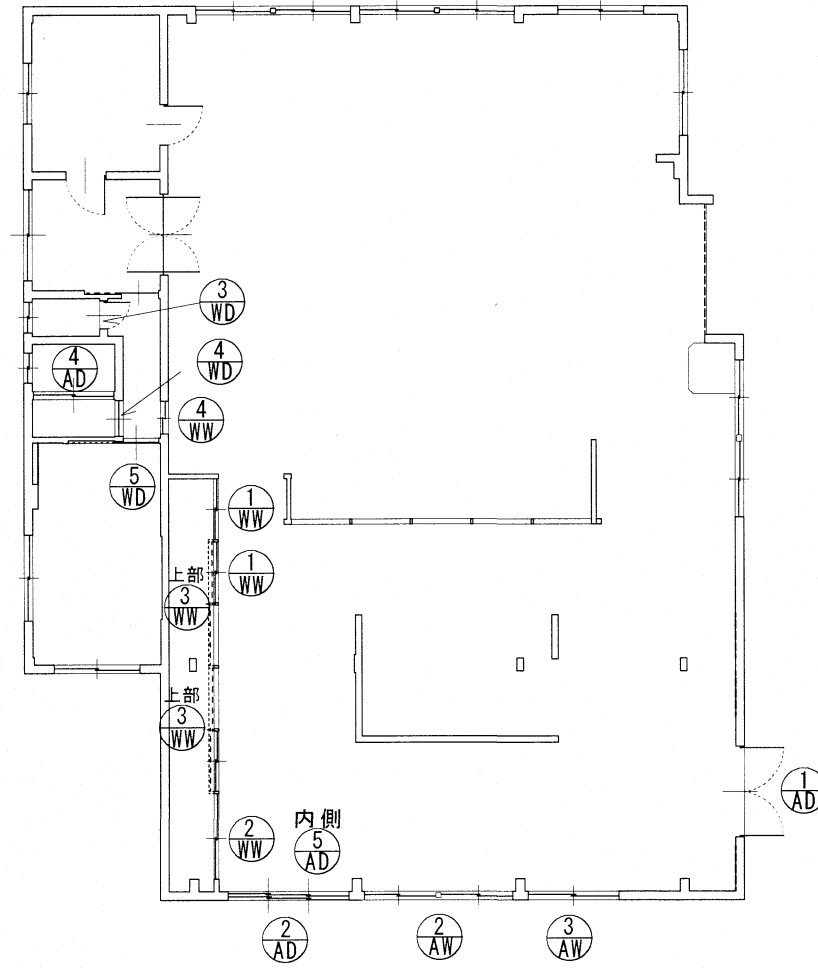
天井伏図 1/100

現況

改修後

高知市 都市建設部 公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長
(印)	(印)	(印)	(印)

備考	高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付	承認	検図	製図
	現況・改修後 天井伏図	縮尺	1/100	平成27年7月	株式会社 MYM設計	高知県第154 一級建築士登録 第83951号
					高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	富地 弥亀
						図面番号 A-16



建具配置図 1:100

※ 符合なき建具は現況のまま

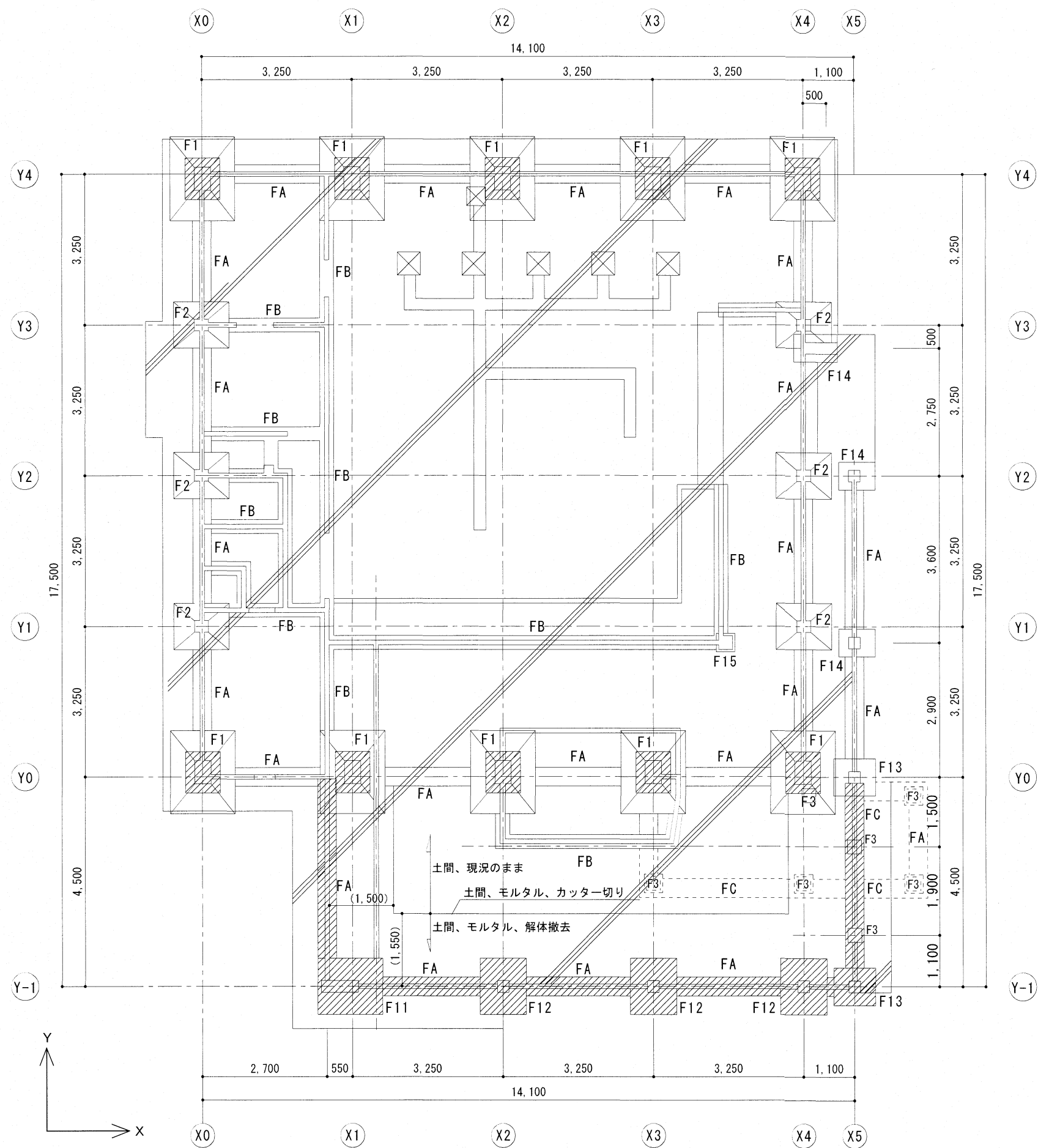
記号・数量	① AD	1箇所	② AD	1箇所	④ AD	1箇所	⑤ AD	1箇所
材種 金物 ガラス 塗装 見込	既存撤去のうえ新設		既存撤去のうえ新設		現況	改修	既存撤去のうえ新設	
	アルミサッシ (両開き戸)		アルミサッシ (3枚引違戸)		アルミサッシ (浴室引戸)	既存のまま	アルミサッシ (3枚引違戸)	
	シリリンダー錠、フロアヒンジ、フランス差し、SUSパイプハンドル、アングルピース、SUS樹脂		シリリンダー錠、アングルピース		アングルピース	既存のまま	クレセント、アングルピース	
	網入型板強化ガラス 6.8		学校用型板強化ガラス 4.0		型ガラス 2.0	学校用型板強化ガラス 4.0	SUS網戸	
	70							
記号・数量	② AW	1箇所	③ AW	1箇所	③ WD	1箇所	④ WD	1箇所
材種 金物 ガラス 塗装 見込	既存撤去のうえ新設		既存撤去のうえ新設		現況	改修	現況	改修
	アルミサッシ (2連引違窓)		アルミサッシ (引違窓)		ラワン合板・P1 フラッシュ戸	既存のまま	プリント合板 フラッシュ戸	既存のまま
	アルミ水切り、クレセント、アングルピース		アルミ水切り、クレセント、アングルピース		空錠、丁番、ラッチ、戸当り	既存のまま	空錠、丁番、掛金	既存のまま
	学校用型板強化ガラス 4.0		網入型板強化ガラス 6.8		型ガラス 2.0	学校用型板強化ガラス 4.0	型ガラス 2.0	学校用型板強化ガラス 4.0
	70		70		OP	追加押縁 (E P-G塗装)	OP	追加押縁 (E P-G塗装)

※ SUS網戸付

※ SUS網戸付

記号・数量	⑤ WD	1箇所	① WW	2箇所	② WW	1箇所	③ WW	2箇所	④ WW	1箇所
材種 金物 ガラス 塗装 見込	現況		既存撤去のうえ新設		既存撤去のうえ新設		既存撤去のうえ新設		新設 (既存撤去済)	
	片引込ガラス戸 (スプルス)		片引込ガラス戸 (棕)		枠 (引違窓)		枠 (引違窓)		枠 (引違窓)	
	平戸車、SUS引手		平戸車、SUS引手		真鍮甲丸レール、ナイロン戸車 30、SUS引手		真鍮甲丸レール、ナイロン戸車 30、SUS引手		真鍮甲丸レール、ナイロン戸車 30、SUS引手	
	(上段) 透明ガラス 2.0 (下段) 型ガラス 2.0		(上段) 学校用透明強化ガラス 4.0 (下段) 学校用型板強化ガラス 3.0		学校用透明強化ガラス 4.0		学校用透明強化ガラス 4.0		学校用透明強化ガラス 4.0	
	33		33		33		33		33	

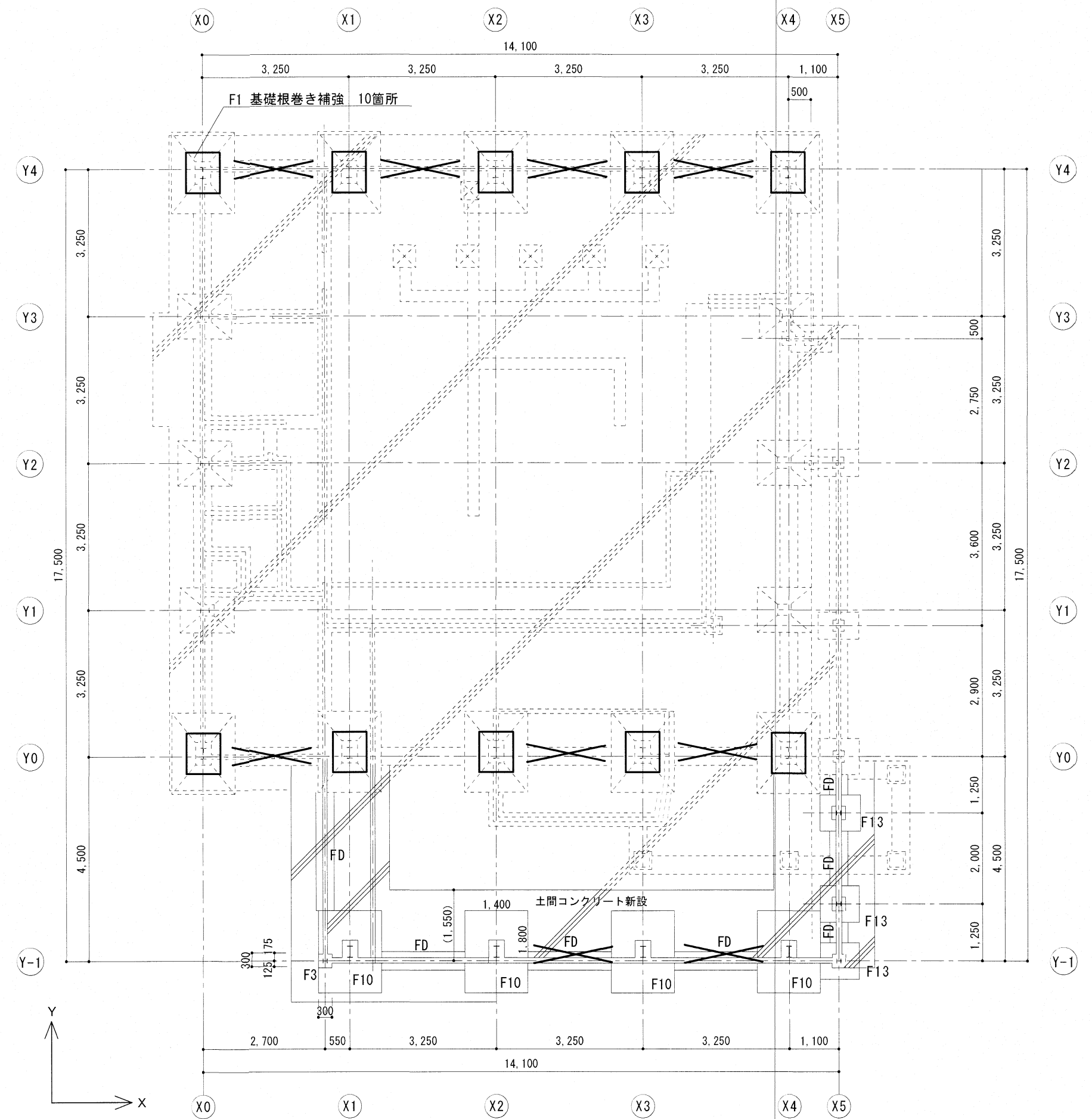
現況図



基礎布図 1:100

撤去部材・範囲を示す

改修図



基礎布図 1:100

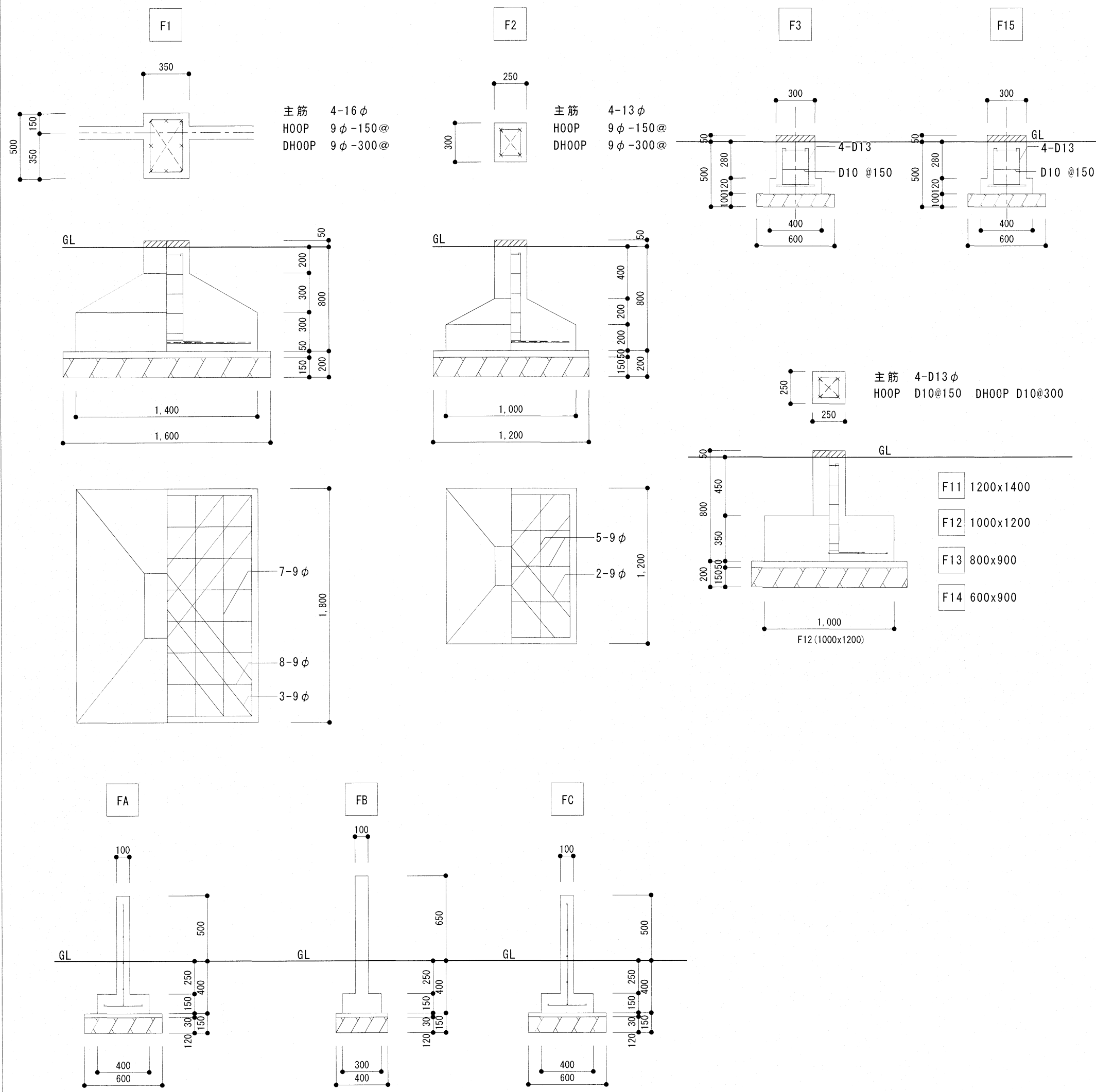
新設部材を示す
現況部材を示す
新設鉛直ブレースT20位置を示す

新設部材・材料	規格・品質・仕様
コンクリート(基礎、土間)	FC 21 捨コンクリート FC 18
鉄筋	SD295
鉄骨	H形鋼、PL-9~16 SN400B リップ溝形鋼 SSC400 その他 SS400
ブレース	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
後施工アンカー	D16 SD345
無収縮モルタル	FC 30

高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長

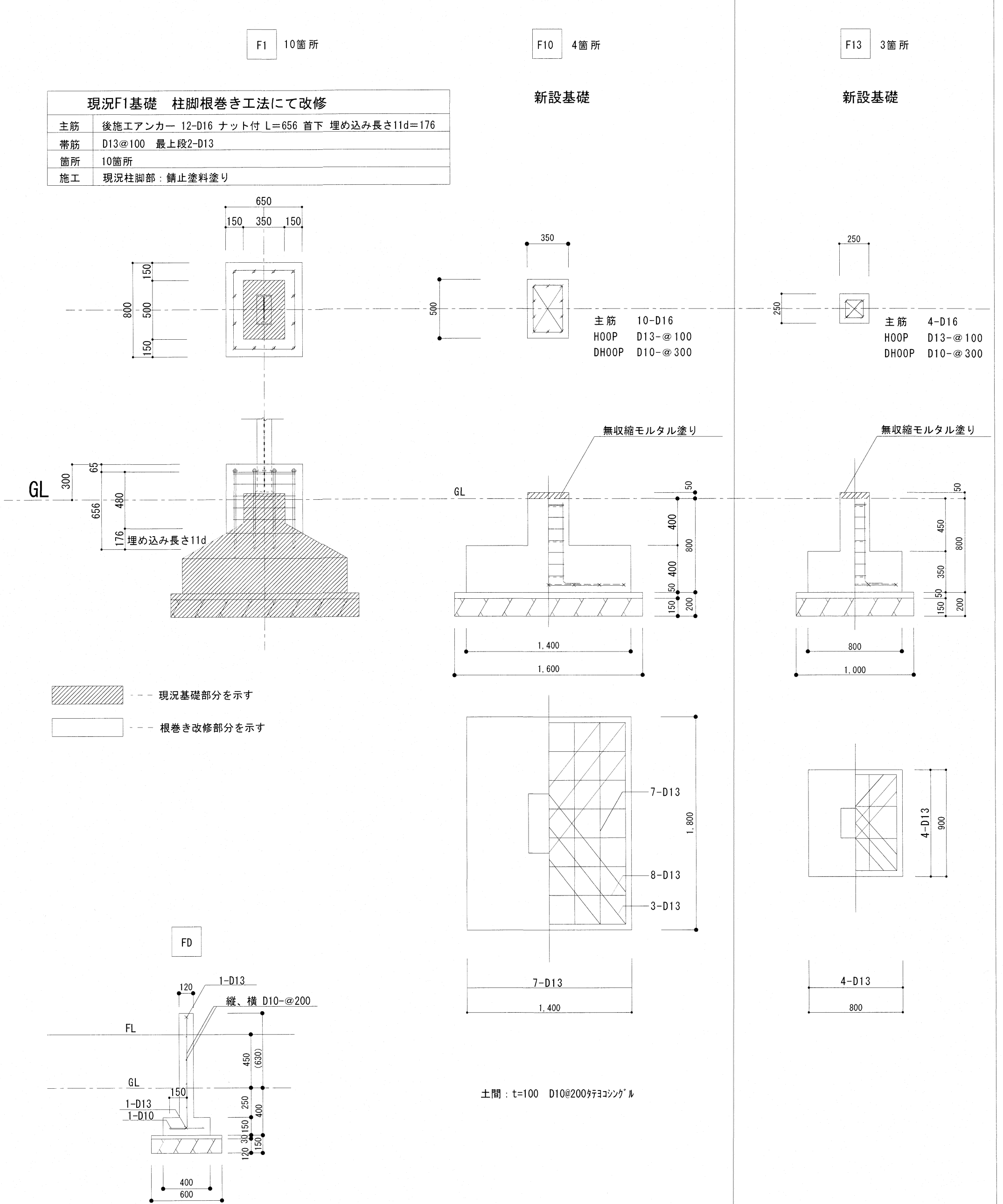
備考	設計名称 高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事	設計番号	日付 平成27年7月	承認	検図	製図 総数
	図面名称 現況・改修基礎伏図	縮尺 1/100	株式会社 MYM設計 高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481	事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号	宮地 弥亀	図面 番号 B-01

現況図



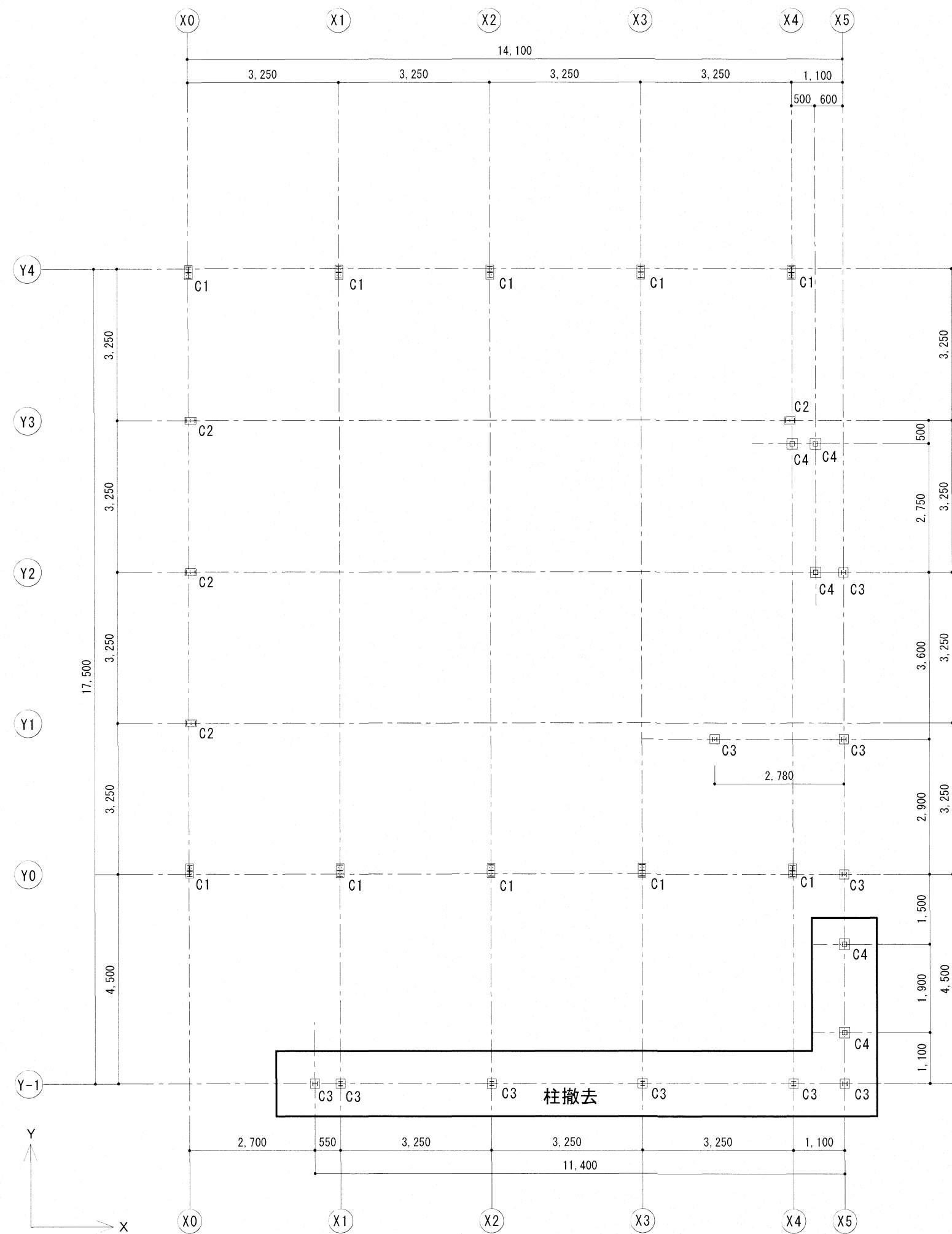
基礎詳細図 1:30

改修図



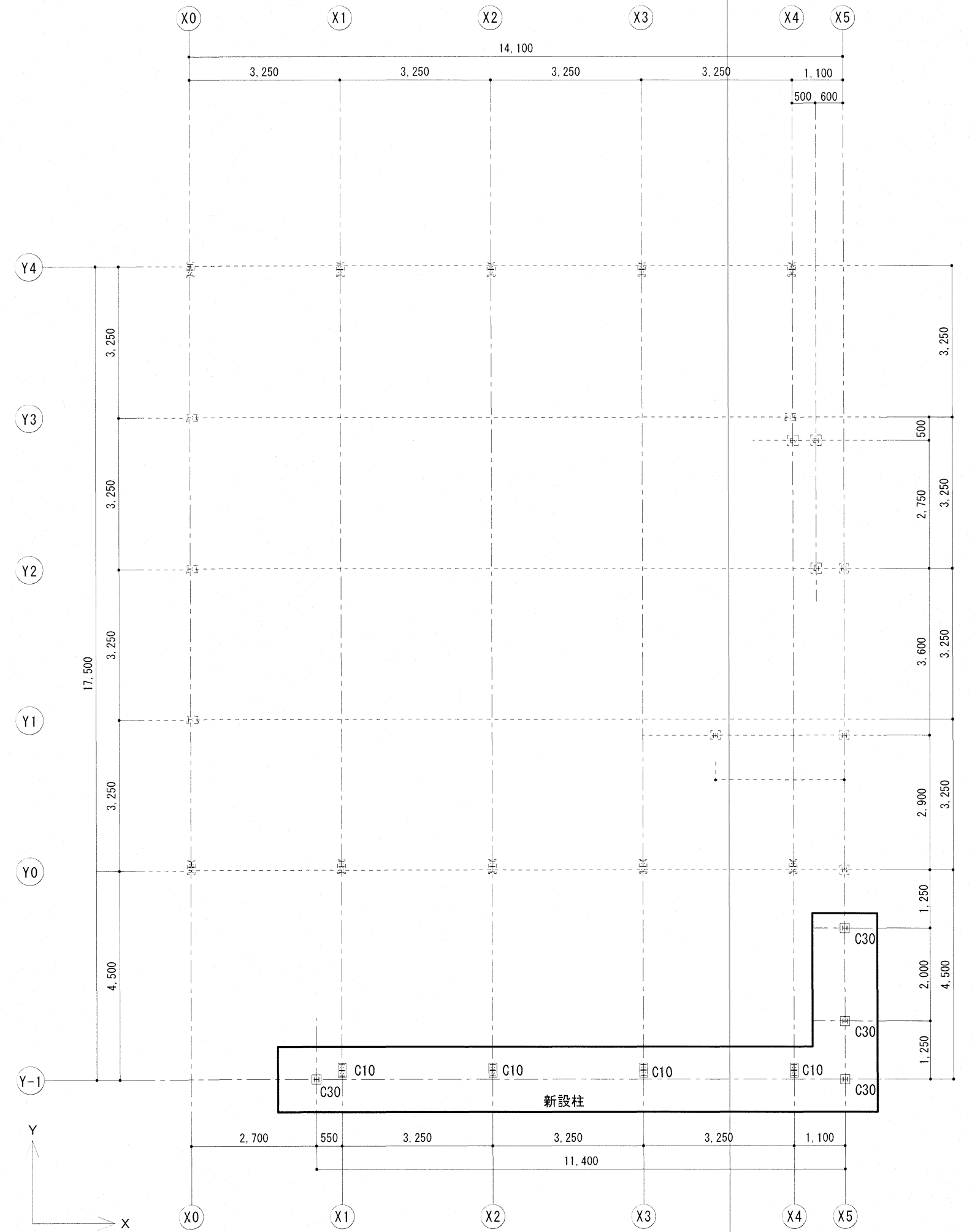
基礎詳細図 1:30

現況図



柱伏図 1:100

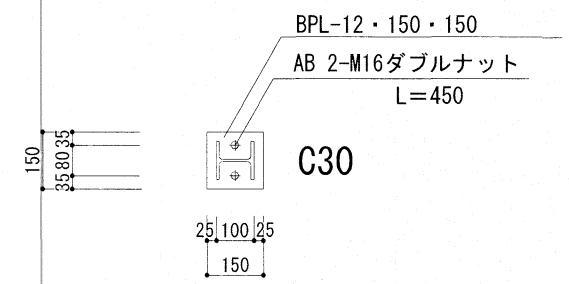
改修図



柱伏図 1:100

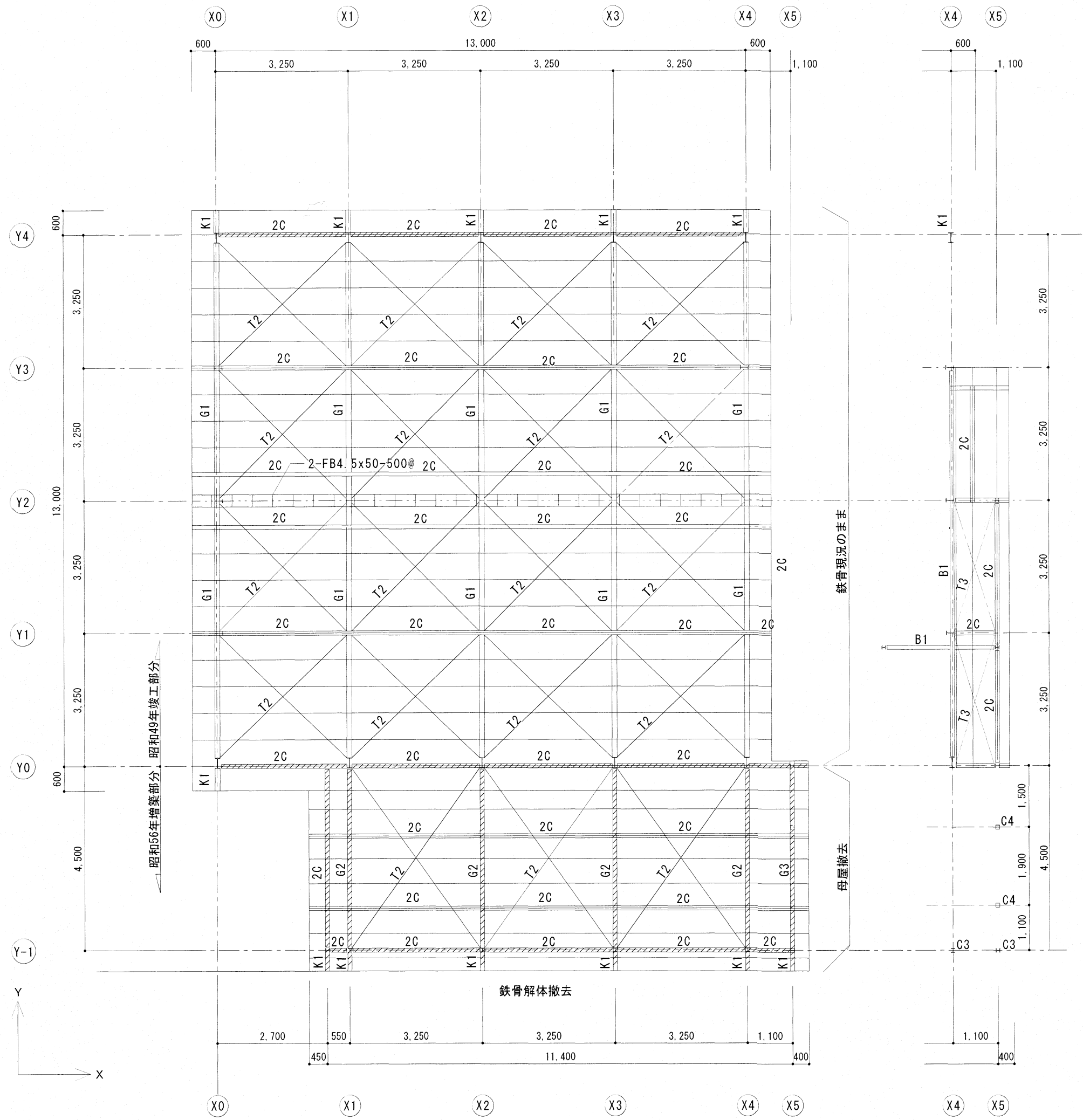
現況鉄骨部材リスト		改修鉄骨部材リスト	
符号	断面	符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9	C10・G10	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8	C30・B30	H-100x100x6x8
C3・G3	H-100x100x6x8	20C	2C-100x50x20x2.3
C4・2C	2C-100x50x20x2.3	K10	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3	T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ	母屋	C-100x50x20x2.3
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ		
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ		
母屋	C-100x50x20x2.3		

— 新設部材を示す
 - - - 現況部材を示す



高知市都市建設部公共建築課
 係長 課長補佐 課長
 (Seals)

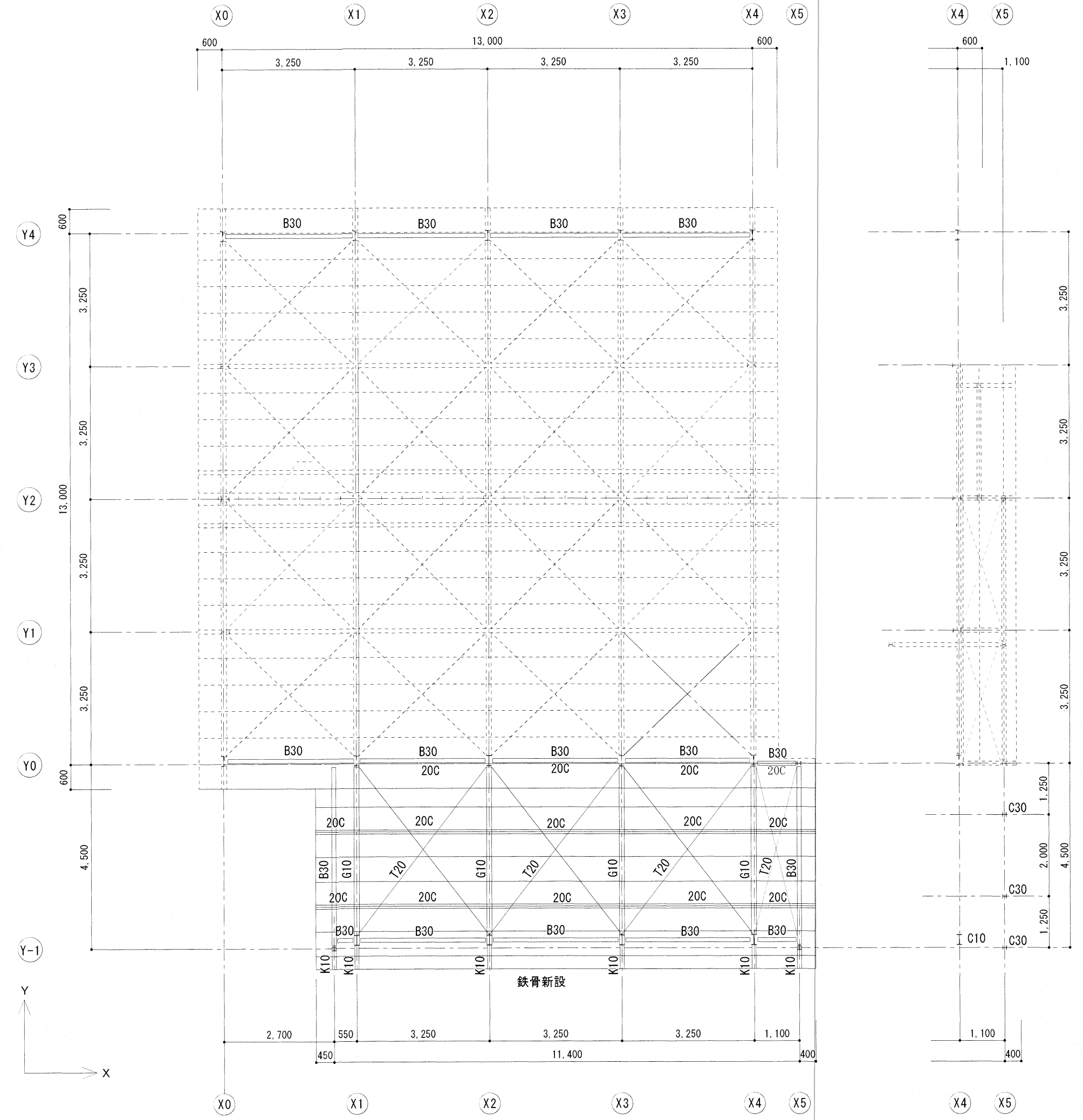
現況図



小屋伏図 1:100
・Y-1~Y0間 2C・G2・G3・T2・母屋撤去

下屋伏図 1:100
昭和56年増築部分

改修図



小屋伏図 1:100

下屋伏図 1:100

撤去部材・範囲を示す

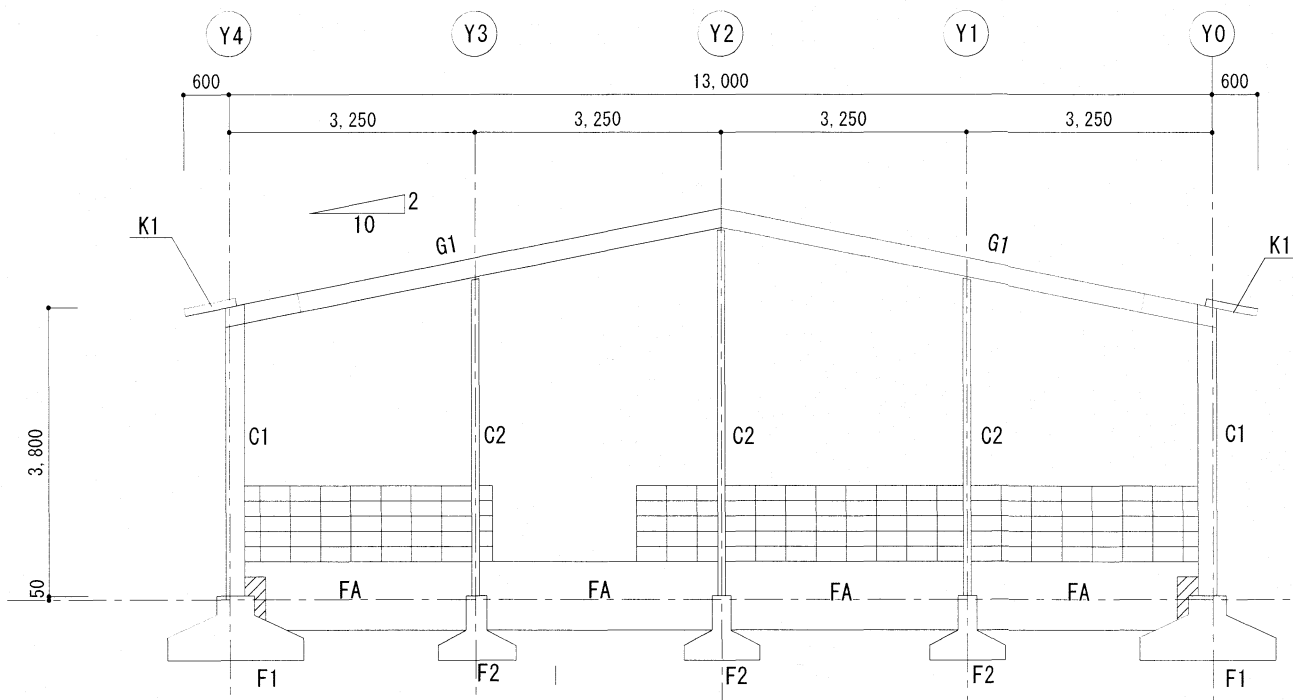
現況鉄骨部材リスト		改修鉄骨部材リスト	
符号	断面	符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9	C10・G10	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8	C30・B30	H-100x100x6x8
C3・G3	H-100x100x6x8	20C	2C-100x50x20x2.3
C4・2C	2C-100x50x20x2.3	K10	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3	T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ	母屋	C-100x50x20x2.3
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ		
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ		
母屋	C-100x50x20x2.3		

--- 新設部材を示す
--- 現況部材を示す

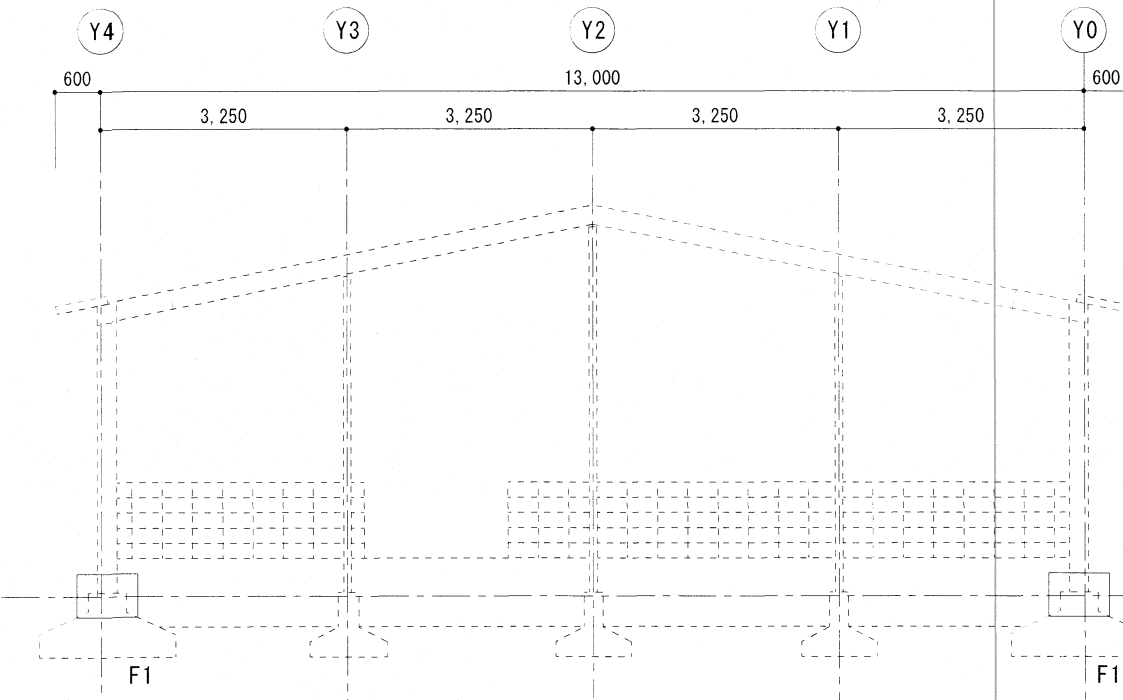
高知市都市建設部公共建築課
係長 課長補佐 課長

現況軸組図

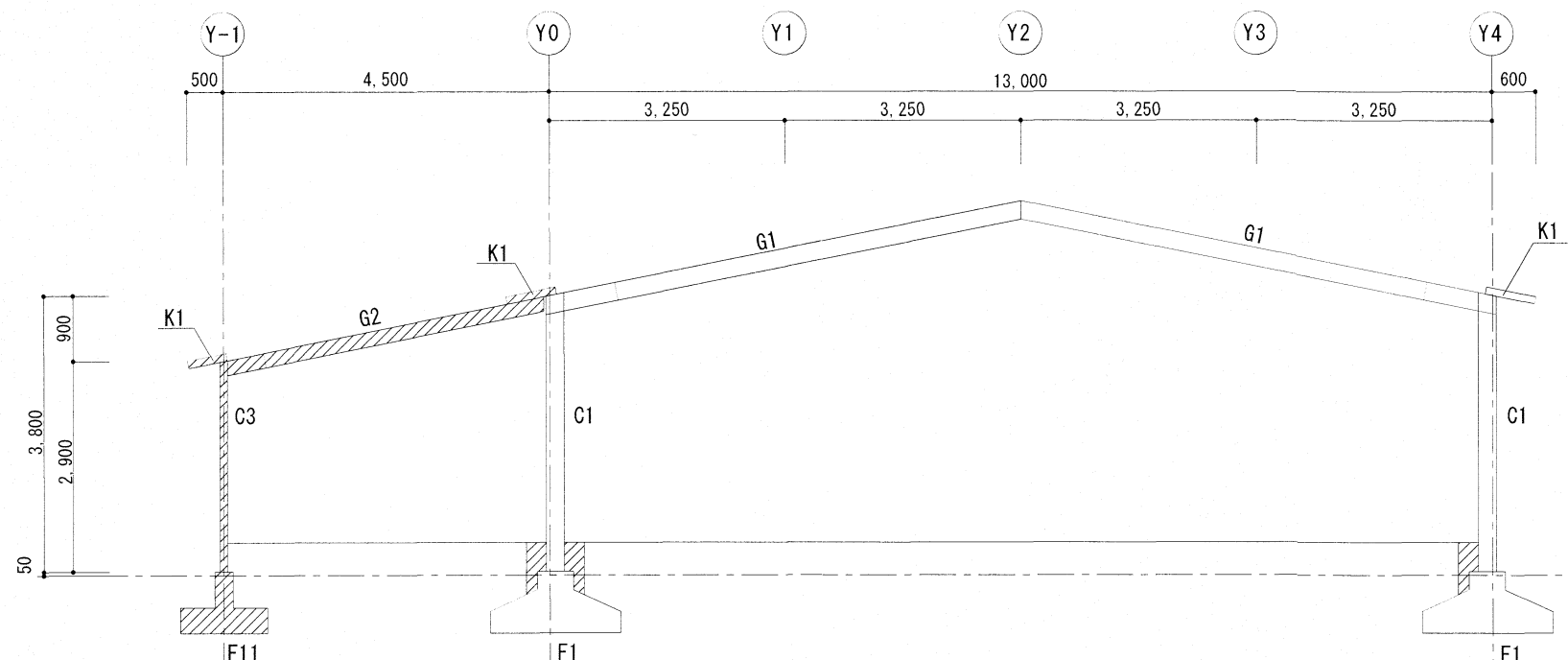
改修軸組図



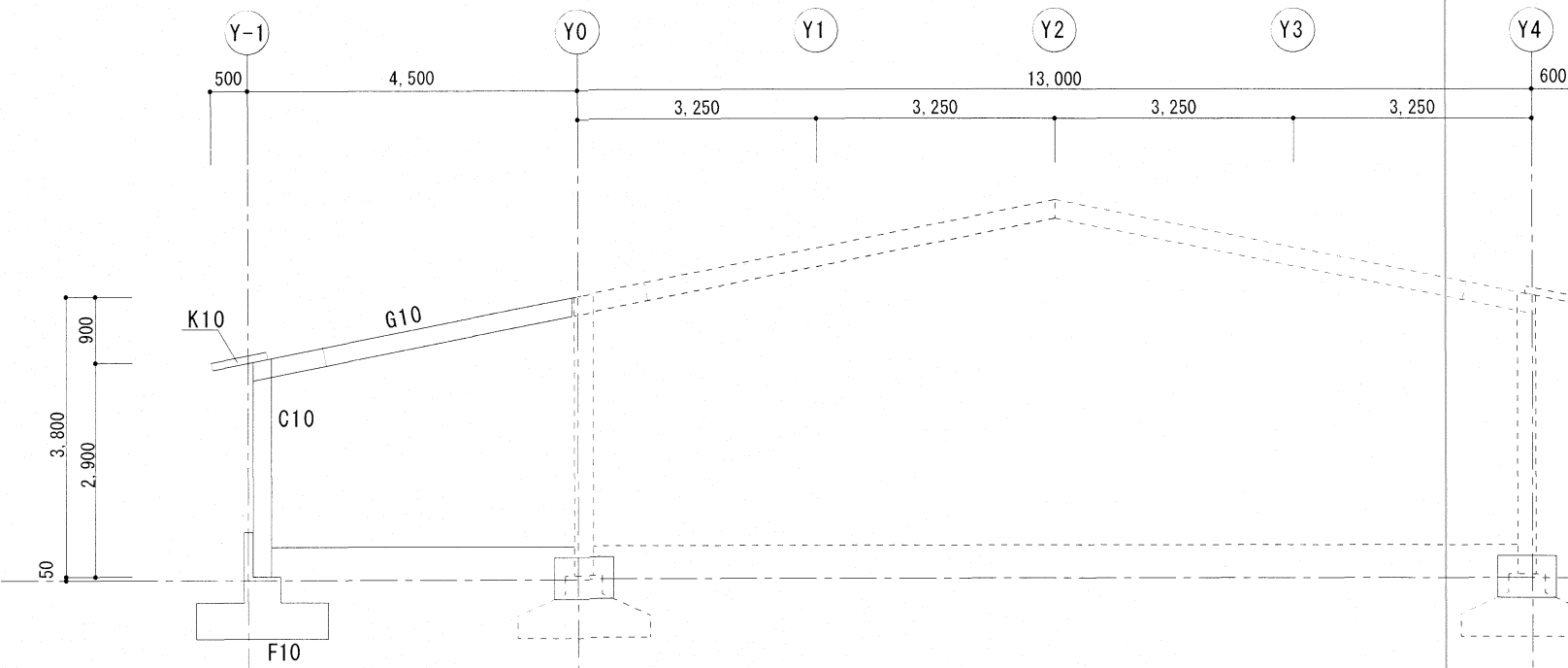
X0 軸組図 1/100 柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用



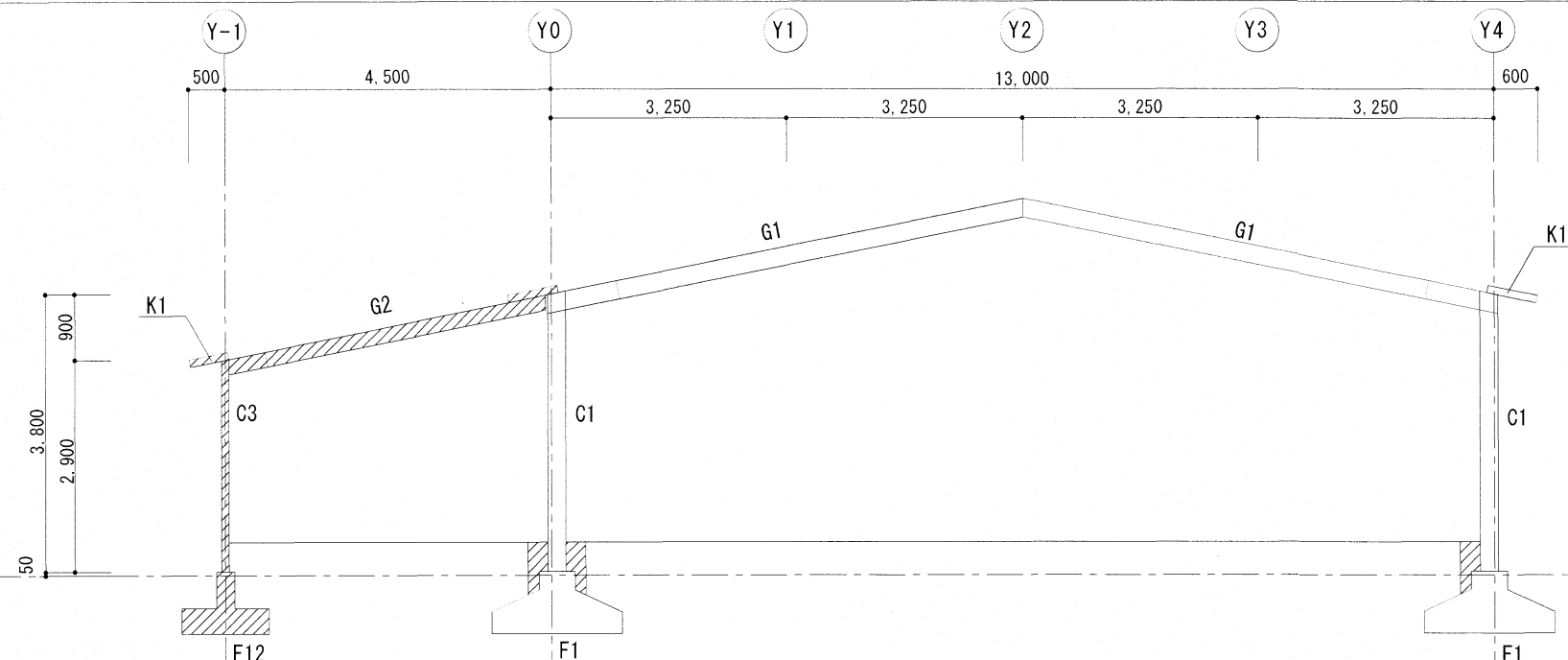
X0 軸組図 1/100 F1柱基礎2基柱脚根巻き施工



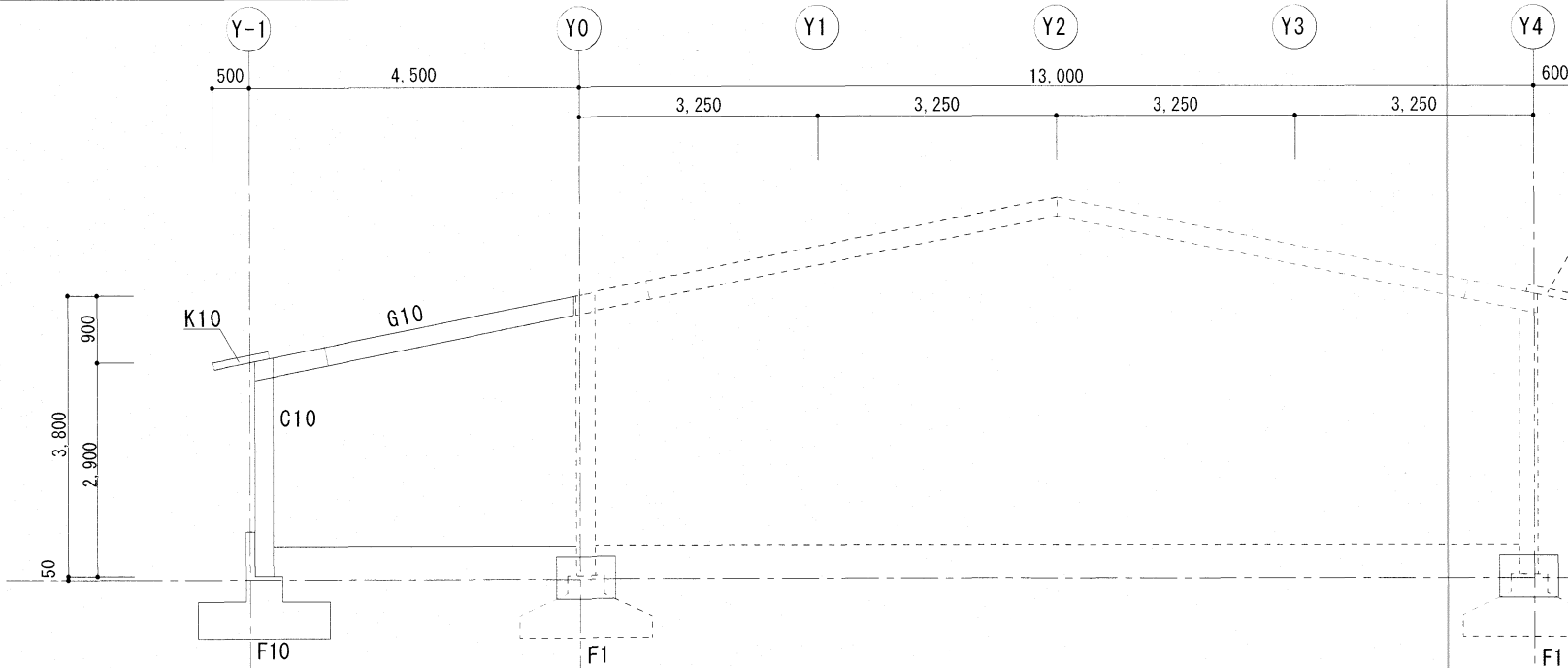
X1 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間撤去、F11基礎 1基撤去、柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用



X1 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間新設、F10基礎 1基新設 F1柱基礎2基柱脚根巻き施工



X2 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間撤去、F12基礎 1基撤去、柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用



X2 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間新設、F10基礎 1基新設 F1柱基礎2基柱脚根巻き施工

撤去部材・範囲を示す

現況鉄骨部材リスト		改修鉄骨部材リスト	
符号	断面	符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9	C10・G10	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8	C30・B30	H-100x100x6x8
C3・G3	H-100x100x6x8	20C	2C-100x50x20x2.3
C4・2C	2C-100x50x20x2.3	K10	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3		
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ		
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ	T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ		
母屋	C-100x50x20x2.3	母屋	C-100x50x20x2.3

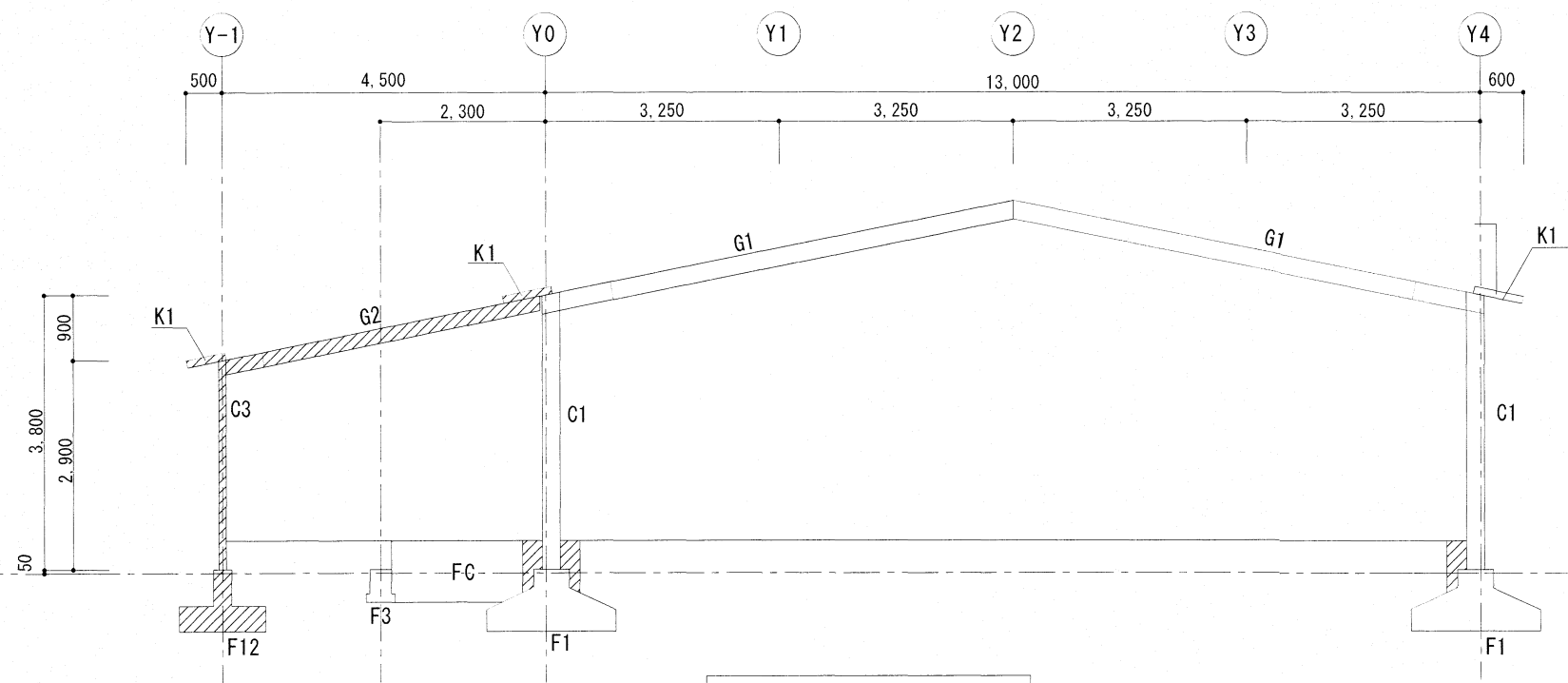
新設部材を示す
現況部材を示す

高知市都市建設部公共建築課

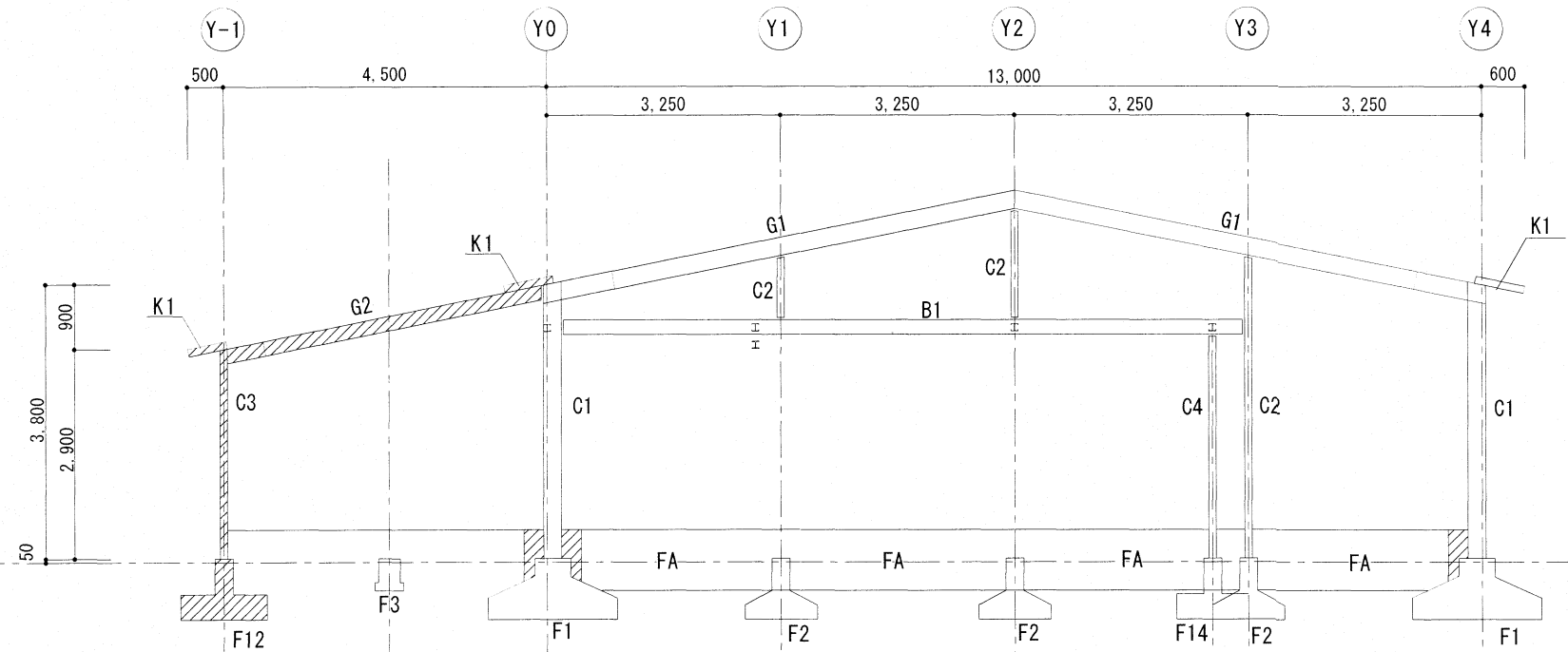
係長 課長補佐 課長

図面番号 B-05

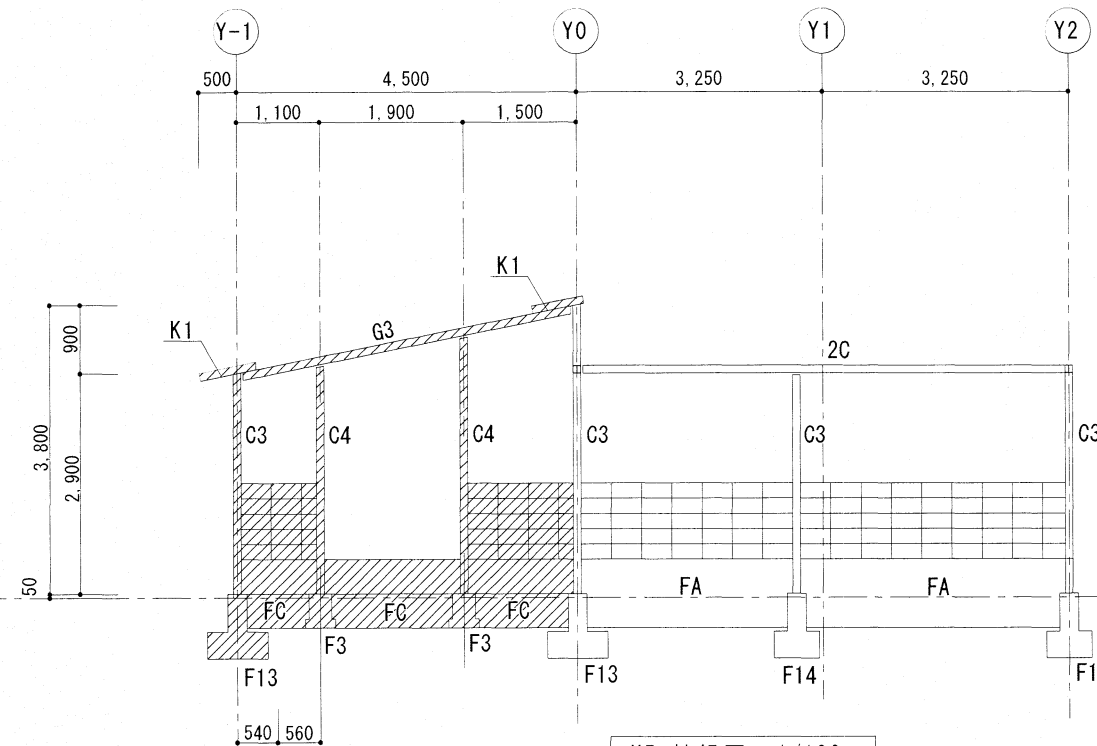
現況軸組図



X3 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間撤去、F12基礎 1基撤去、柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用

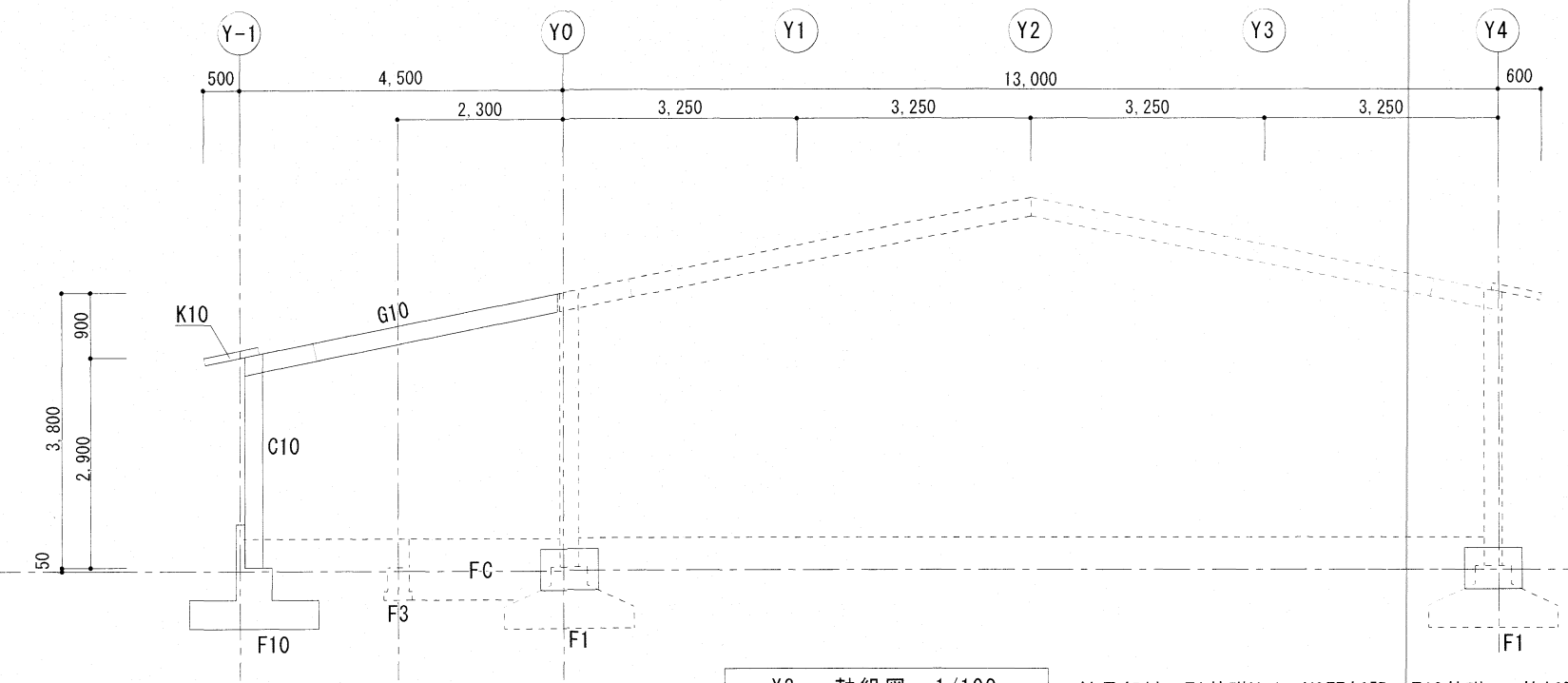


X4 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間撤去、F12基礎 1基撤去、柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用

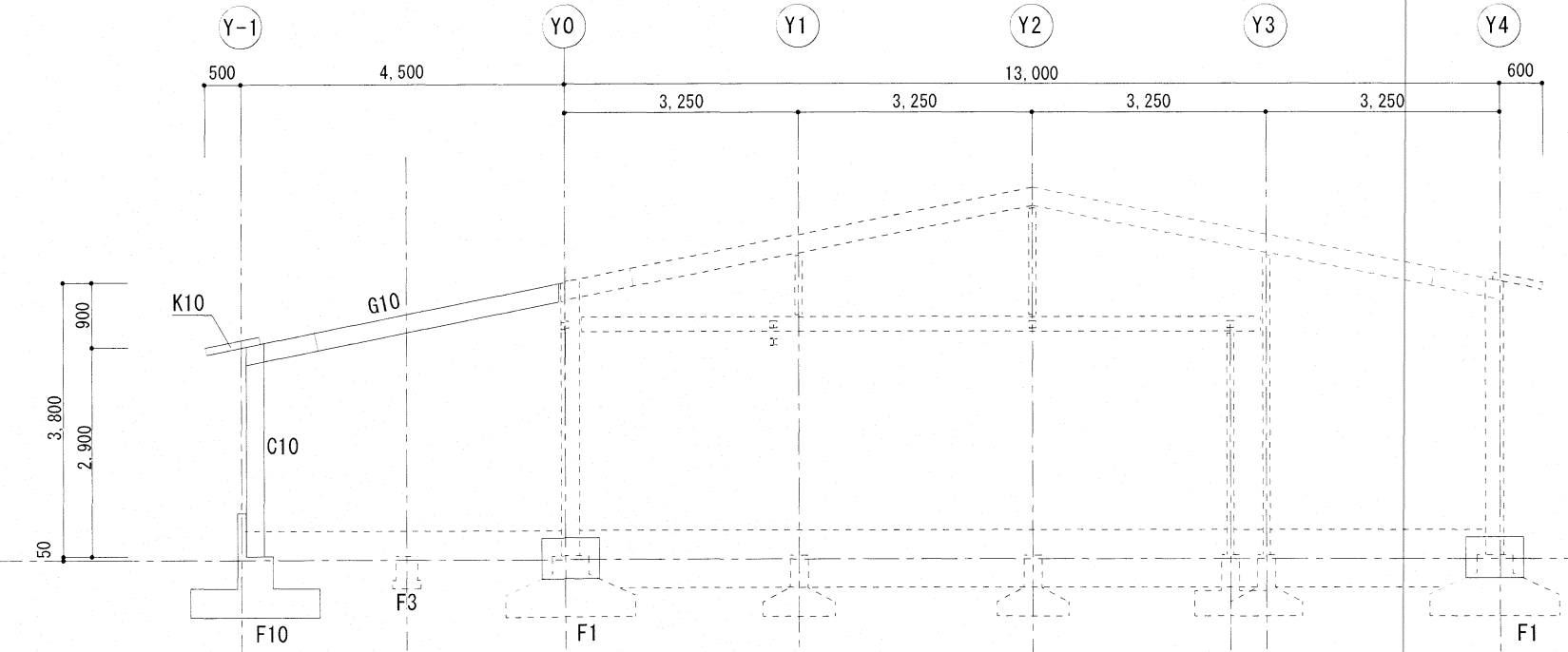


X5 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間撤去、F13基礎 1基撤去、

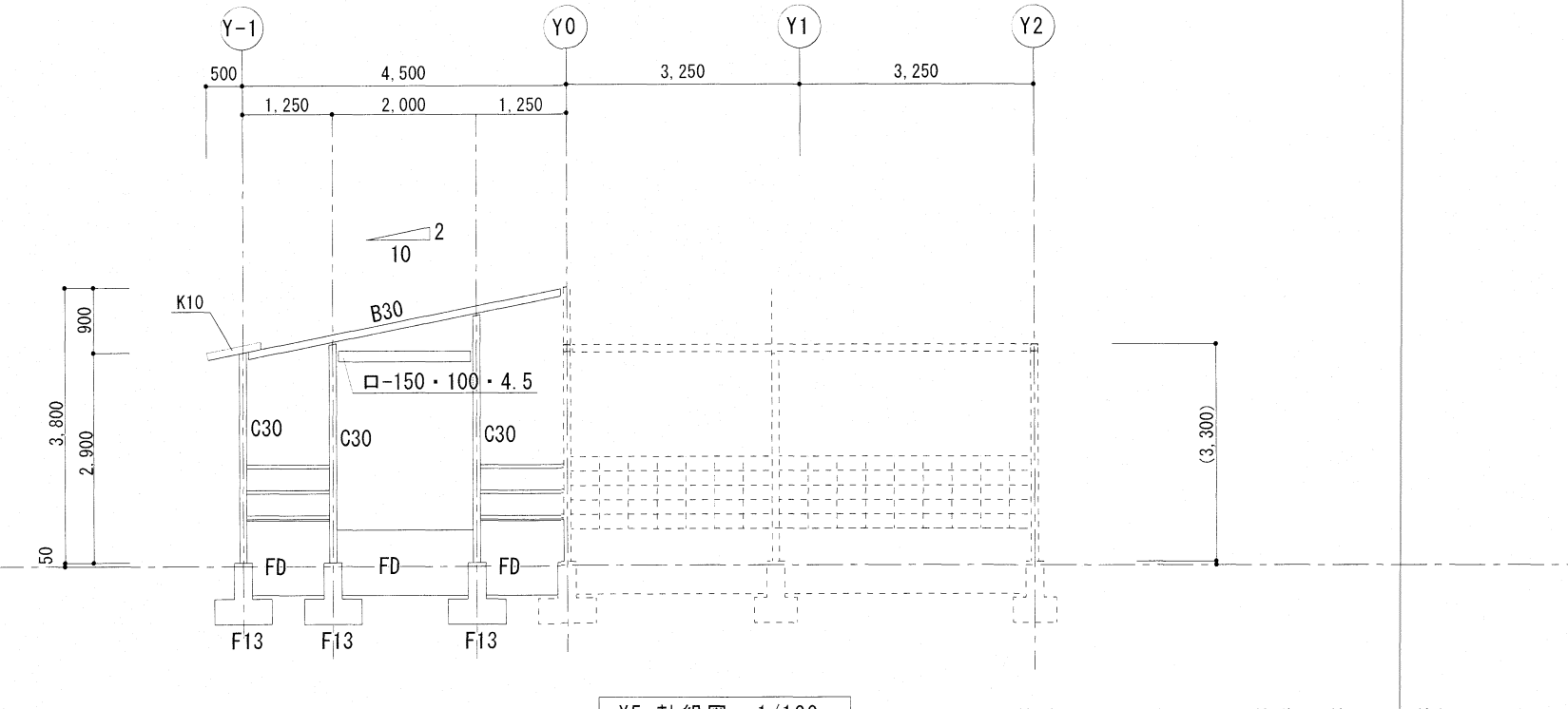
改修軸組図



X3 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間新設、F10基礎 1基新設、F1柱基礎2基柱脚根巻き施工



X4 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA基礎Y-1~Y0間新設、F10基礎 1基新設、F1柱基礎2基柱脚根巻き施工



X5 軸組図 1/100 鉄骨部材・FA1基礎Y-1~Y0間新設、F13基礎 1基、F3 2基新設

撤去部材・範囲を示す

現況鉄骨部材リスト

符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8
C3・G3	H-100x100x6x8
C4・2C	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ
母屋	C-100x50x20x2.3

改修鉄骨部材リスト

符号	断面
C10・G10	H-250x125x6x9
C30・B30	H-100x100x6x8
20C	2C-100x50x20x2.3
K10	2C-100x50x20x2.3
T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
母屋	C-100x50x20x2.3

新設部材を示す
現況部材を示す

高知市都市建設部公共建築課
係長 課長補佐 課長
田中 松本 高木

備考

設計名称 高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事

設計番号 日付 平成 27年 7月

承認 検図 製図 総数

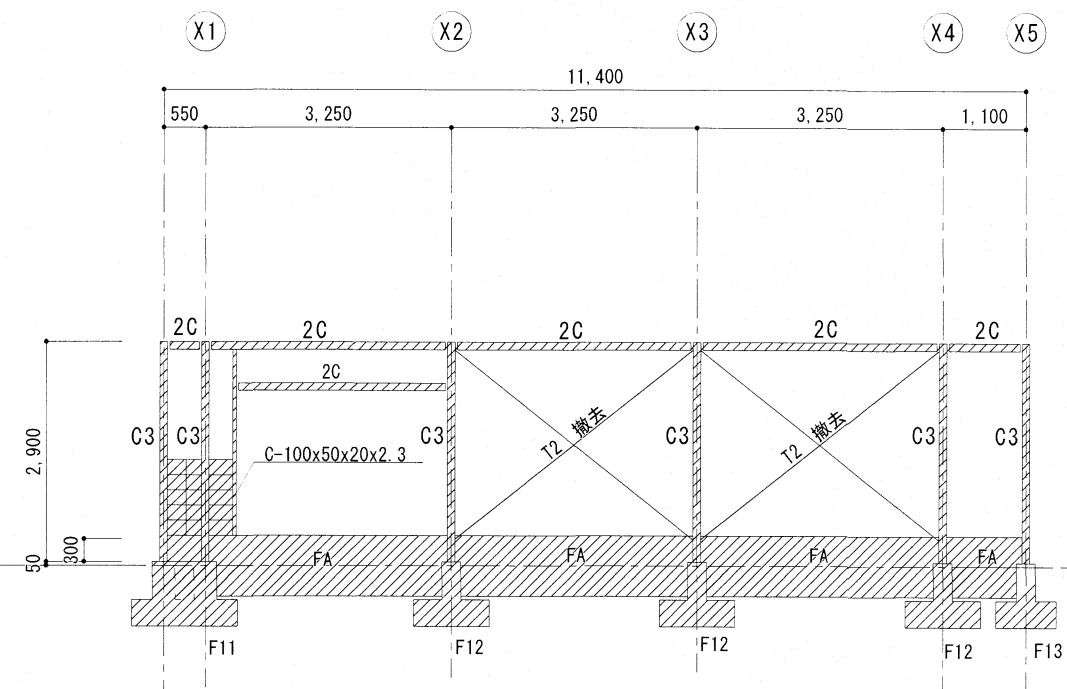
図面名称 現況・改修軸組図 2 縮尺 1/100

株式会社 MYM設計 高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481

事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号 宮地 弥亀

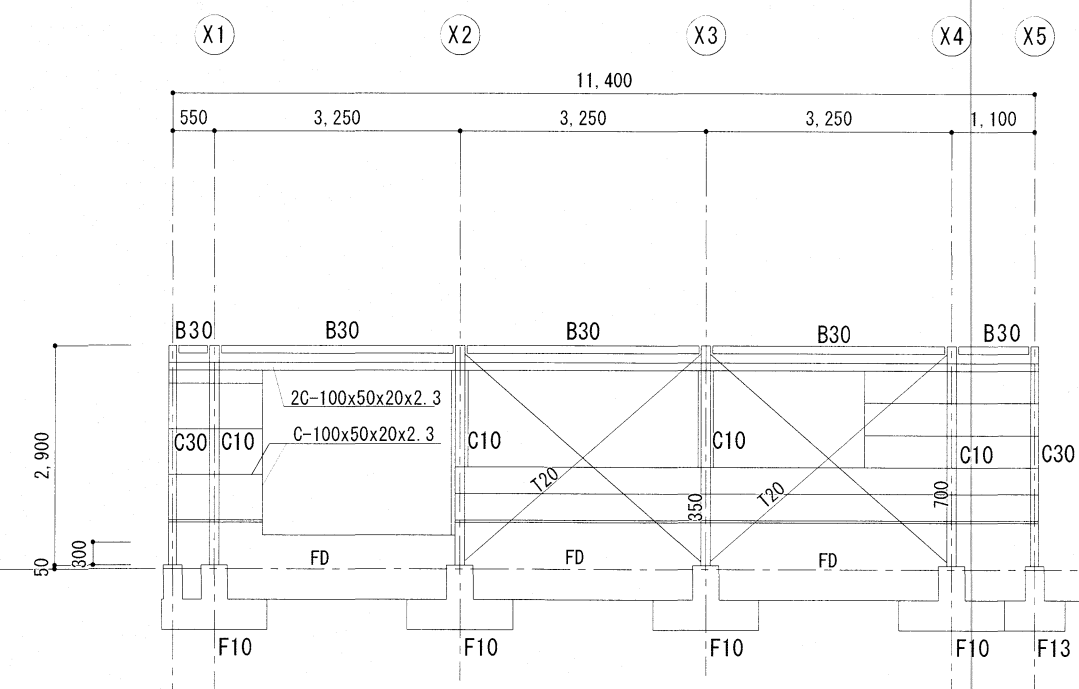
図面番号 B-06

現況軸組図

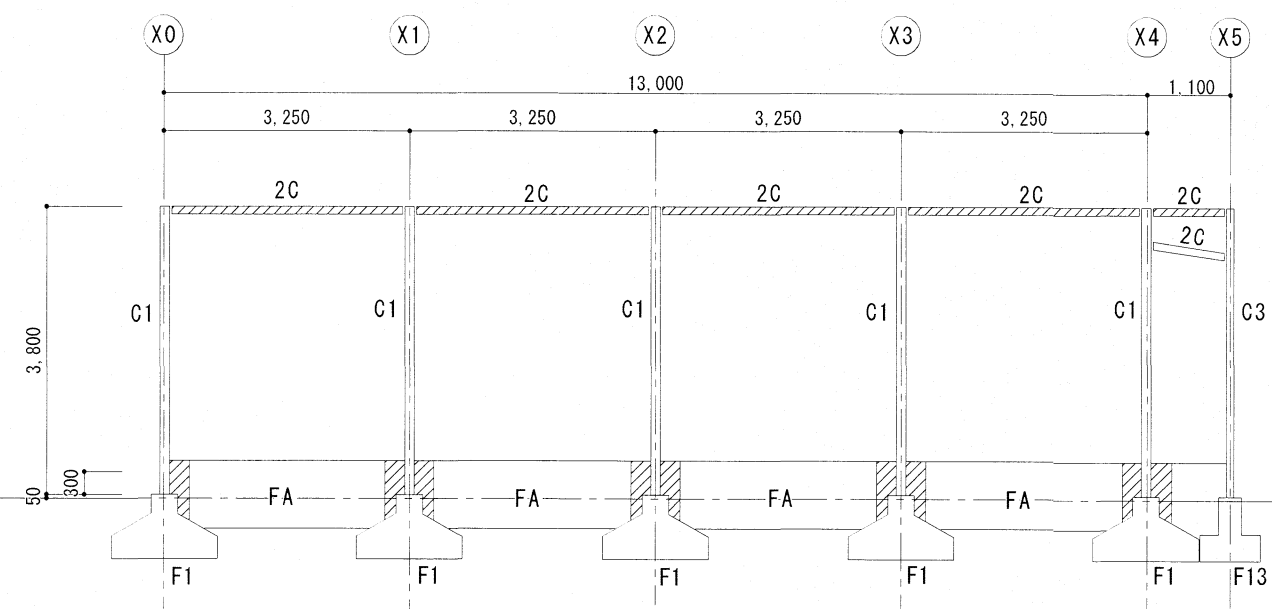


Y-1 軸組図 1:100 基礎鉄骨共解体撤去

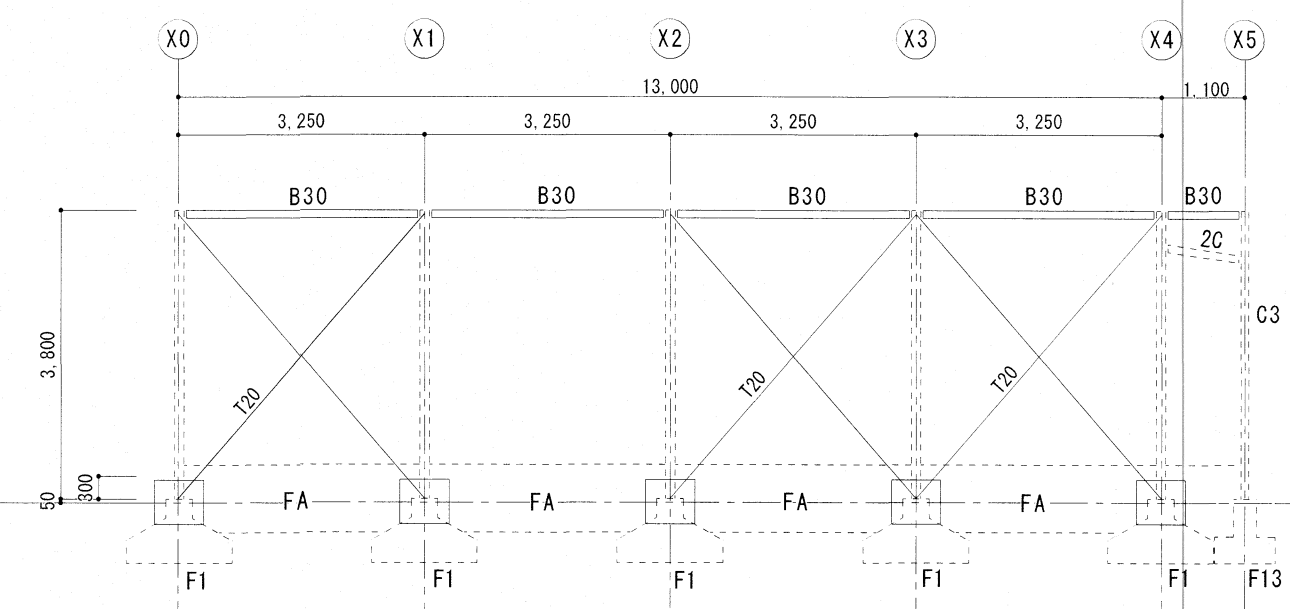
改修軸組図



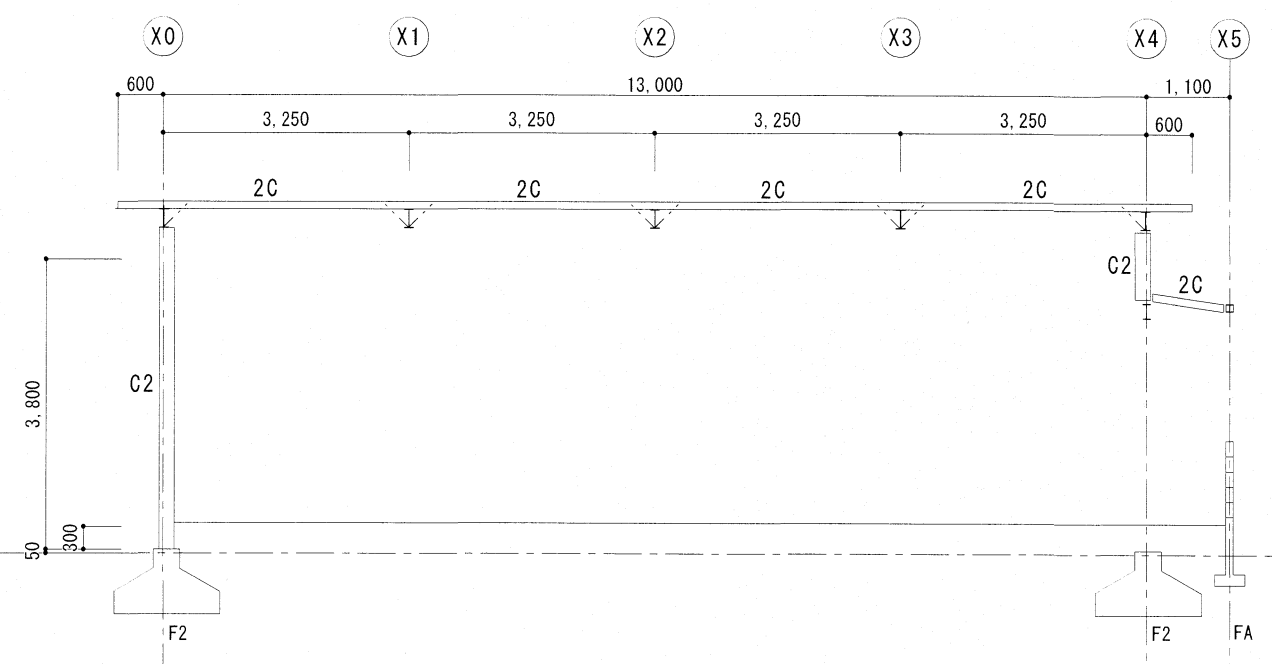
Y-1 軸組図 1/100 基礎鉄骨共新設



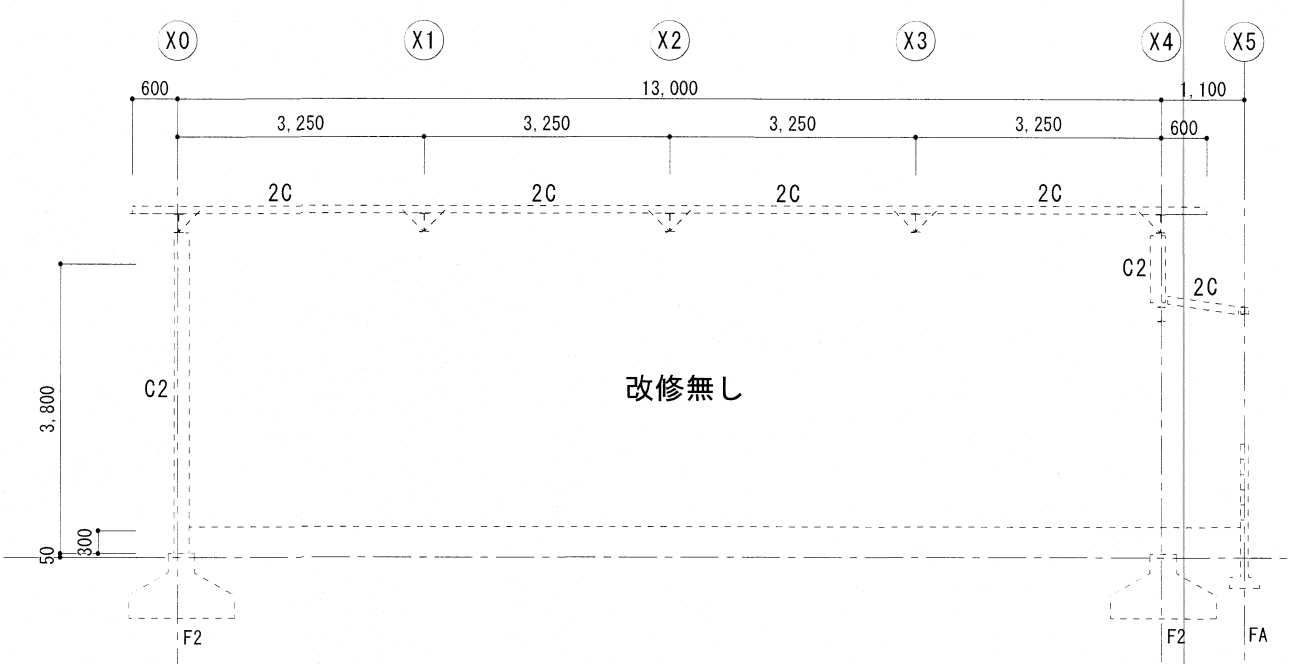
Y0 軸組図 1/100 柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用



Y0 軸組図 1/100 柱脚根巻き施工・B30・T20新設



Y1 軸組図 1/100 補強工事無し



Y1 軸組図 1/100 改修無し

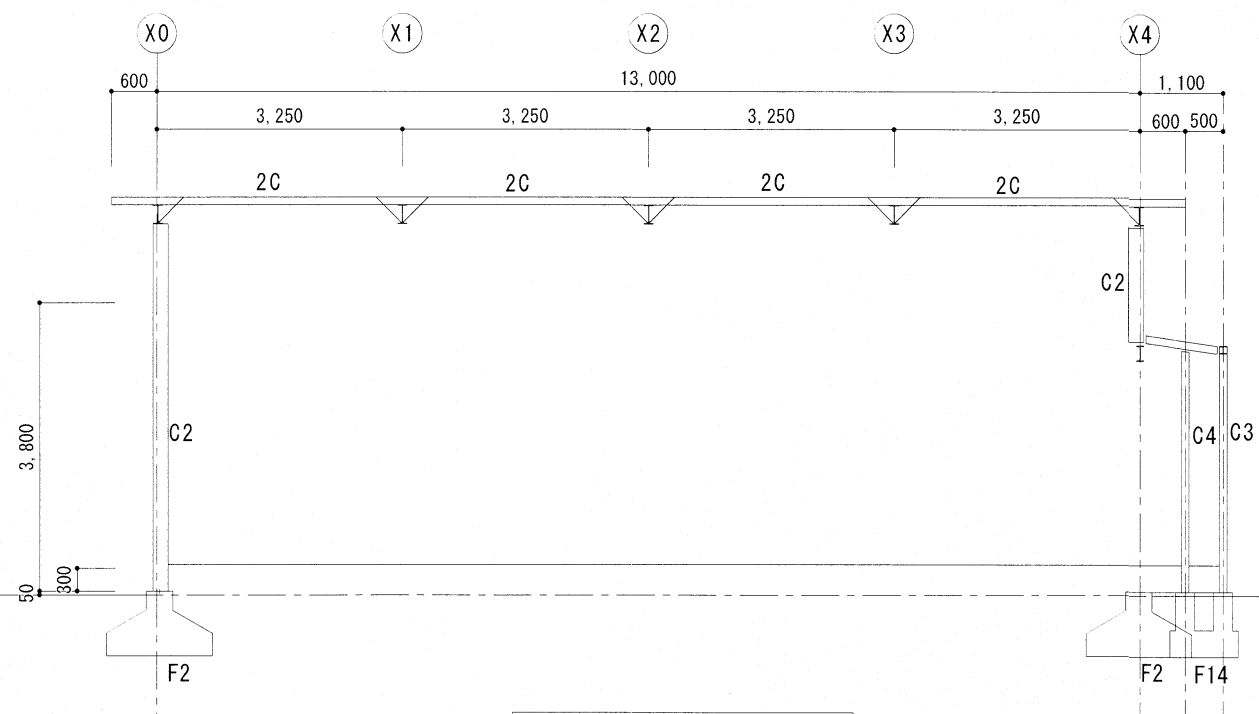
撤去部材・範囲を示す

現況鉄骨部材リスト		改修鉄骨部材リスト	
符号	断面	符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9	C10・G10	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8	C30・B30	H-100x100x6x8
C3・G3	H-100x100x6x8	20C	2C-100x50x20x2.3
C4・2C	2C-100x50x20x2.3	K10	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3		
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ	T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ		
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ		
母屋	C-100x50x20x2.3	母屋	C-100x50x20x2.3

新設部材を示す
現況部材を示す

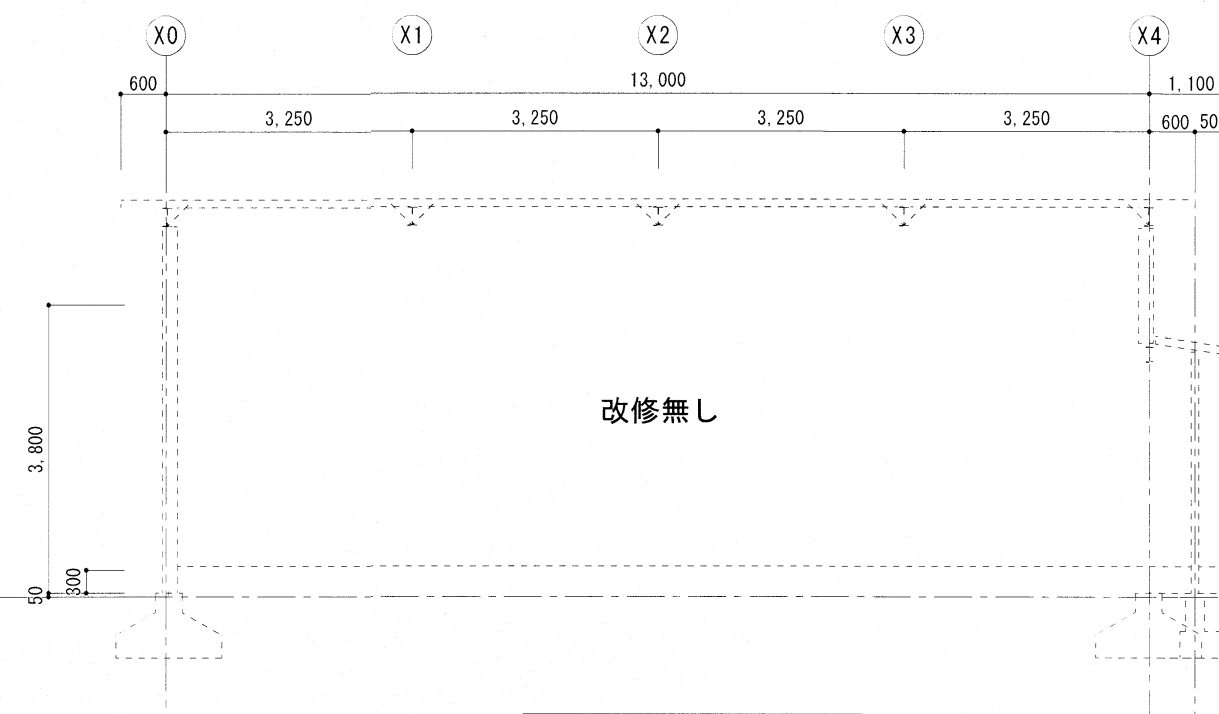
高知市都市建設部公共建築課
係長 課長補佐 課長

現況軸組図

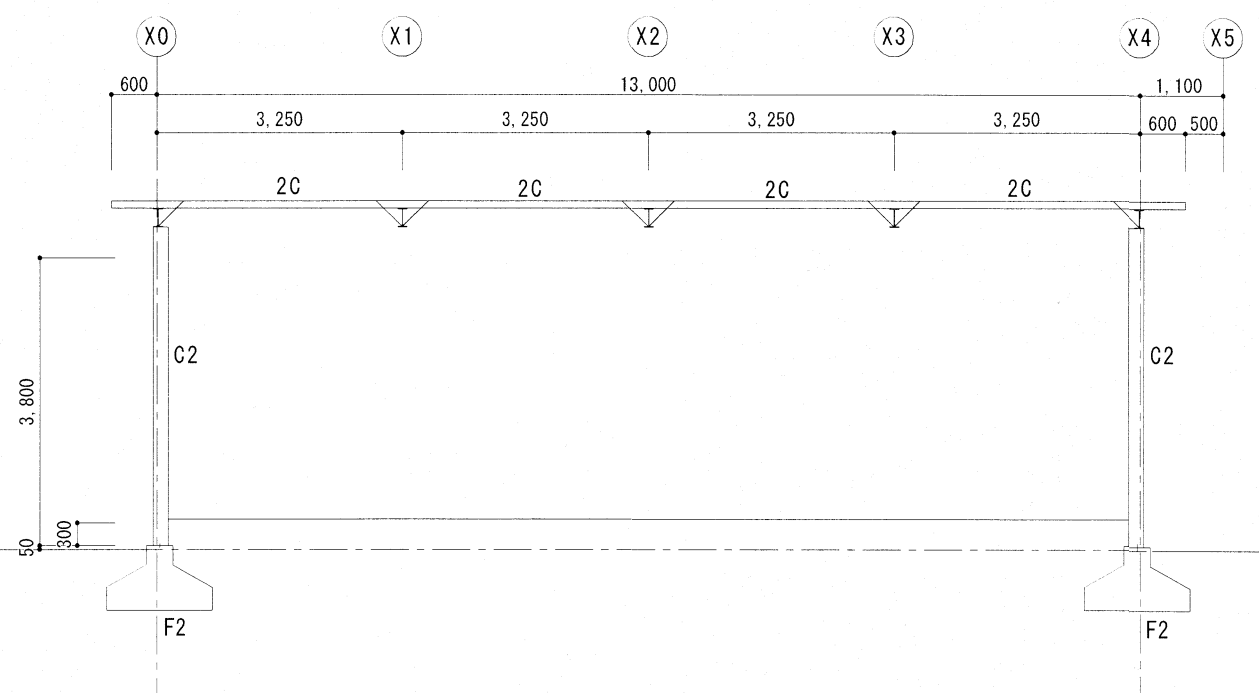


Y2軸組図 1/100 補強工事無し

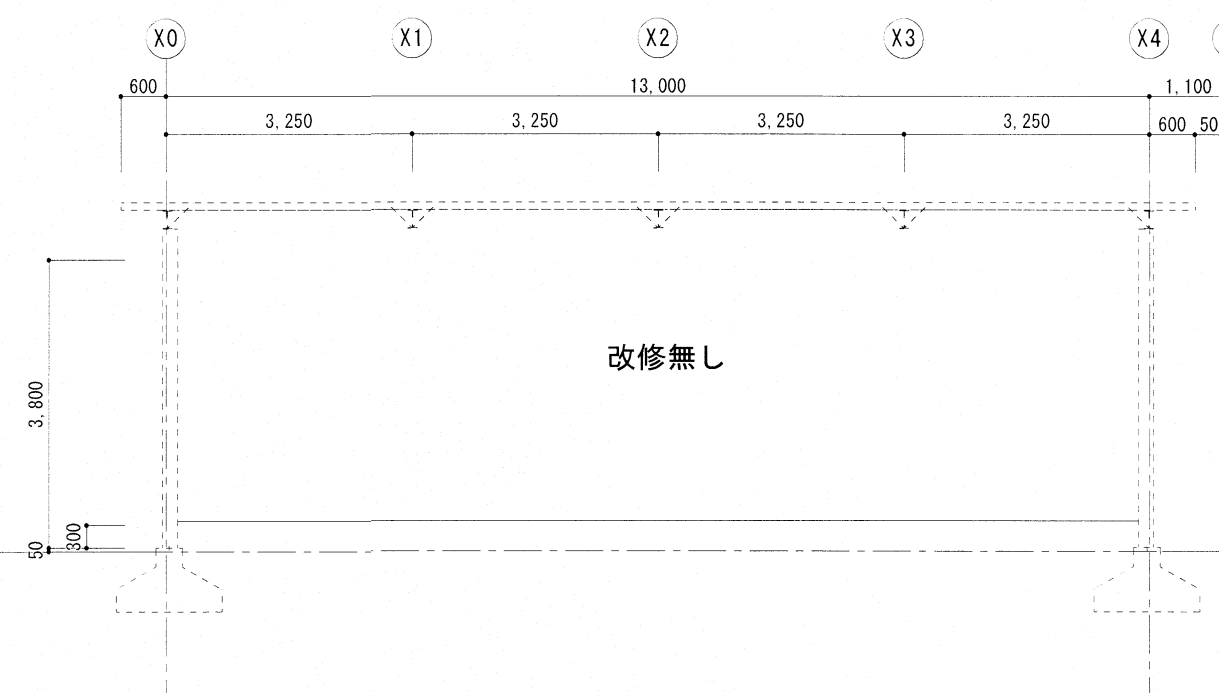
改修軸組図



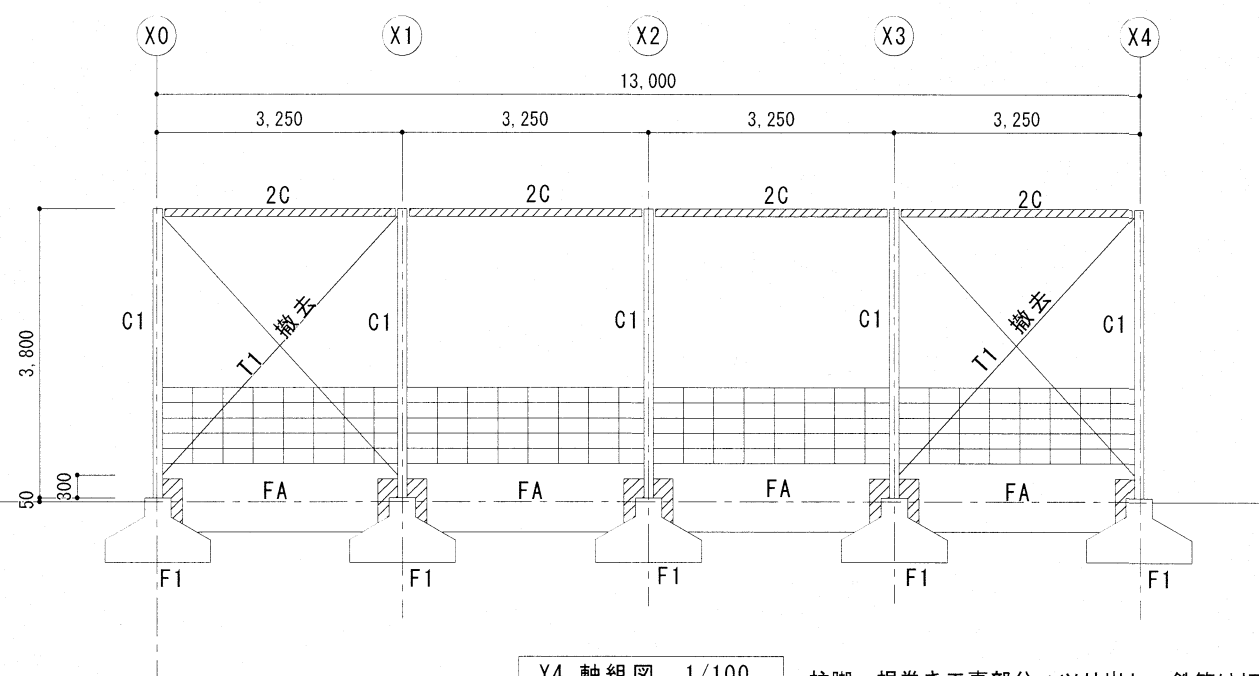
Y2軸組図 1:100



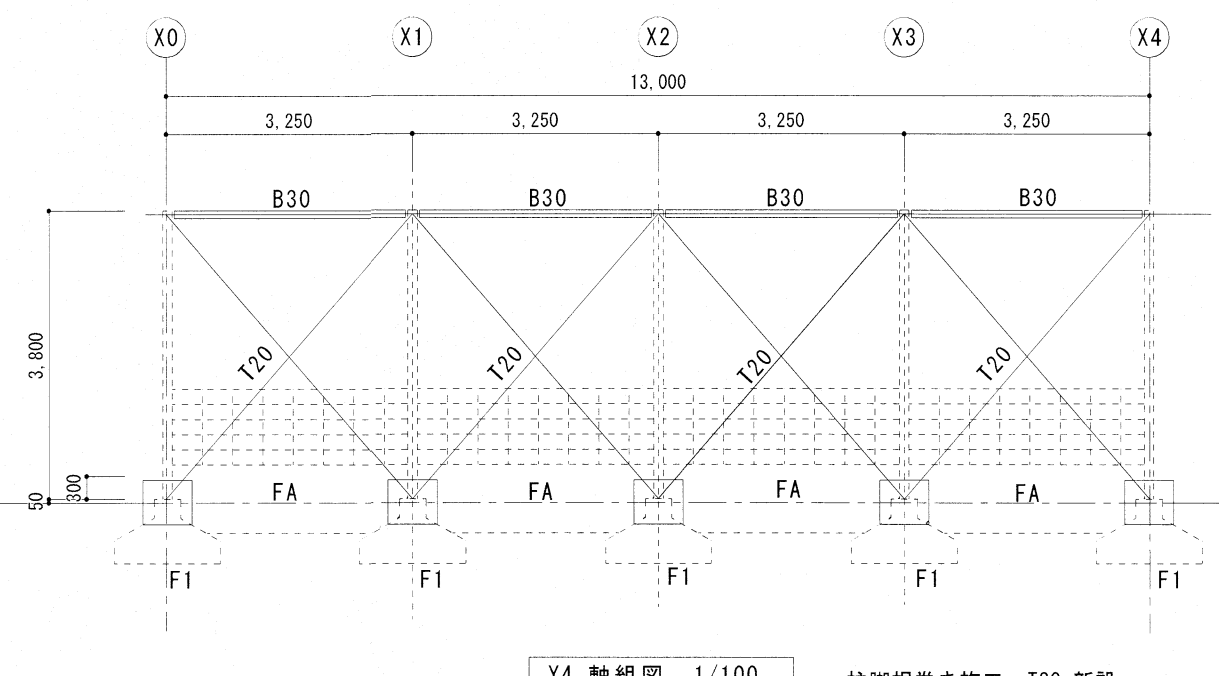
Y3 軸組図 1/100 補強工事無し



Y3 軸組図 1/100



Y4 軸組図 1/100 柱脚、根巻き工事部分ハツリ出し、鉄筋は切らず再使用



Y4 軸組図 1/100 柱脚根巻き施工・T20 新設

--- 撤去部材・範囲を示す

現況鉄骨部材リスト

符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8
C3・G3	H-100x100x6x8
C4・2C	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ
母屋	C-100x50x20x2.3

改修鉄骨部材リスト

符号	断面
C10・G10	H-250x125x6x9
C30・B30	H-100x100x6x8
20C	2C-100x50x20x2.3
K10	2C-100x50x20x2.3
T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
母屋	C-100x50x20x2.3

--- 新設部材を示す
--- 現況部材を示す

備考

設計名称 高知市立鴨田小学校給食調理場耐震補強工事

設計番号 日付 平成27年7月

承認 検図

製図 総数

図面名称 現況・改修軸組図 4 縮尺 1/100

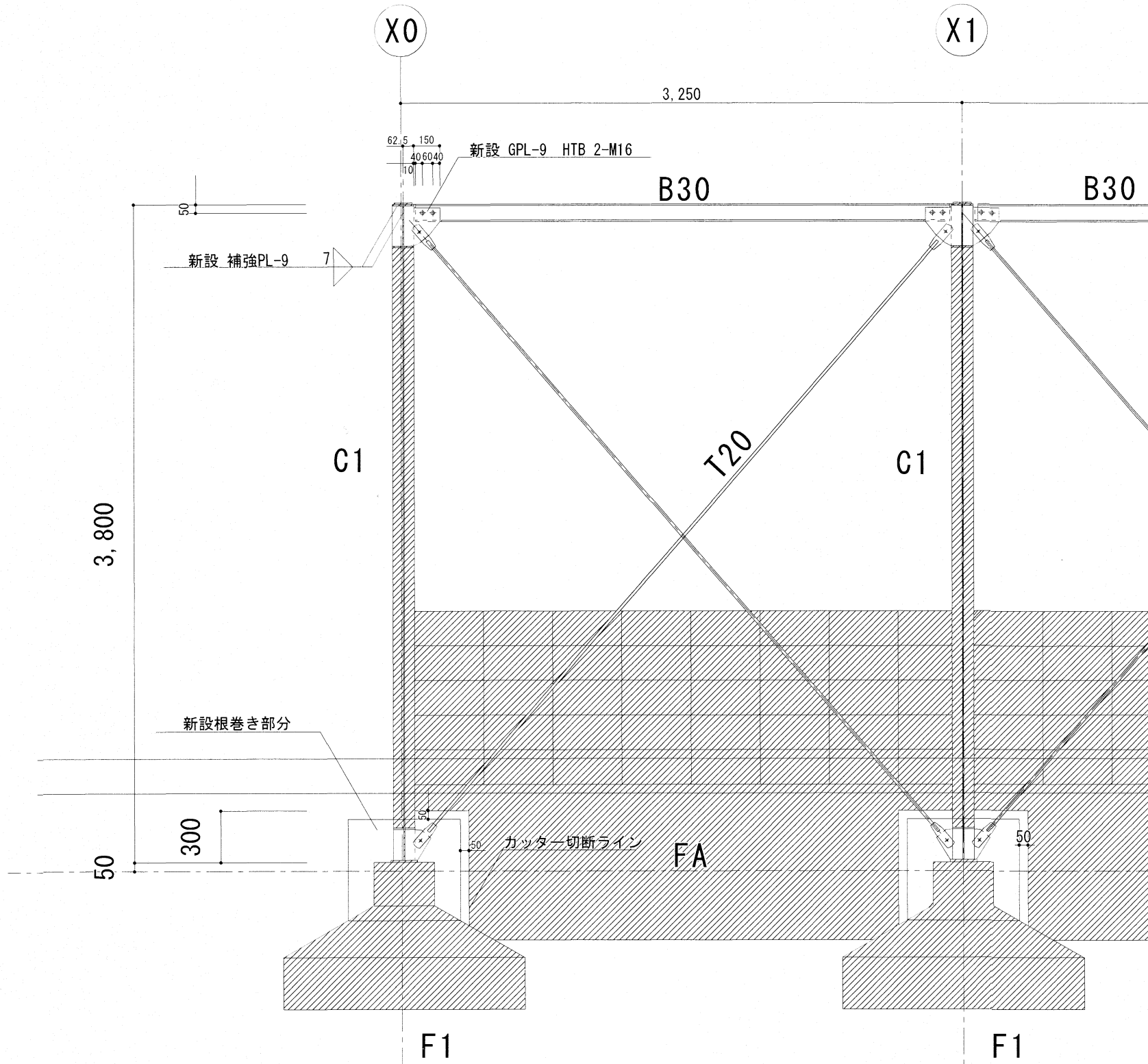
株式会社 MYM設計 高知市塩田町13-14 TEL 824-6247 FAX 824-6481

事務所登録 高知県第154 一級建築士登録 第83951号 宮地 弥亀

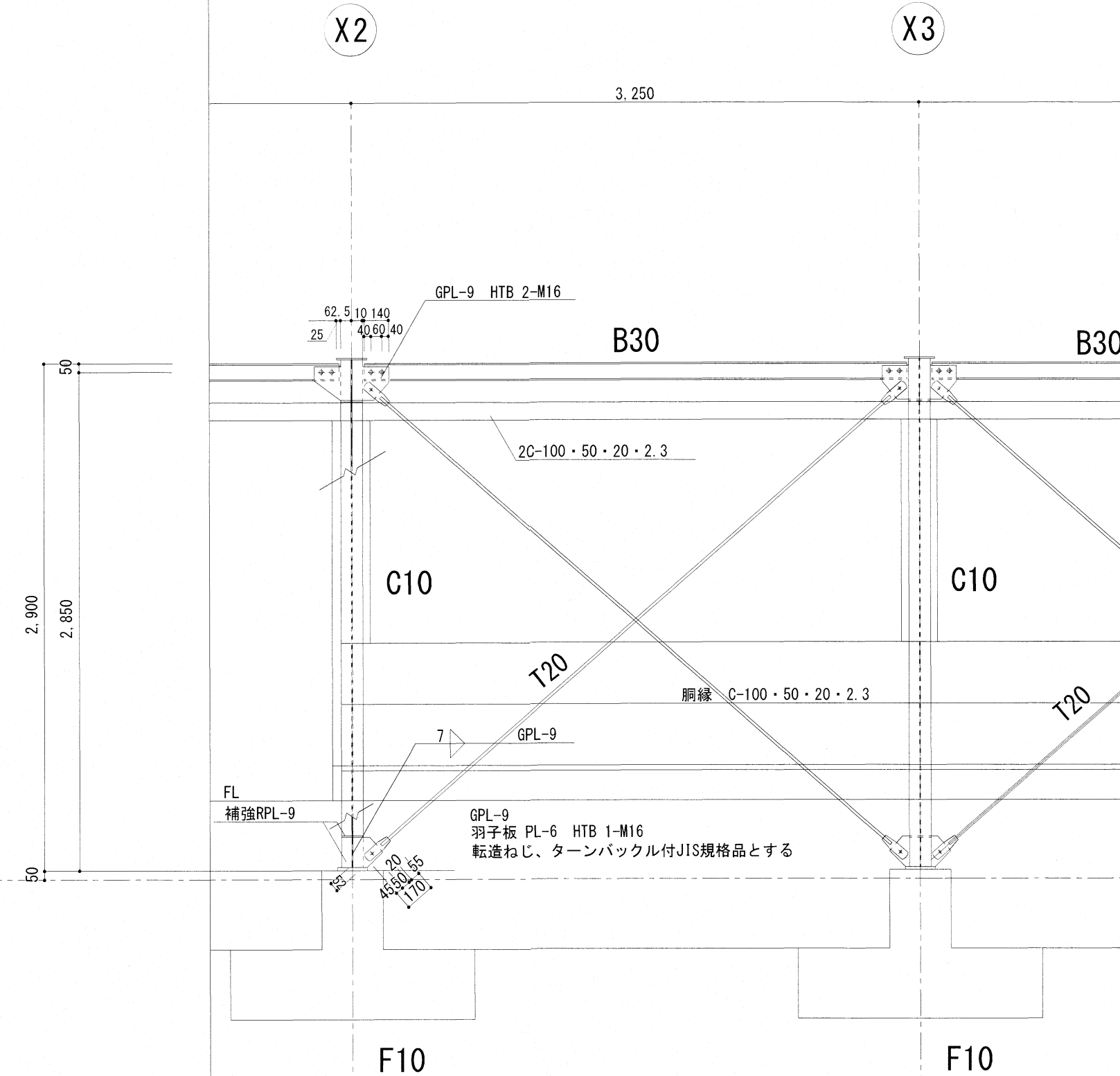
図面番号 B-08

高知市都市建設部公共建築課
係長 課長補佐 課長

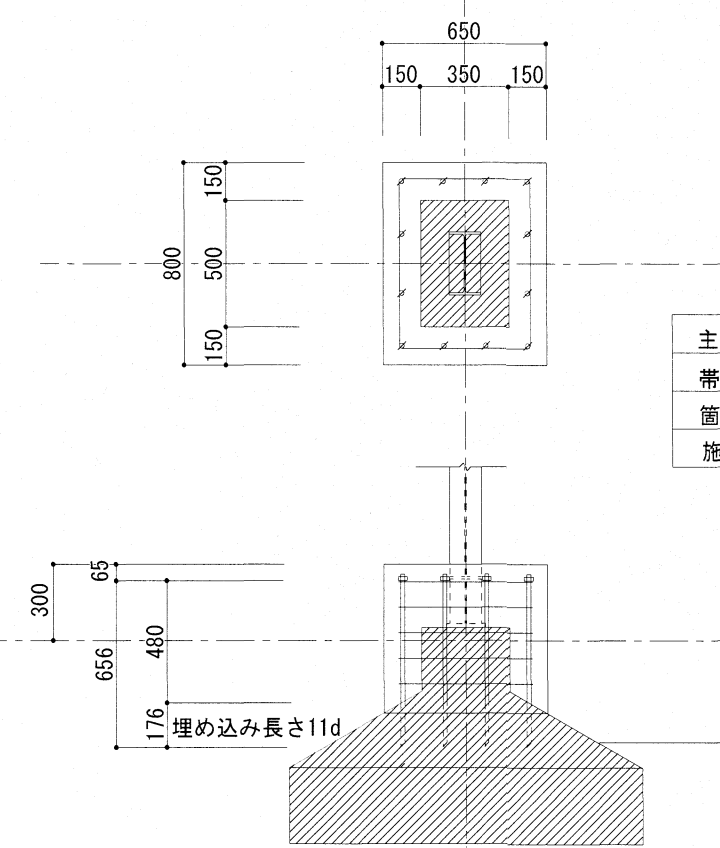
Y4通り軸組詳細図 1/30



Y-1通り軸組詳細図 1/30

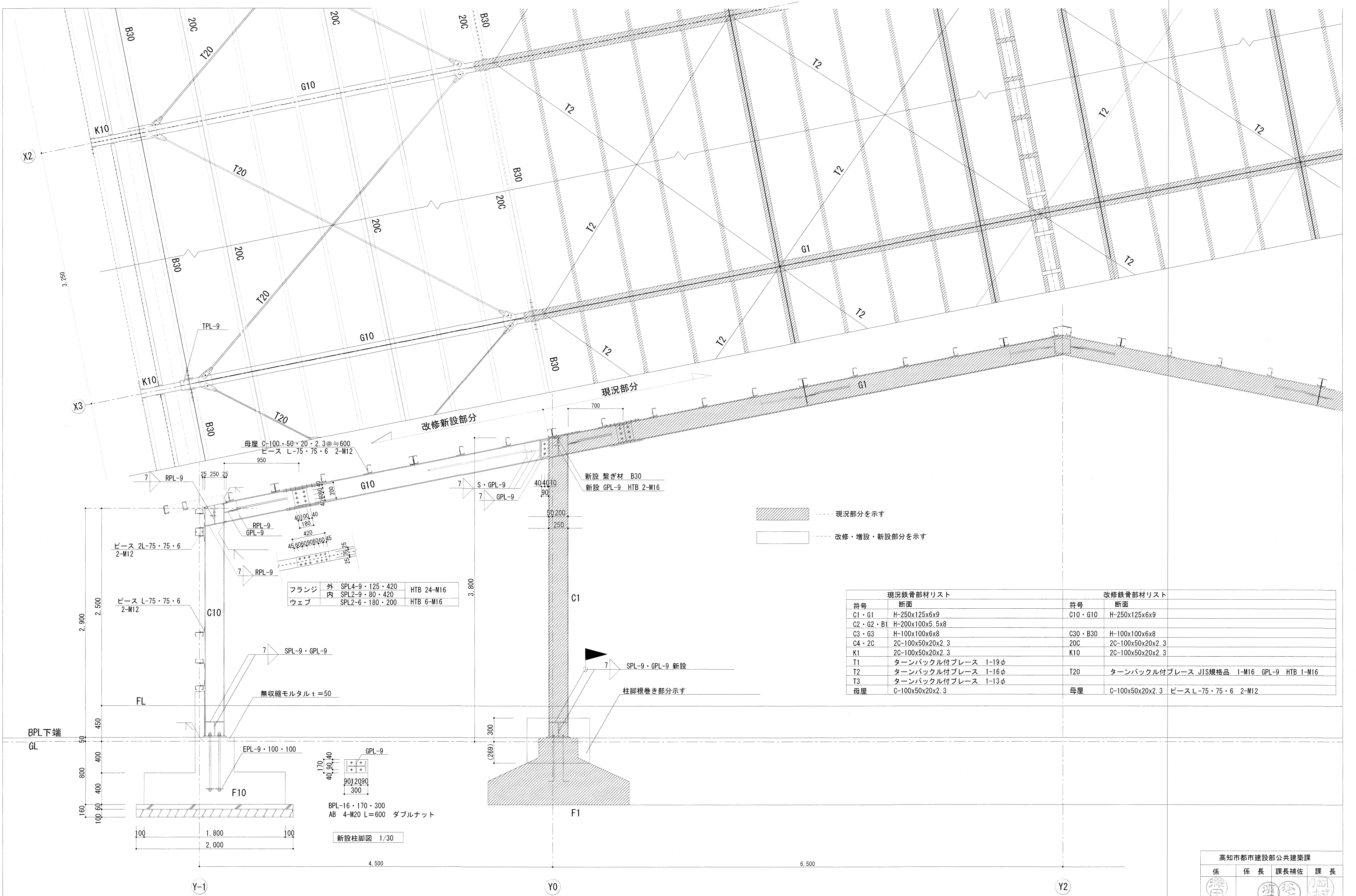


..... 現況部分を示す
 改修・増設・新設部分を示す



主筋	後施工アンカー 12-D16 ナット付 L=656 首下 埋め込み長さ 11d=176
帯筋	D13@100 最上段2-D13
箇所	10箇所
施工	現況柱脚部：錆止塗料塗り

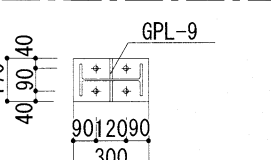
高知市都市建設部公共建築課			
係	係長	課長補佐	課長



現況部分を示す
 改修・増設・新設部分を示す

現況鉄骨部材リスト		改修鉄骨部材リスト	
符号	断面	符号	断面
C1・G1	H-250x125x6x9	C10・G10	H-250x125x6x9
C2・G2・B1	H-200x100x5.5x8		
C3・G3	H-100x100x6x8	C30・B30	H-100x100x6x8
C4・2C	2C-100x50x20x2.3	20C	2C-100x50x20x2.3
K1	2C-100x50x20x2.3	K10	2C-100x50x20x2.3
T1	ターンバックル付ブレース 1-19φ		
T2	ターンバックル付ブレース 1-16φ	T20	ターンバックル付ブレース JIS規格品 1-M16 GPL-9 HTB 1-M16
T3	ターンバックル付ブレース 1-13φ		
母屋	C-100x50x20x2.3	母屋	C-100x50x20x2.3
			ピース L-75・75・6 2-M12

フランジ	外	SPL4-9・125・420	HTB 24-M16
	内	SPL2-9・80・420	
ウェブ		SPL2-6・180・200	HTB 6-M16



BPL-16・170・300
AB 4-M20 L=600 ダブルナット

新設柱脚図 1/30

高知市都市建設部公共建築課

係	係長	課長補佐	課長

製図 総数